

そして、まちも公共交通もにぎやかに……

ハナサ
ワ
サカフ。



佐川町地域公共交通計画

令和5年3月
(令和6年6月改訂)

はじめに

佐川町地域公共交通計画策定の背景と目的

本町では、2016（平成 28）年 3 月に本計画の前期計画となる「佐川町地域公共交通網形成計画（名称は当時）」を策定し、公共交通空白地区の解消や地域ニーズに合った車両への更新、既存の公共交通網の維持などに取り組んできた。

この前期計画による検討を元に運行を開始した「さかわぐるぐるバス」の利用者数は、年間 1 万人に届こうとするまでに成長しており、本町で活動する人々の生活の支えになっているものと推測している。

一方で、我が国の時代をつくってきた団塊の世代の人々が後期高齢者となってきた今後は、移動手段の確保に困窮する人や不安を抱く人が一層増えてくるものと予想され、これまでとは違った移動手段確保策の検討が不可欠であると考ええる。

少子高齢化の進行や、コロナ禍といった常に変化する社会情勢の“今”と“これから”を踏まえた、現実的な生活交通網の再構築を実現させ、本町町民や本町を訪れて活動する人々の移動を分かりやすく支えられることを目指し、佐川町地域公共交通計画を策定するものである。

佐川町地域公共交通計画の位置づけ

本計画は、本町の最上位計画である「第 5 次佐川町総合計画（2016－2025）」に即し、前期計画である「佐川町地域公共交通網形成計画」の理念を引き継ぎ、そして関連する計画との整合を図りつつ、本町の交通とまちづくりの分野に係る計画として位置づける。

目 次

佐川町地域公共交通計画

第1章：地域の現況	1
第1節：本町の現状	2
1. 本町の位置・地勢	2
2. 本町の人口	4
3. 本町の主要施設	12
4. 町民の消費動向	17
5. 本町の中心部の状況	18
第2節：移動手段確保に関する現状	19
1. 本町の公共交通網	19
2. 鉄道	20
3. 路線バス	23
4. コミュニティバス（さかわぐるぐるバス）	28
5. 路線バス及びコミュニティバスの公的負担額	48
6. タクシー（介護タクシー含む）	49
7. スクールバス	51
第3節：交通安全に関する現状	52
1. 運転免許の保有に関して	52
2. 交通事故	53
第2章：公共交通をとりまく意識	55
第1節：住民アンケート調査より	56
1. 住民アンケート調査の実施概要	56
2. 住民アンケート調査の結果とりまとめ	57
第2節：通学に関するアンケート調査より	88
1. 通学に関するアンケート調査の実施概要	88
2. 通学に関するアンケート調査の結果とりまとめ	89
第3節：地区別意見交換の実施より	103
1. 地区別意見交換の実施概要	103
2. 地区別意見交換の結果	104
第4節：関係者ヒアリングの実施より	109
1. 関係者ヒアリングの実施概要	109
2. 関係者ヒアリングの結果	109

第3章：前提条件の整理	117
第1節：現状の整理	118
1. 町の現況より	118
2. 移動手段確保の視点より	118
3. 住民や関係者の意識より	119
第2節：佐川町地域公共交通網形成計画の検証	120
1. 「計画の目標」の達成状況	120
2. 前計画の成果に対する評価	124
第3節：上位計画及び関連計画の整理	125
1. 上位計画及び関連する計画	125
2. 各計画における地域公共交通計画に留意すべき事項	125
第4節：課題として整理	128
1. 課題として整理	128
第4章：佐川町地域公共交通計画	131
第1節：計画の基本事項	132
1. 計画の区域	132
2. 計画の根幹の整理	133
3. 計画の基本方針の設定	134
4. これからの公共交通ネットワーク	136
5. 計画の目標設定	138
第2節：具体的な施策	142
1. 具体的施策とその実施事業	142
第3節：計画の推進	172
1. 計画の期間	172
2. 計画の管理体制	174
計画策定に関する資料編	資－1
佐川町地域公共交通計画策定までの経緯	資－2
佐川町地域公共交通会議 委員名簿	資－3
佐川町地域公共交通会議設置要綱	資－4

第 1 章：地域の現況

第 1 節：本町の現状

第 2 節：移動手段確保に関する現状

第 3 節：交通安全に関する現状

第 1 節：本町の現状

1. 本町の位置・地勢

(1) 位置



図：本町の位置

本町は高知市から西に約 27 k m 離れ、日高村、土佐市、須崎市、津野町、越知町の 5 つの自治体と隣接している。

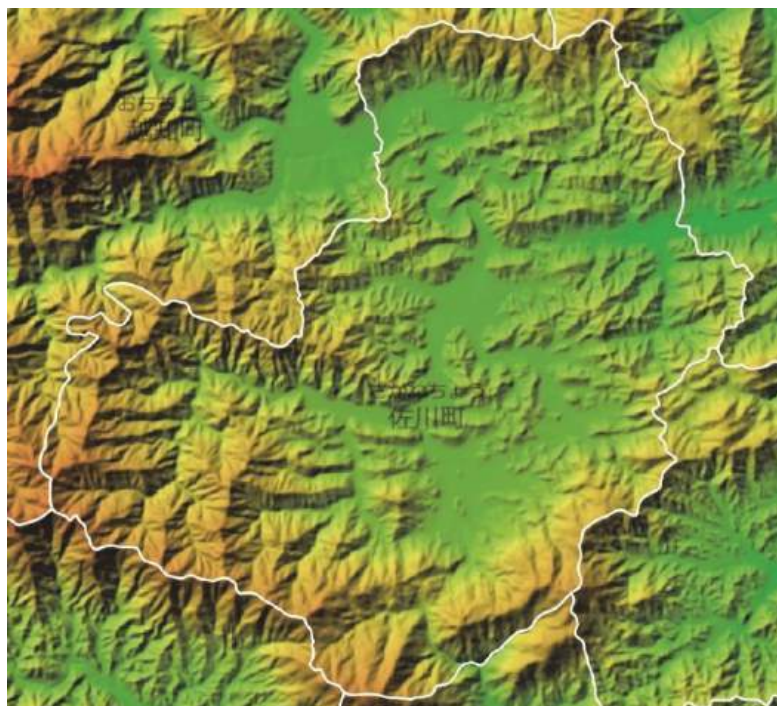
高知市と愛媛県松山市をつなぐ国道 33 号と、国道 494 号が町内で交わり、高岡郡東部から高知市方面、須崎市方面とをむすぶ交通の要衝となっている。

(2) 気候と地勢

本町の全体面積の約 70% を森林が占め、虚空蔵山（標高 674.7 m）や勝森（544.8 m）、蟠蛇森（769.2 m）などの山に囲まれた中央盆地状の地形となっている。

温暖多雨な気候であるが、冬季は降雪も見られる。

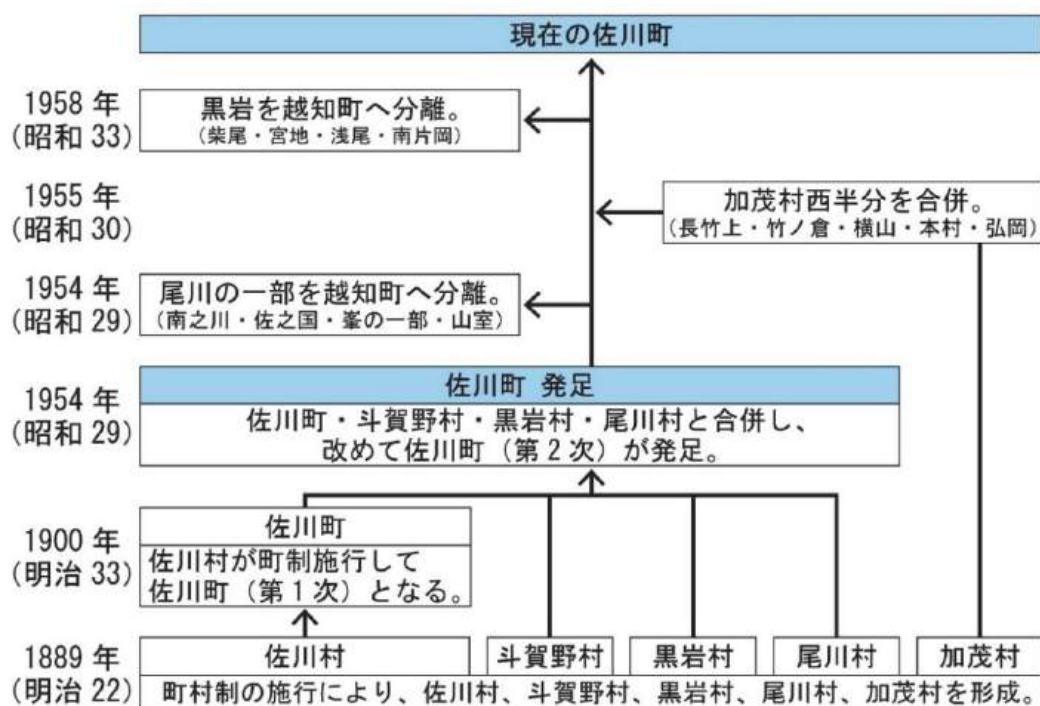
図：本町の地勢



(3) 沿革

1889（明治 22）年 4 月、町村制の施行により佐川村、斗賀野村、黒岩村、尾川村、加茂村ができ、1900（明治 33）年に佐川村が町制を施行、1954（昭和 29）年に一町三村が合併、1955（昭和 30）年に加茂村の一部を合併し、現在に至っている。

図：本町行政区の変遷



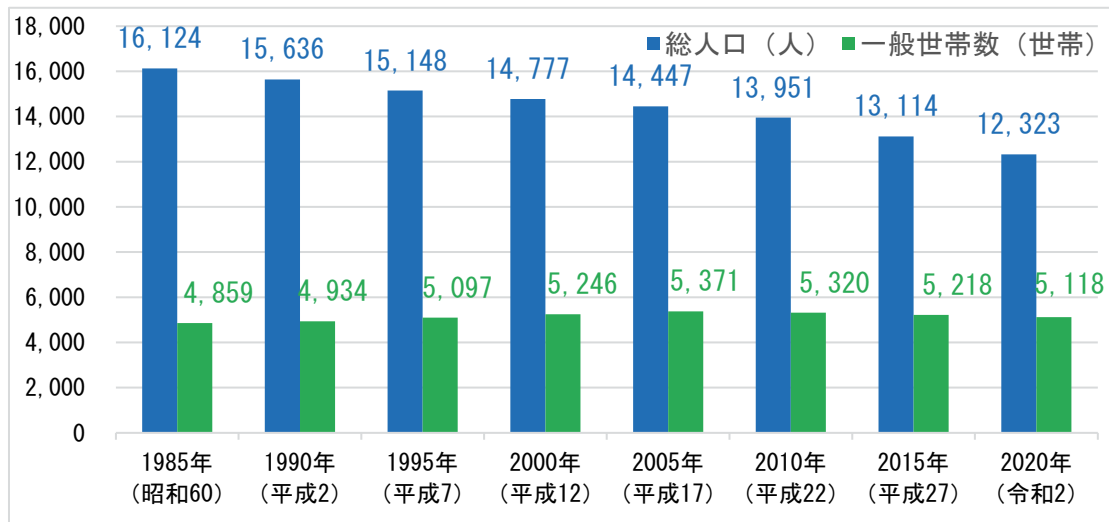
2. 本町の人口

(1) 人口の推移

人口は減少傾向となっており、65 歳以上の高齢者の割合が高まっている。

2020（令和 2）年国勢調査の結果より、高齢者のみの独居世帯が 1,009 世帯、高齢者のみの夫婦世帯も 877 世帯であり、全体で約 4 割となっている。

図：佐川町の人口及び一般世帯数推移



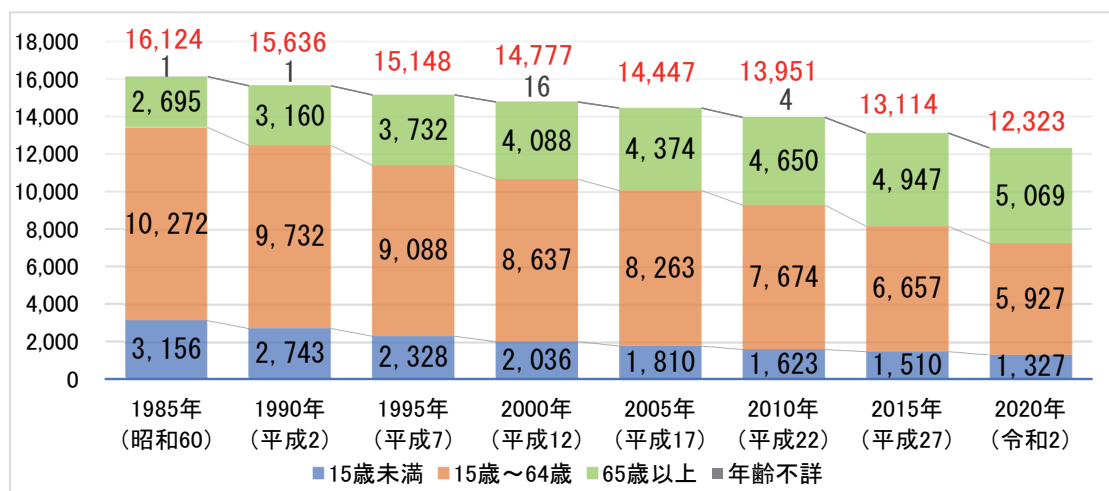
出典：国勢調査結果

表：本町の高齢者の一般世帯数割合

2020 年 (令和 2) 一般世帯数	5,118 世帯	うち、65 歳以上の 独居世帯		うち、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯	
		1,009 世帯	19.7%	877 世帯	17.1%

出典：国勢調査結果

図：年齢別人口推移

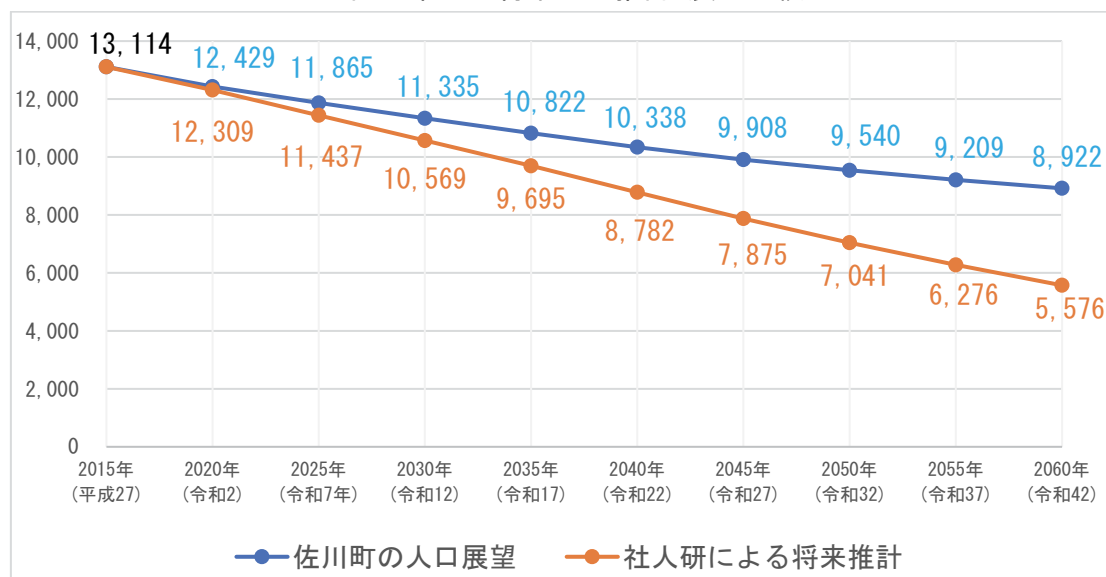


出典：国勢調査結果

(2) 将来の人口推計

社人研の人口推計では、30年後には現在のほぼ半数になると予測されている。

図：本町の将来人口推計・展望比較

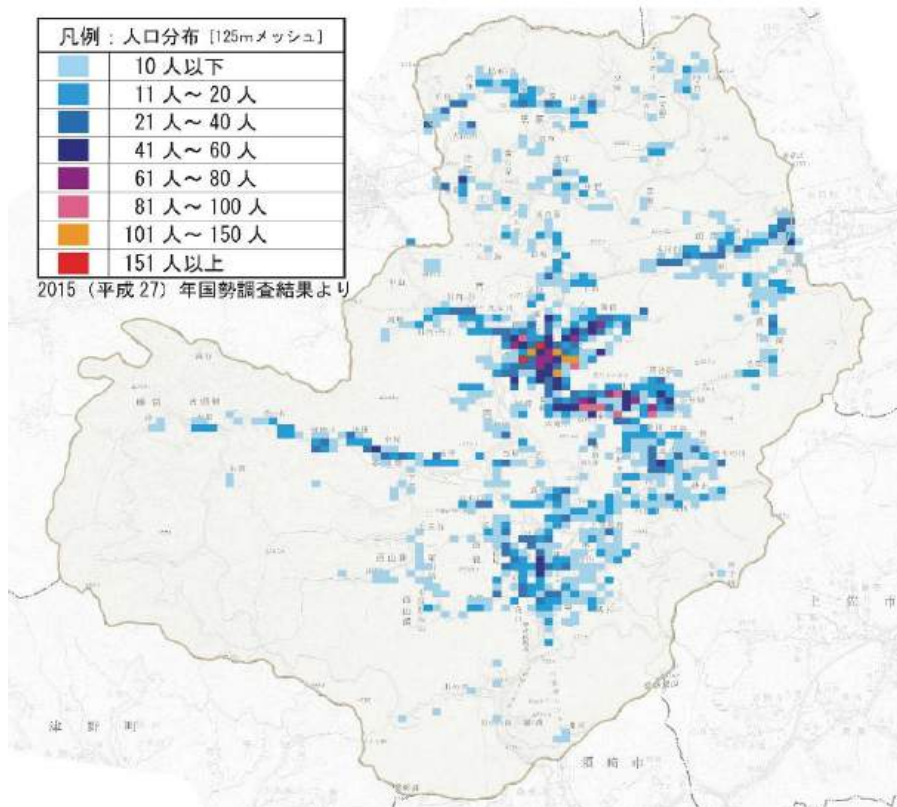


出典：第2期 佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(3) 町内の人口分布の様子

本町中心部の佐川地区に人口が集まっている。

図：本町の人口分布 [125mメッシュで整理]



(4) 地区別人口

本町の2022(令和4)年3月末の人口(住民基本台帳)は12,334人、世帯数は6,027世帯となっており、1世帯当たりの平均世帯構成人員数は2.05人となっている。

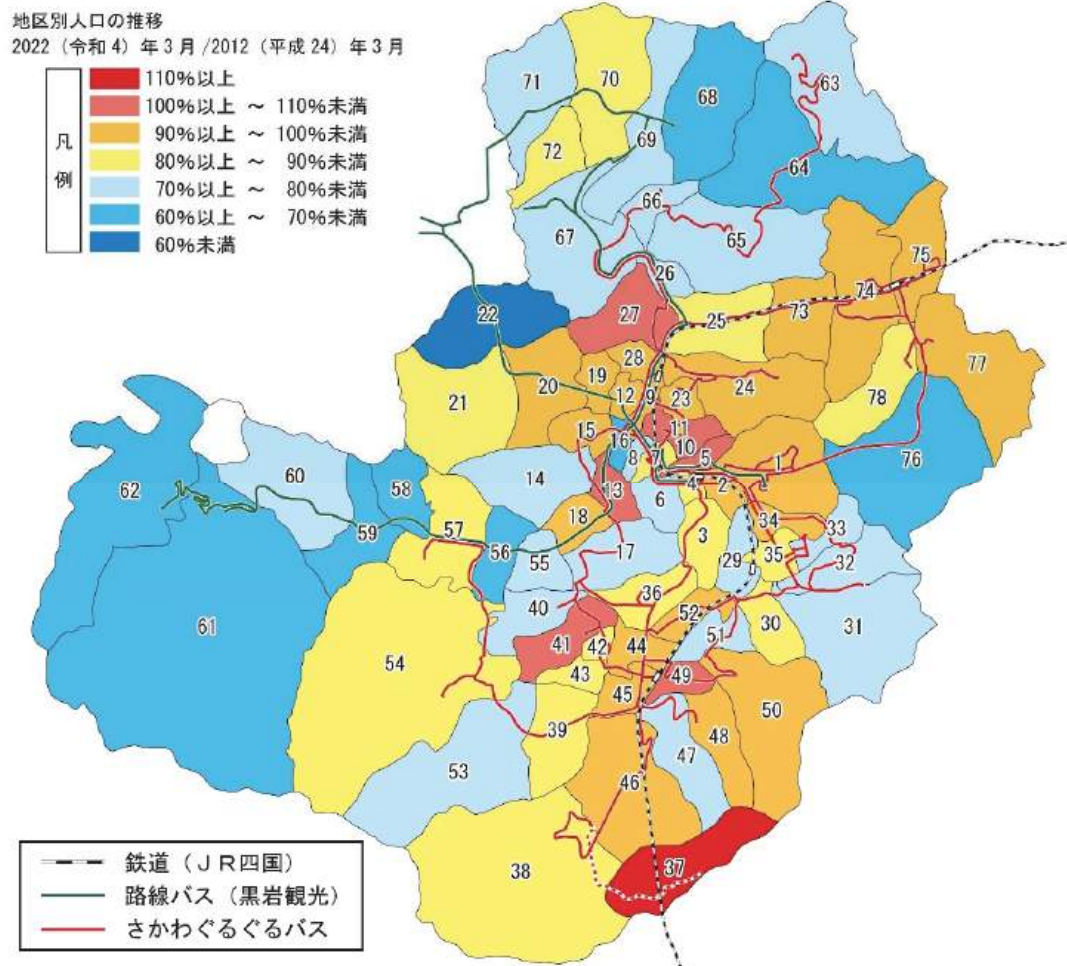
表：本町の地区別人口の推移 [2012(平成24)年3月末⇒2022(令和4)年3月末]

地区	2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
1 上郷	1,064	1,033
2 東元町	319	314
3 紫園	97	79
4 3区～6区	319	265
5 春日	104	111
6 7区～9区	213	165
7 松崎	337	299
8 中本町	314	234
9 富士見町	708	667
10 三野	642	658
11 伏尾団地	214	202
12 柳瀬	321	298
13 岡崎・島の土居	136	142
14 桂	121	89
15 虎杖野	126	125
16 中組	221	149
17 室原	141	99
18 柏原	41	37
19 九反田	201	188
20 川内ヶ谷下	266	242
21 川内ヶ谷上	110	94
22 中山	12	6
23 青去	292	290
24 荷稻	497	486
25 下山	123	109
26 馬の原	64	48
27 市の瀬	93	100
28 立野	36	35
29 襟野々・花ノ木	134	107
30 川原田	84	68
31 兎田・砂止	193	150
32 埴生ノ川	124	96
33 楠谷・南谷	117	85
34 中谷・囃田・古用地	182	168
35 鉢ヶ森・梅ノ木・鉢ヶ森西・山崎	225	202
36 鳥の巣	271	236
37 舟床	9	11
38 川ノ内	23	20
39 山瀬	124	107
40 岩井口	101	76
41 塚谷	93	93
42 下伏尾	110	88
43 上伏尾	60	50
44 ニノ部	240	228
45 駅前丁・芝ノ坊	395	369
46 角口・狩場	222	208
47 野添	93	72
48 薄木	65	62
49 入寺山	143	148
50 大平	131	125
51 上美都岐	119	92
52 下美都岐	221	203
53 西山組	80	62
54 西山耕	86	71
55 高平	47	37
56 下郷	113	77
57 中村	191	161
58 山田	145	97
59 堂野々	146	100
60 松ノ木	114	80
61 古畑	75	52
62 峰	22	14
63 四ツ白	102	79
64 ニツ野	82	56
65 中野	92	67
66 瑞応	83	61
67 庄田	245	185
68 上黒原	147	102
69 薬師堂・源重・原	111	82
70 岬・寺野・場所ヶ内	200	167
71 台住・平野	203	157
72 大田川	30	26
73 本村西	233	232
74 本村東	244	234
75 弘岡	238	225
76 長竹	174	119
77 竹ノ倉	136	126
78 横山	46	37
佐川町合計	2012年 (平成24)3月末 13,996	2022年 (令和4)3月末 12,334

出典：佐川町住民基本台帳

図：地区別に見た人口の変化〔2022（令和4）年3月末/2012（平成24）年3月末〕

地図内の番号は地区毎に付与した番号（P6の表と対照）



出典：佐川町住民基本台帳

(5) 地区別に見た高齢化率

2022（令和4）年3月の住民基本台帳より、本町の高齢化率は40%を超えている。

地区別に10年前と比較すると、尾川地区と黒岩地区で高齢化率が高くなった地区が増加している。

表：本町の高齢化率の推移〔2012（平成24）年3月末/2022（令和4）年3月末〕

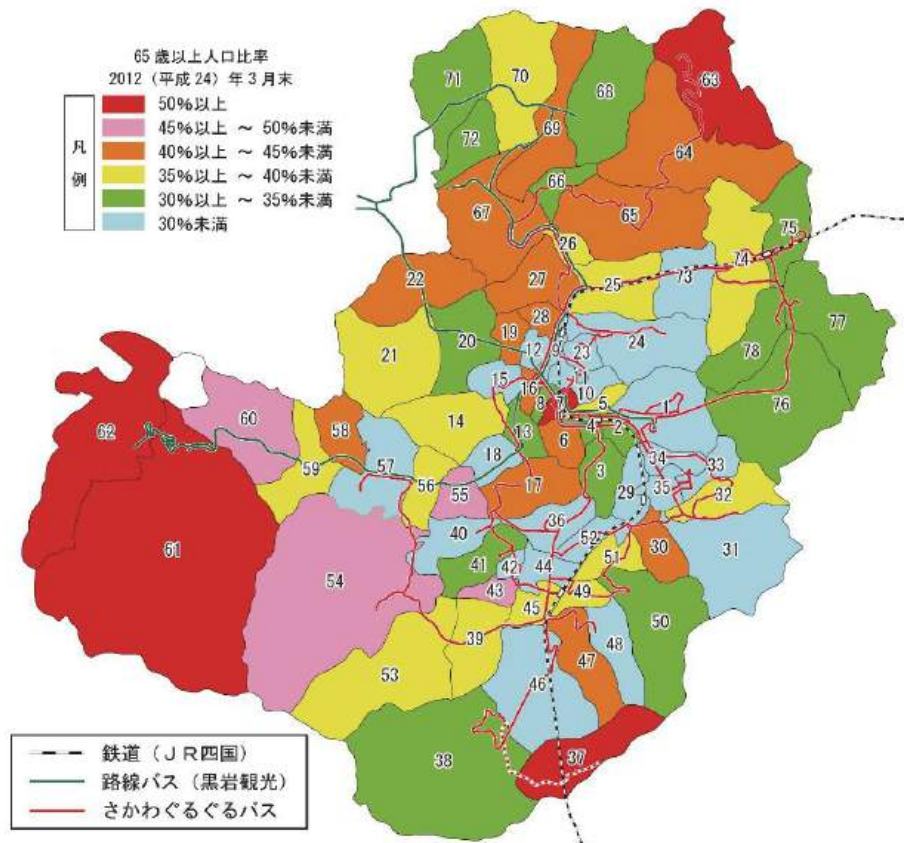
地区		2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
1	上郷	26.8%	34.1%
2	東元町	34.8%	36.9%
3	紫園	32.0%	39.2%
4	3区～6区	31.3%	33.6%
5	春日	35.6%	35.1%
6	7区～9区	42.7%	52.7%
7	松崎	52.2%	59.9%
8	中本町	32.5%	41.9%
9	富士見町	22.9%	33.1%
10	三野	24.0%	26.9%
11	伏尾団地	21.5%	49.5%
12	柳瀬	25.2%	32.2%
13	岡崎・島の土居	33.8%	27.5%
14	桂	37.2%	43.8%
15	虎杖野	27.0%	35.2%
16	中組	43.4%	44.3%
17	室原	42.6%	53.5%
18	柏原	29.3%	48.6%
19	九反田	40.8%	46.8%
20	川内ヶ谷下	32.7%	41.3%
21	川内ヶ谷上	38.2%	53.2%
22	中山	41.7%	66.7%
23	青去	25.3%	32.8%
24	荷稻	24.9%	30.9%
25	下山	39.8%	46.8%
26	馬の原	35.9%	52.1%
27	市の瀬	40.9%	53.0%
28	立野	41.7%	28.6%
29	襟野々・花ノ木	29.9%	36.4%
30	川原田	40.5%	55.9%
31	兎田・砂止	28.5%	48.0%
32	埴生ノ川	38.7%	44.8%
33	楠谷・南谷	24.8%	32.9%
34	中谷・囃田・古用地	23.6%	35.7%
35	鉢ヶ森・梅ノ木・鉢ヶ森西・山崎	28.4%	36.1%
36	鳥の巣	29.5%	40.3%
37	舟床	77.8%	54.5%
38	川ノ内	34.8%	30.0%
39	山瀬	35.5%	44.9%
40	岩井口	25.7%	40.8%
41	塚谷	31.2%	31.2%

地区		2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
42	下伏尾	29.1%	40.9%
43	上伏尾	48.3%	52.0%
44	二ノ部	28.3%	34.2%
45	駅前丁・芝ノ坊	35.4%	39.3%
46	角口・狩場	29.3%	32.2%
47	野添	43.0%	50.0%
48	薄木	27.7%	38.7%
49	入寺山	39.2%	31.8%
50	大平	33.6%	43.2%
51	上美都岐	39.5%	41.3%
52	下美都岐	28.1%	37.4%
53	西山組	35.0%	37.1%
54	西山耕	47.7%	56.3%
55	高平	48.9%	54.1%
56	下郷	39.8%	58.4%
57	中村	23.6%	30.4%
58	山田	42.8%	57.7%
59	堂野々	35.6%	59.0%
60	松ノ木	47.4%	71.3%
61	古畑	64.0%	76.9%
62	峰	63.6%	57.1%
63	四ツ白	52.9%	59.5%
64	二ツ野	41.5%	51.8%
65	中野	43.5%	62.7%
66	瑞応	38.6%	54.1%
67	庄田	40.4%	46.5%
68	上黒原	32.0%	42.2%
69	薬師堂・源重・原	42.3%	61.0%
70	岬・寺野・場所ヶ内	35.5%	45.5%
71	台住・平野	35.0%	46.5%
72	大田川	30.0%	34.6%
73	本村西	26.6%	35.8%
74	本村東	36.1%	44.0%
75	弘岡	34.0%	46.2%
76	長竹	30.5%	42.9%
77	竹ノ倉	31.6%	47.6%
78	横山	32.6%	54.1%

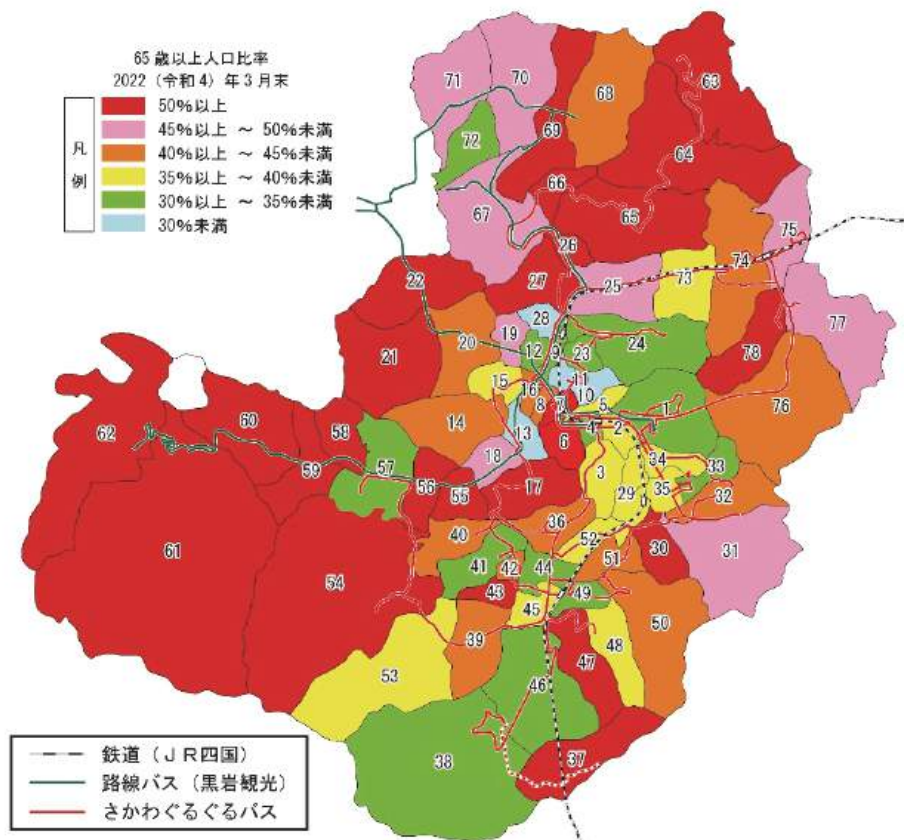
佐川町合計		2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
		32.7%	40.3%

出典：佐川町住民基本台帳

図：地区別に見た高齢化率 [2012（平成 24）年 3 月末]



図：地区別に見た高齢化率 [2022（令和 4）年 3 月末]



出典：佐川町住民基本台帳

(6) 地区別に見た子ども（15 歳未満）

本町の子ども数はわずかではあるが減少傾向にあり、2022（令和 4）年 3 月の住民基本台帳では、15 歳未満の子どもの割合が町全体で 10.3%となっている。

15 歳未満の子どもが 0 人という地区が 10 年前（6 地区）と比較して 8 地区と、2 地区増加している。

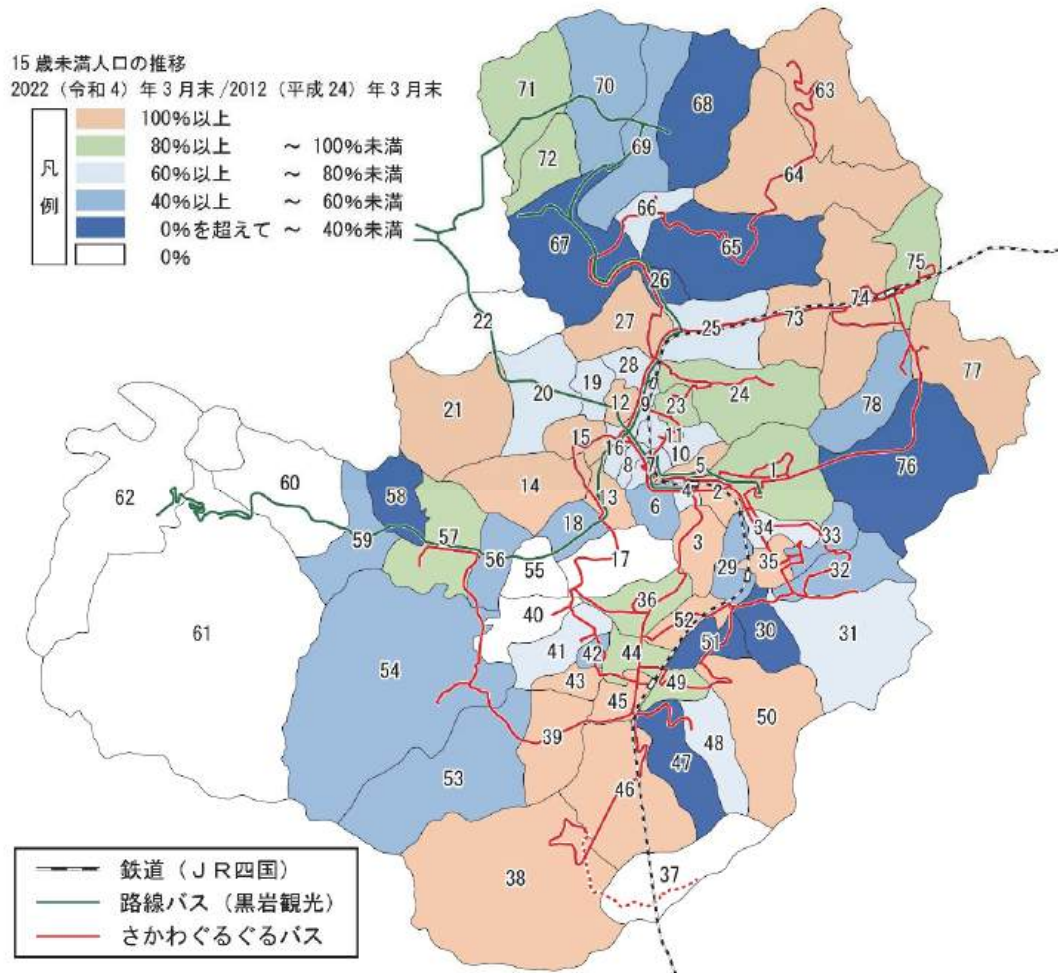
表：本町の子ども（15 歳未満）の推移 [平成 24 年 3 月末⇒令和 4 年 3 月末]

地区	2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末	地区	2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
1 上郷	153	137	42 下伏尾	15	8
2 東元町	40	51	43 上伏尾	2	4
3 紫園	9	11	44 ニノ部	37	30
4 3区～6区	35	26	45 駅前丁・芝ノ坊	34	43
5 春日	11	15	46 角口・狩場	27	32
6 7区～9区	20	11	47 野添	9	2
7 松崎	23	14	48 薄木	13	8
8 中本町	36	24	49 入寺山	23	19
9 富士見町	114	91	50 大平	11	16
10 三野	117	88	51 上美都岐	13	5
11 伏尾団地	17	17	52 下美都岐	21	23
12 柳瀬	35	35	53 西山組	9	5
13 岡崎・島の土居	17	22	54 西山耕	4	2
14 桂	7	10	55 高平	0	0
15 虎杖野	13	20	56 下郷	11	5
16 中組	14	9	57 中村	32	26
17 室原	8	0	58 山田	12	1
18 柏原	5	2	59 堂野々	11	6
19 九反田	13	10	60 松ノ木	0	0
20 川内ヶ谷下	33	23	61 古畑	0	0
21 川内ヶ谷上	2	10	62 峰	0	0
22 中山	0	0	63 四ツ白	1	4
23 青去	33	30	64 ニツ野	5	5
24 荷稻	77	62	65 中野	5	1
25 下山	15	10	66 瑞応	3	2
26 馬の原	4	1	67 庄田	18	5
27 市の瀬	5	7	68 上黒原	22	7
28 立野	4	3	69 薬師堂・源重・原	5	2
29 襟野々・花ノ木	20	8	70 岬・寺野・場所ヶ内	34	20
30 川原田	4	1	71 台住・平野	16	13
31 兎田・砂止	21	13	72 大田川	5	4
32 埴生ノ川	20	8	73 本村西	31	33
33 楠谷・南谷	16	8	74 本村東	19	24
34 中谷・囃田・古用地	24	19	75 弘岡	26	23
35 鉢ヶ森・梅ノ木・鉢ヶ森西・山崎	31	32	76 長竹	28	1
36 鳥の巣	23	22	77 竹ノ倉	10	14
37 舟床	0	0	78 横山	4	2
38 川ノ内	3	4			
39 山瀬	11	12			
40 岩井口	11	0			
41 塚谷	18	13			

佐川町合計	2012年 (平成24)3月末	2022年 (令和4)3月末
	1,578	1,274

出典：佐川町住民基本台帳

図：地区別に見た子ども（15歳未満）の変化
 [2022（令和4）年3月末/2012（平成24）年3月末]



出典：佐川町住民基本台帳

3. 本町の主要施設

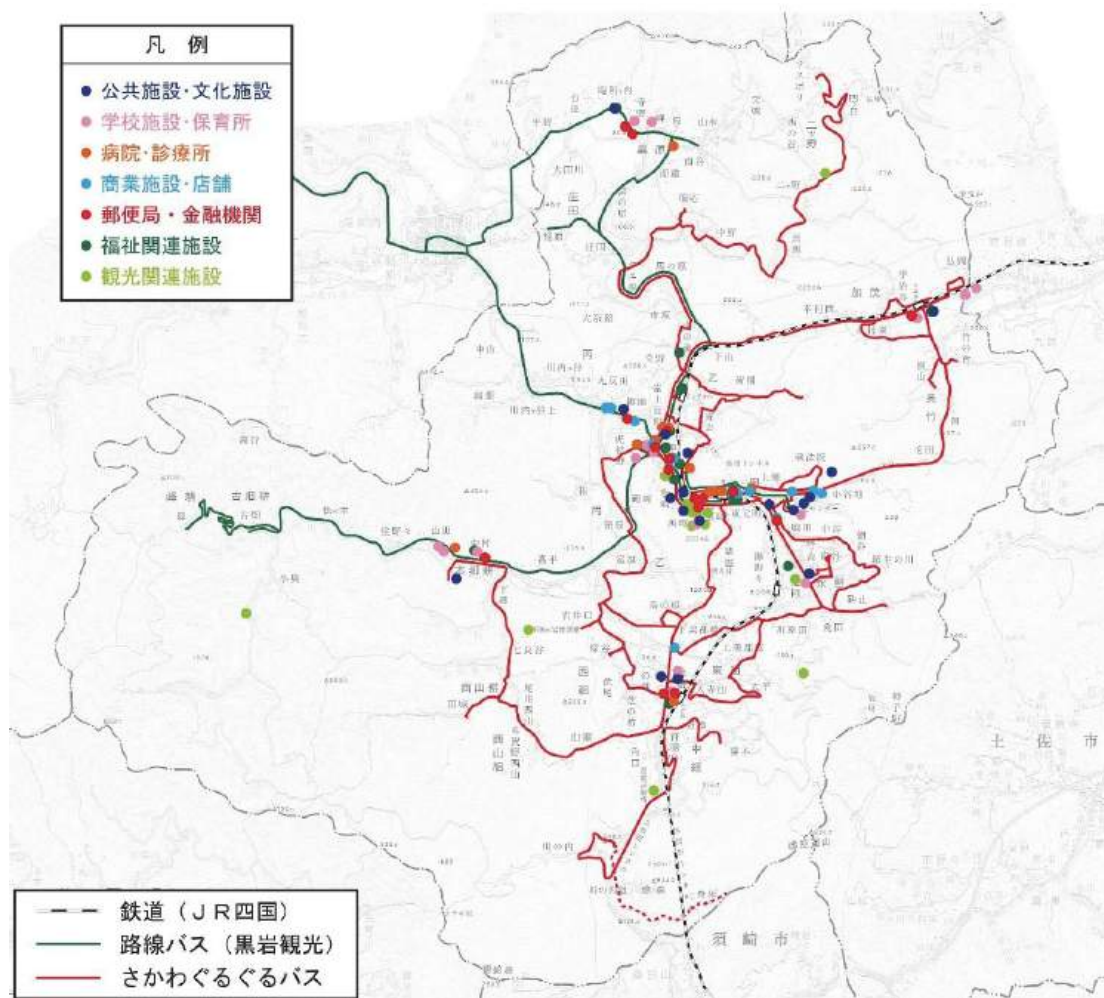
(1) 全ての主要施設

本町の主要集客施設は中心部の佐川地区に多く集積している。

他の地区においては、観光関連を除き、路線バスやさかわぐるぐるバスの沿線上に立地していることが分かる。

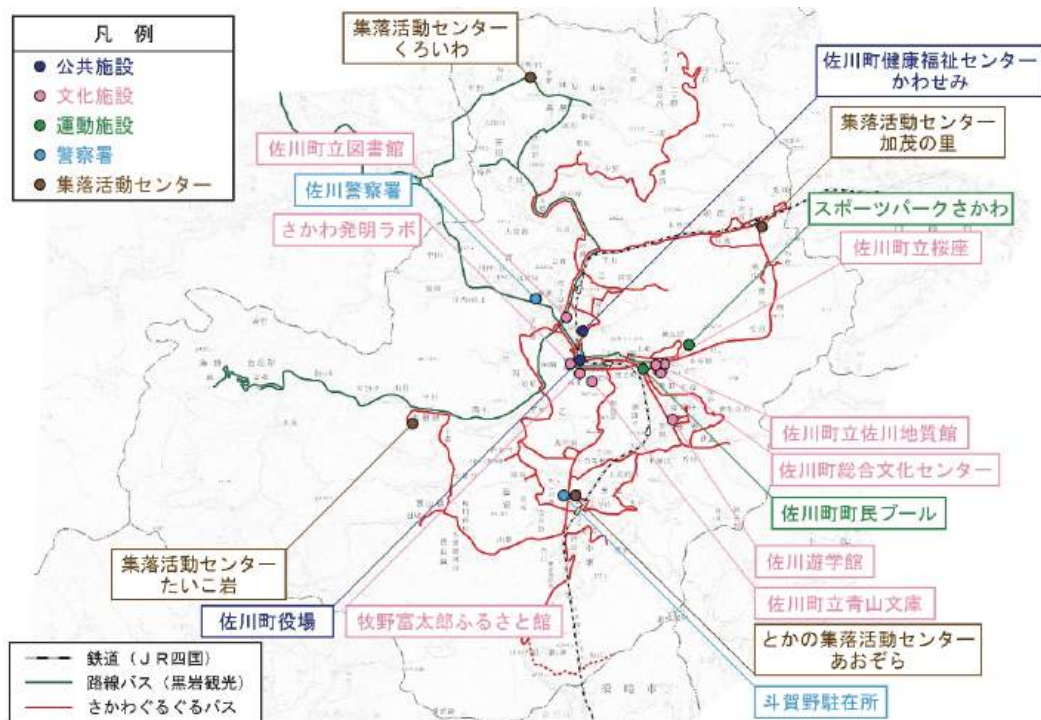
商業施設（店舗）は佐川地区にほぼ全てが集まっており、斗賀野地区のヤマザキYショップ斗賀野店を除くと、黒岩地区、加茂地区、尾川地区には一定規模以上の商業施設（店舗）が立地していない。

図：主要施設の分布



(2) 公共施設

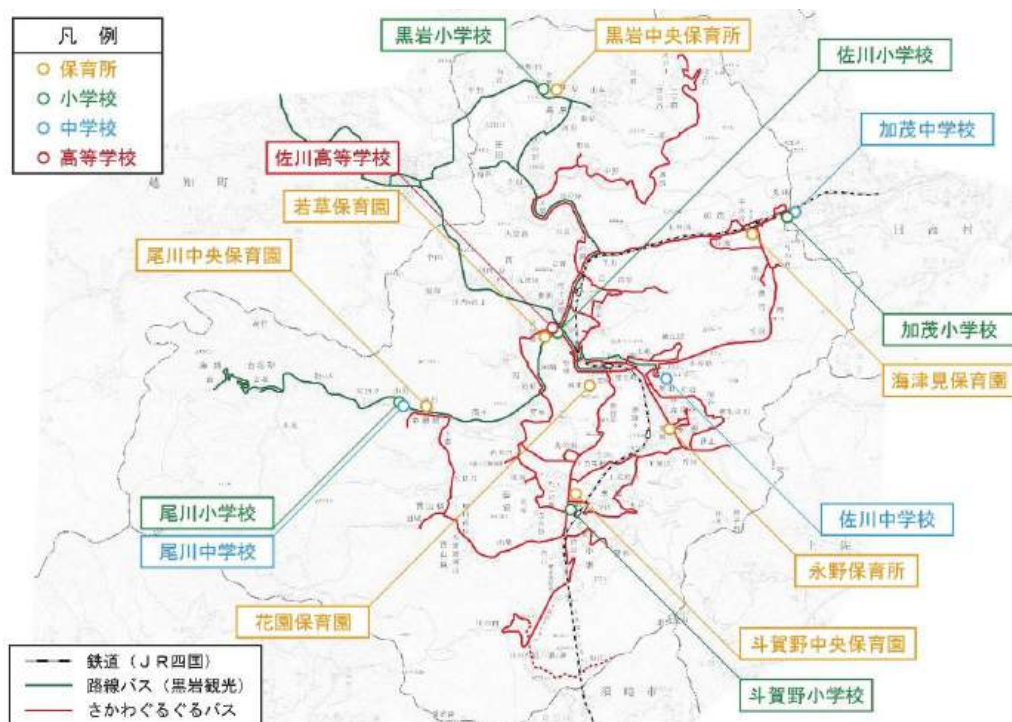
図：公共施設の分布



出典：佐川町

(3) 学校施設・保育所

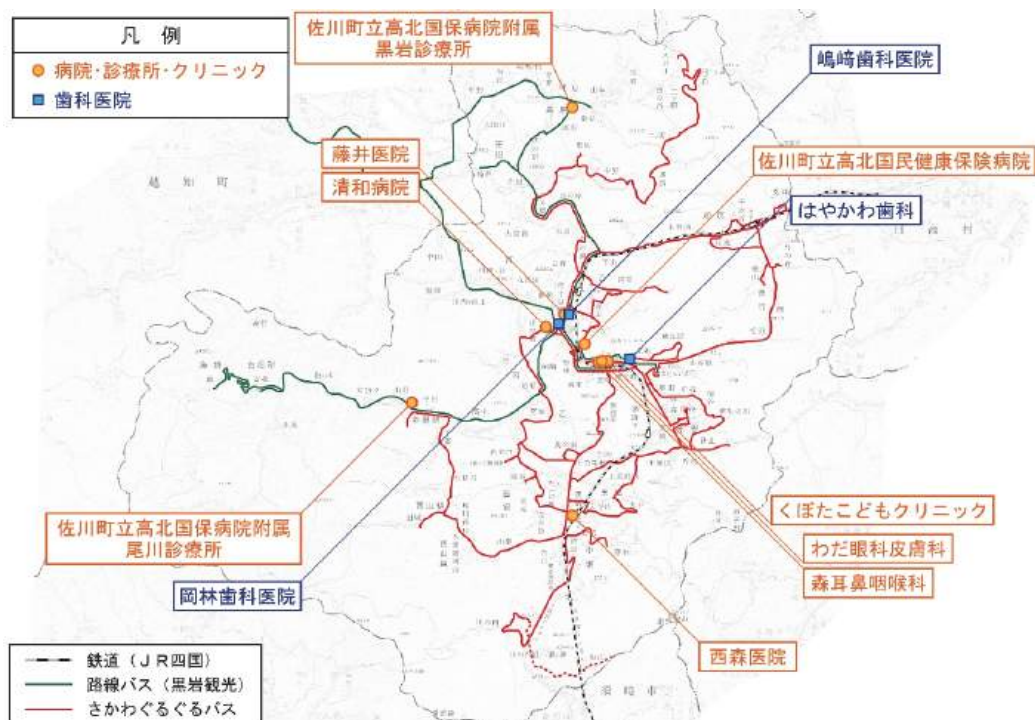
図：学校施設・保育所の分布



出典：佐川町

(3) 病院・診療所

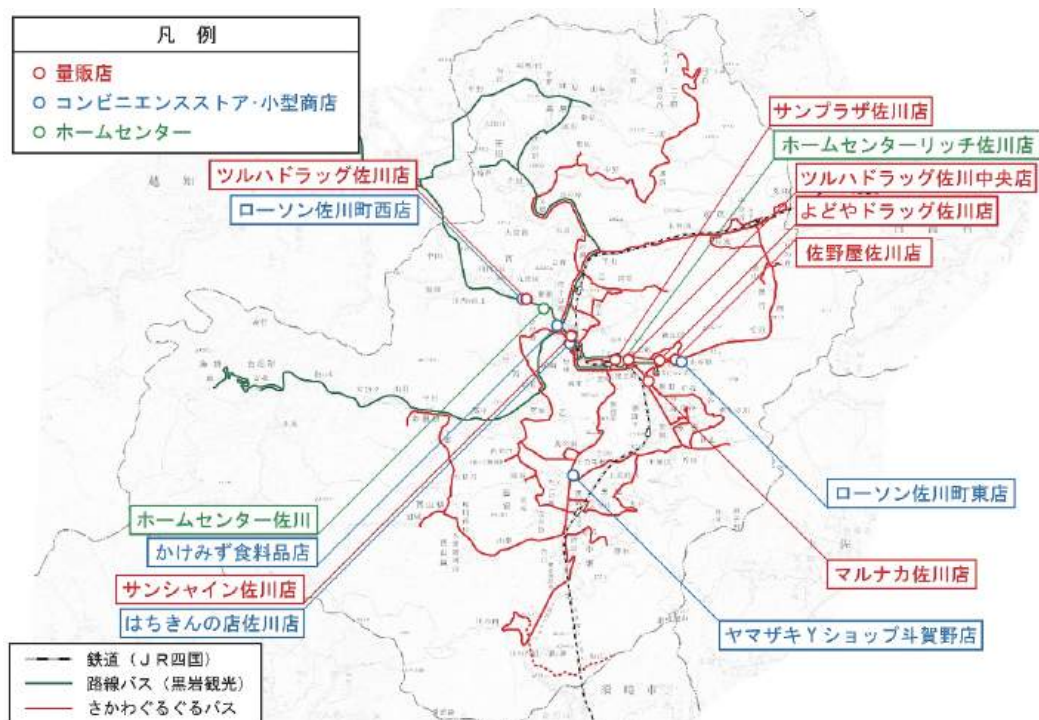
図：病院・診療所の分布



出典：タウンページ高知県版より、病院、歯科を抽出

(4) 商業施設・店舗

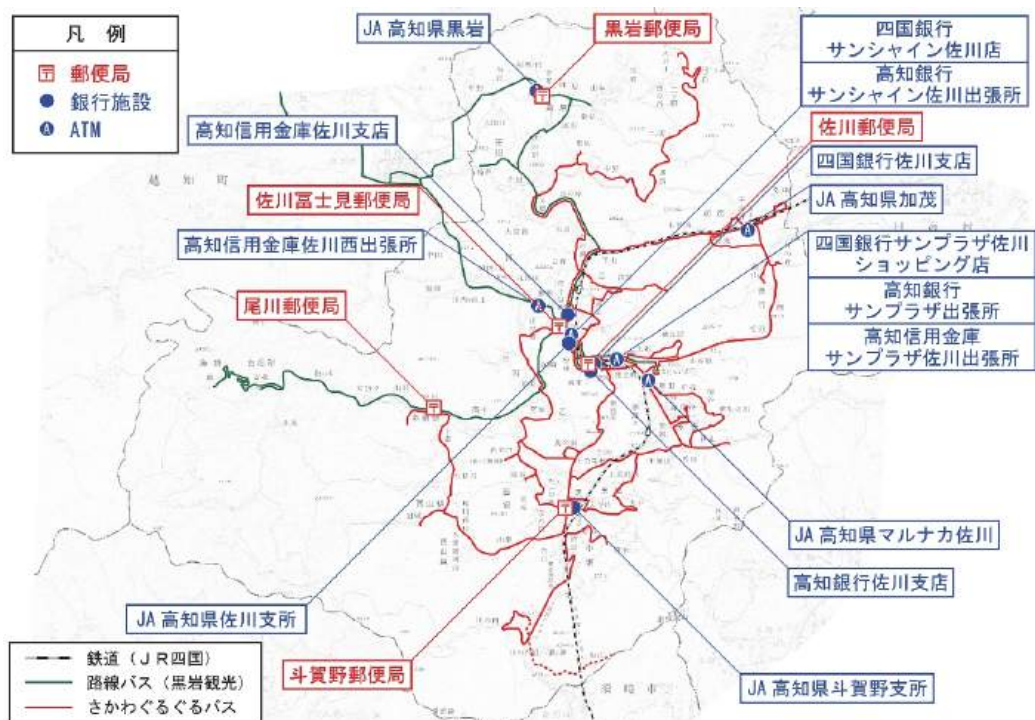
図：主な商業施設（食料品を主に扱う）の分布



出典：タウンページ高知県版より、スーパー、食料品店、コンビニエンスストア、ホームセンターを抽出

(5) 郵便局・金融機関

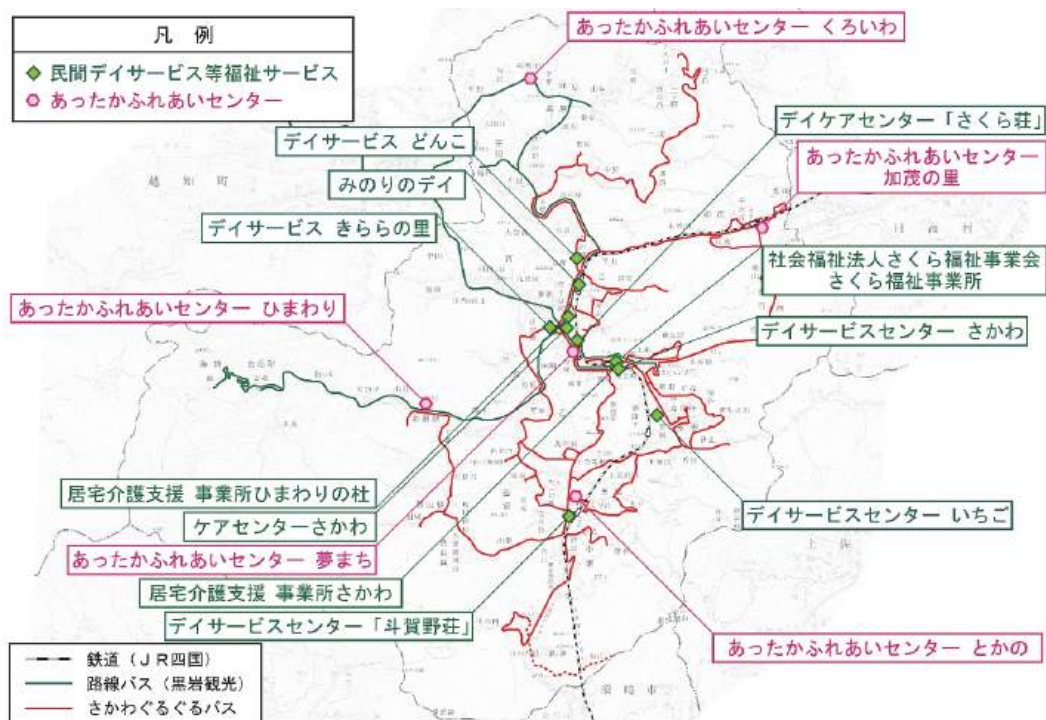
図：郵便局・金融機関の分布



出典：郵便局、四国銀行、高知銀行、高知信用金庫、JA 高知県ホームページを抽出

(6) 福祉関連施設

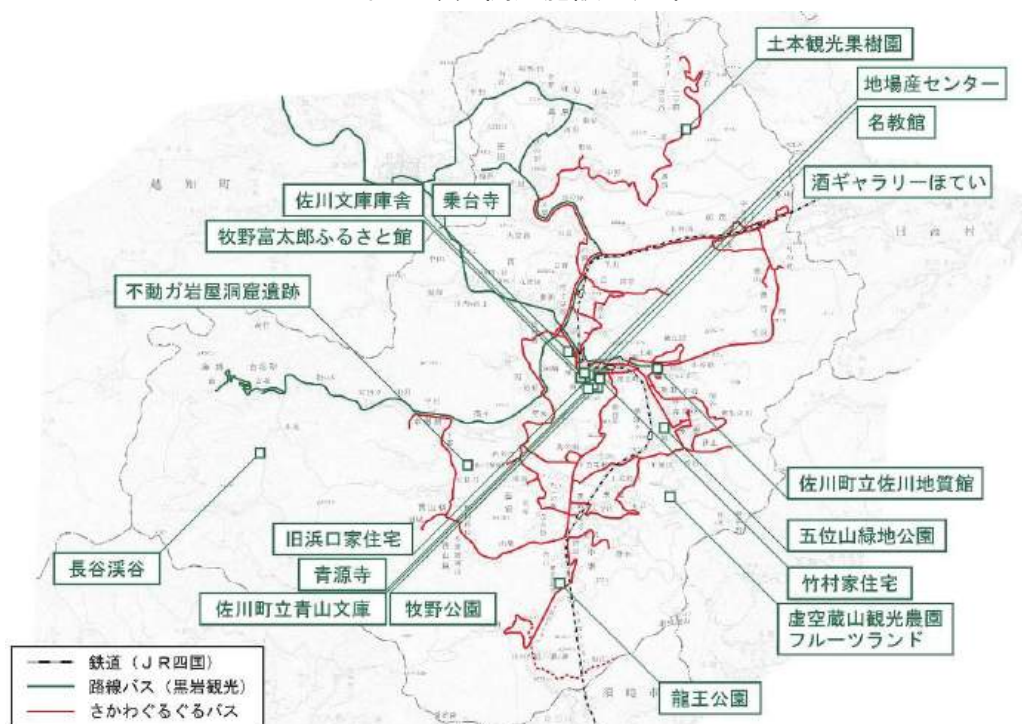
図：福祉関連施設の分布



出典：タウンページ高知県版より、デイサービスを抽出
あったかふれあいセンターは佐川町

(7) 観光関連施設

図：観光関連施設の分布



出典：佐川町

表：町内の観光関連施設訪問者数の推移

	2019 年 (令和元)	2020 年 (令和 2)	2021 年 (令和 3)
佐川町立佐川地質館	13,390 人	9,499 人	13,293 人
佐川町立青山文庫	5,559 人	3,092 人	3,615 人
旧浜口家住宅	33,251 人	17,913 人	17,667 人

出典：県外観光客入込・動態調査

4. 町民の消費動向

(1) 消費の動向

最寄品、生鮮食品といった生活に身近な消費は、地元購買率が9割を超えており、ほぼ町内で購入されていることが分かる。一方で中間品や買回品は主に高知市に消費が流出している。

表：佐川町民の区分別購入の概要

購入する自治体	区分	量販店	ドラッグストア	大型の専門店	商店	直売店	その他	地元購買率
佐川町内	最寄品	79.6%	8.2%	0.3%	2.4%	0.9%	0.7%	92.1%
	買回品	4.2%	—	3.4%	1.5%	—	0.5%	9.6%
	中間品	20.2%	19.2%	5.0%	3.3%	—	1.2%	48.9%
	生鮮食品	88.2%	—	—	2.4%	1.7%	0.7%	93.0%
越知町	最寄品	—	—	—	0.2%	—	—	
	買回品	—	—	0.2%	0.5%	—	—	
	中間品	—	—	—	—	—	—	
	生鮮食品	—	—	—	0.3%	—	—	
高知市	最寄品	2.1%	0.3%	0.3%	0.3%	—	—	
	買回品	47.8%	—	10.1%	2.2%	0.2%	1.2%	
	中間品	25.7%	0.7%	6.2%	1.4%	—	0.5%	
	生鮮食品	1.4%	—	—	—	—	—	
いの町	最寄品	0.9%	—	—	—	—	—	
	買回品	1.0%	—	—	0.2%	—	—	
	中間品	3.3%	0.2%	0.2%	0.2%	—	—	
	生鮮食品	1.0%	—	—	—	—	—	
須崎市	最寄品	0.9%	0.5%	—	0.2%	—	—	
	買回品	—	—	1.0%	—	—	—	
	中間品	—	1.2%	1.0%	—	—	—	
	生鮮食品	1.4%	—	—	0.3%	—	—	

出典：2016（平成28）年度 県民消費動向調査（高知県）

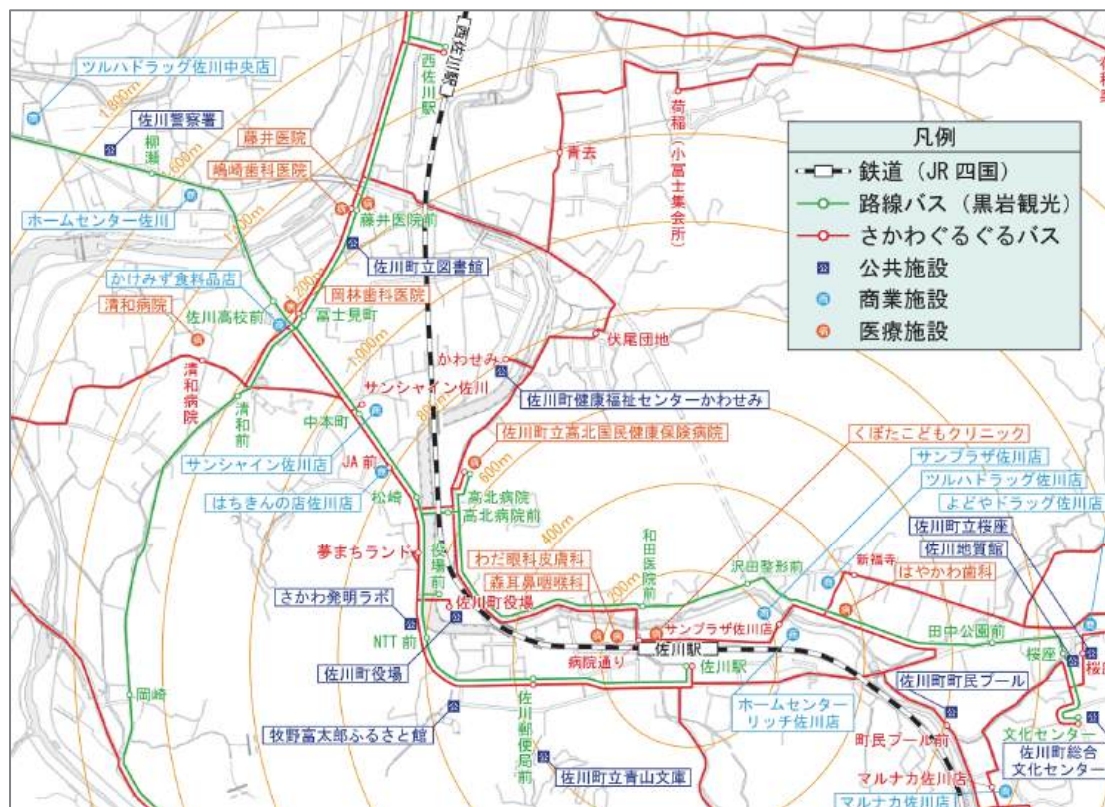
表の見方

- ・最寄品：生鮮食品、一般食料品、日用雑貨・台所用品の買い物先支持率の平均値
- ・買回品：紳士服、婦人服、くつ・カバンの買い物先支持率の平均値
- ・中間品：医薬品・化粧品、書籍・文具、シャツ・下着類の買い物先支持率の平均値
- ・生鮮食品：肉、魚、青果の買い物先支持率の平均値
- ・最寄り品、買回品、中間品、生鮮食品の区分毎に、1位の購入先を■、2位の購入先を■で表示

5. 本町の中心部の状況

多くの主要集客施設が集積する本町中心部は、東から西まで約 1.5 km の範囲に量販店や病院施設、役場、金融機関などが点在している。

図：中心部の拡大図〔地理院地図を加工〕



写真：サンシャイン佐川店



写真：佐川駅

第2節：移動手段確保に関する現状

1. 本町の公共交通網

(1) 広域公共交通網

町外に出る広域公共交通網として、高知市や須崎市方面には鉄道（ＪＲ四国）と越知町、仁淀川町方面に路線バス（黒岩観光）が運行している。

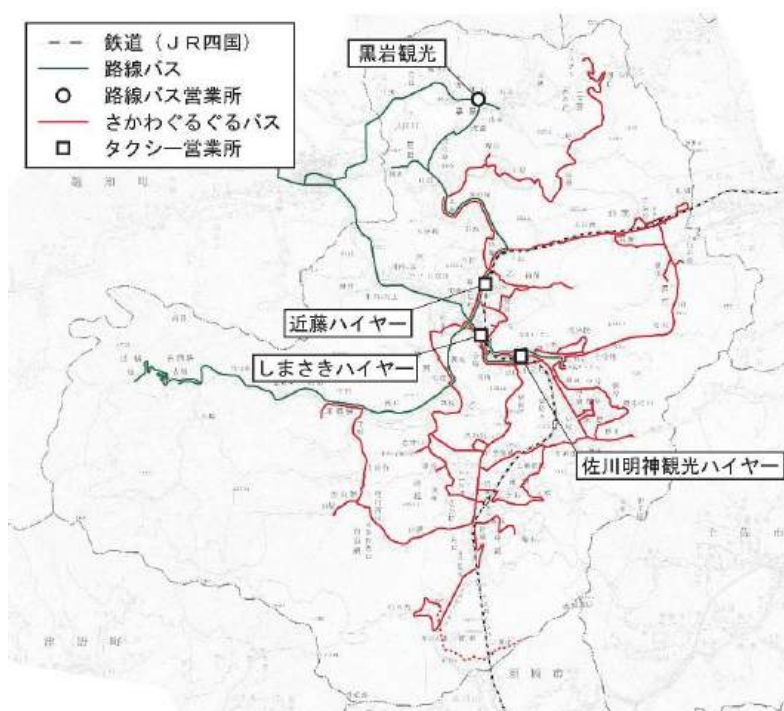
図：広域公共交通網



(2) 地域内公共交通網

地域内公共交通として、路線バス（黒岩観光）とコミュニティバス（さかわぐるぐるバス）、そして３社のタクシー事業者が事業を行っている。

図：地域内公共交通網



2. 鉄道

(1) 運行概要（鉄道）



町内には鉄道駅が5つあり、佐川駅には特急列車も停車する。

高知市方面への公共交通はこの鉄道が唯一となっている。

表：佐川駅における運行概要 [2022（令和4）年12月現在]

鉄道（佐川駅）運行概要			
	行き先	運行本数	備考
特急列車	高知行き	9本	特急あしずり
	中村行き	7本	特急あしずり
	宿毛行き	1本	特急あしずり
	中村行き	1本	特急しまんと
普通列車	高知行き	12本	
	土佐山田行き	7本	
	須崎行き	13本	
	窪川行き	5本	

図：鉄道路線図



(2) 運行ダイヤ (鉄道)

のぼり線	始発駅	斗賀野駅	襟野々駅	佐川駅	西佐川駅	土佐加茂駅	行き先
	須崎	5:52	5:55	5:58	6:02	6:07	土佐山田
	須崎	6:25	6:28	6:31	6:35	6:40	土佐山田
	窪川	6:49	6:52	6:55	6:58	7:02	高知
	須崎	7:18	7:21	7:24	7:38	7:43	高知
	中村	—	—	7:31	—	—	高知
	窪川	8:02	8:05	8:08	8:11	8:15	高知
	中村	—	—	8:26	—	—	高知
	須崎	8:38	8:42	8:47	8:50	8:55	高知
	須崎	9:09	9:12	9:15	9:18	9:23	高知
	須崎	9:54	9:57	10:01	10:04	10:14	高知
	宿毛	—	—	10:43	—	—	高知
	須崎	10:53	10:56	10:59	11:03	11:08	高知
	須崎	11:38	11:42	11:45	11:53	12:04	高知
	中村	—	—	12:35	—	—	高知
	須崎	13:10	13:14	13:18	13:21	13:29	高知
	窪川	14:01	14:04	14:07	14:12	14:17	高知
	中村	—	—	14:40	—	—	高知
	須崎	15:30	15:33	15:36	15:39	15:44	土佐山田
	須崎	16:16	16:19	16:23	16:39	16:43	土佐山田
	中村	—	—	16:33	—	—	高知
	須崎	17:16	17:19	17:22	17:25	17:32	土佐山田
	須崎	17:41	17:44	17:47	17:50	17:55	土佐山田
	中村	—	—	18:07	—	—	高知
	須崎	18:27	18:30	18:33	18:36	18:40	土佐山田
	中村	—	—	19:02	—	—	高知
	窪川	19:44	19:47	19:51	19:54	19:59	高知
	宿毛	—	—	21:10	—	—	高知
	須崎	21:55	21:58	22:01	22:04	22:09	高知

くだり線	始発駅	土佐加茂駅	西佐川駅	佐川駅	襟野々駅	斗賀野駅	行き先
	高知	6:26	6:35	6:39	6:42	6:51	窪川
	土佐山田	7:25	7:34	7:37	7:41	7:44	須崎
	土佐山田	8:01	8:11	8:14	8:17	8:22	須崎
	高松	—	—	8:47	—	—	中村
	高知	9:23	9:30	9:33	9:37	9:40	須崎
	高知	—	—	10:17	—	—	中村
	高知	10:28	10:34	10:43	10:46	10:53	須崎
	土佐山田	11:46	11:51	11:54	11:57	12:00	須崎
	高知	—	—	12:09	—	—	中村
	高知	12:40	12:46	12:49	12:52	12:55	窪川
	高知	13:30	13:35	13:39	13:42	13:45	須崎
	高知	—	—	14:14	—	—	中村
	高知	14:56	15:02	15:05	15:08	15:12	須崎
	高知	15:24	15:39	15:43	15:46	15:49	窪川
	高知	—	—	16:11	—	—	中村
	高知	16:29	16:36	16:45	16:47	16:50	須崎
	高知	17:01	17:07	17:10	17:13	17:16	須崎
	高知	—	—	17:37	—	—	宿毛
	土佐山田	18:12	18:18	18:21	18:24	18:27	窪川
	高知	18:41	18:46	18:49	18:52	18:59	須崎
	土佐山田	18:57	19:04	19:07	19:10	19:13	須崎
	高知	—	—	19:28	—	—	中村
	土佐山田	19:59	20:04	20:08	20:11	20:14	窪川
	高知	—	—	20:21	—	—	中村
	土佐山田	20:44	20:50	20:53	20:56	21:07	須崎
	高知	—	—	21:50	—	—	中村
	土佐山田	22:48	22:53	22:56	22:59	23:02	須崎

2022 (令和 4) 年 11 月 20 日現在

(3) 運賃（鉄道）

表：土讃線の普通旅客運賃表

窪川									
360	土佐久礼								
560	260	須崎	佐川町内						
870	460	260	斗賀野						
870	460	260	170	襟野々					
870	560	260	210	170	佐川				
970	560	360	210	210	170	西佐川			
1,110	670	460	220	220	210	210	土佐加茂		
1,300	870	670	360	360	360	260	260	伊野	
1,470	1,110	870	670	560	560	560	460	260	高知

(4) 利用者数の整理（鉄道）

表：年度別乗車人員

		2017 年度 (平成 29)	2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)
土佐加茂駅	普通	4,745	4,745	4,745	3,294	3,285
	定期	21,900	22,995	23,360	21,960	20,805
西佐川駅	普通	24,090	21,900	14,235	8,418	7,300
	定期	77,380	80,300	81,030	70,272	66,430
佐川駅	普通	43,435	40,880	39,785	24,522	24,820
	定期	99,280	99,280	100,010	90,402	79,205
襟野々駅	普通	1,460	1,460	1,460	1,464	1,095
	定期	24,455	25,915	22,630	17,934	14,965
斗賀野駅	普通	9,490	9,490	6,570	4,758	4,380
	定期	43,800	41,245	38,325	31,110	28,105
合計	普通	83,220	78,475	66,795	42,456	40,880
	定期	266,815	269,735	265,355	231,678	209,510
	計	350,035	348,210	332,150	274,134	250,390

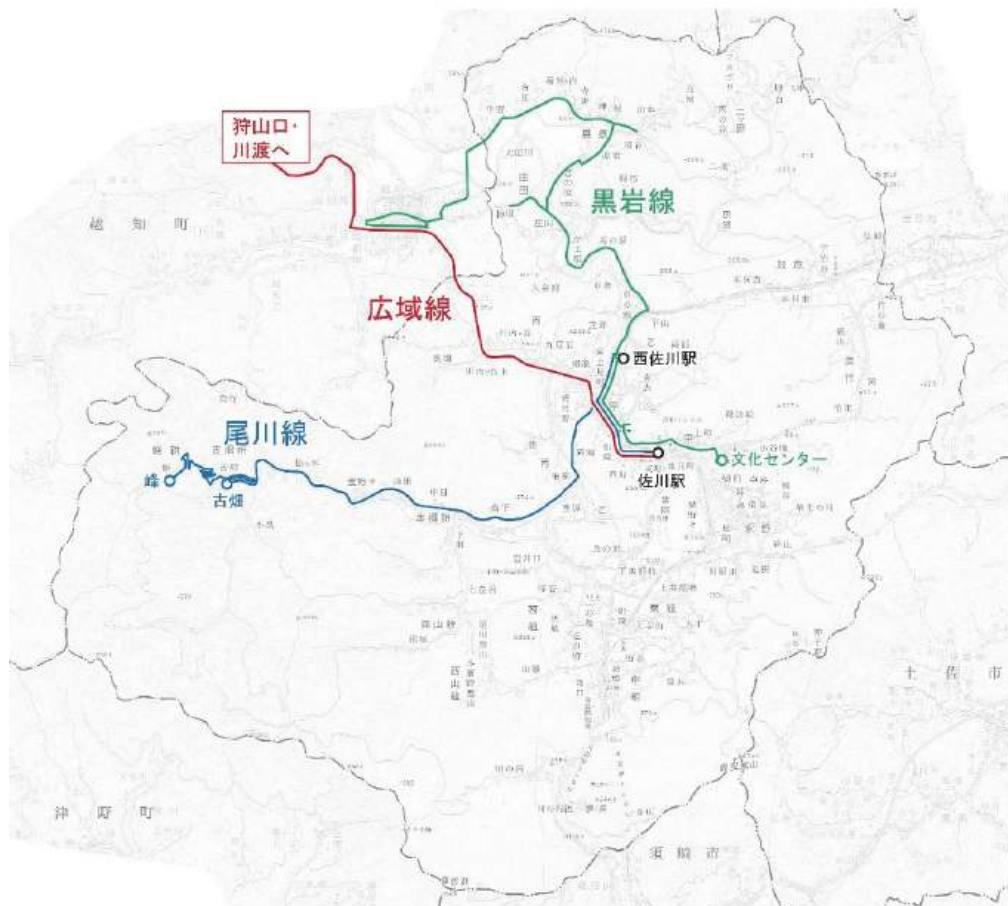
出典：J R 四国高知企画部

3. 路線バス

(1) 運行概要（路線バス）

路線バスは黒岩観光が運行しており、尾川線のみ町内で完結している。

図：路線バス路線図



表：路線バスにおける運行概要 [2022（令和4）年12月現在]

路線バス運行概要			
	路線名	平日運行回数	備考
尾川線	佐川駅－古畑	5.0回	金曜日は1.0回
	西佐川駅－古畑	1.0回	
	佐川駅－峰	4.0回	金曜日のみ
黒岩線	文化センター－越知	4.0回	
	文化センター－越知	1.5回	楠原、山本経由
	原－越知	1.0回	
	柴尾－文化センター	0.5回	
	西佐川駅－柴尾	0.5回	
	越知－西佐川駅	0.5回	
広域線	佐川駅－川渡	3.5回	
	佐川駅－狩山口	5.5回	
	佐川駅－土佐大崎	1.0回	
	越知－佐川駅	0.5回	

(2) 運行ダイヤ（路線バス）

尾川線（佐川駅行き）と黒岩線（文化センター行き）は西佐川駅で接続しており、黒岩線利用者も乗り換えることで佐川駅に行くことが可能となっている。

表：尾川線（月～木曜日、土曜日の運行ダイヤ、祭日は運休）

佐川駅	中本町	西佐川駅	由留岐橋	下郷	松ノ木	古畑
		7:25	7:29	7:31	7:38	7:43
9:30	9:34	9:37	9:41	9:43	9:50	9:55
11:00	11:04	11:07	11:11	11:13	11:20	11:25
13:20	13:24	13:27	13:31	13:33	13:40	13:45
15:35	15:39	15:42	15:46	15:48	15:55	16:00
17:20	17:24	17:27	17:31	17:33	17:40	17:45

古畑	松ノ木	下郷	由留岐橋	西佐川駅	中本町	佐川駅
7:47	7:50	7:56	7:59	8:05	8:07	8:14
9:55	9:58	10:04	10:07	10:13	10:15	10:22
11:25	11:28	11:34	11:37	11:43	11:45	11:52
13:45	13:48	13:54	13:57	14:03	14:05	14:12
16:00	16:03	16:09	16:12	16:18	16:20	16:27
17:45	17:48	17:54	17:57	18:03		

表：尾川線（金曜日の運行ダイヤ、祭日は運休）

佐川駅	中本町	西佐川駅	由留岐橋	下郷	松ノ木	古畑	峰
		7:25	7:29	7:31	7:38	7:43	
9:00	9:04	9:07	9:11	9:13	9:20	9:25	9:40
10:30	10:34	10:37	10:41	10:43	10:50	10:55	11:10
12:50	12:54	12:57	13:01	13:03	13:10	13:15	13:30
15:05	15:09	15:12	15:16	15:18	15:25	15:30	15:45
17:20	17:24	17:27	17:31	17:33	17:40	17:45	

峰	古畑	松ノ木	下郷	由留岐橋	西佐川駅	中本町	佐川駅
	7:47	7:50	7:56	7:59	8:05	8:07	8:14
9:42	9:55	9:58	10:04	10:07	10:13	10:15	10:22
11:12	11:25	11:28	11:34	11:37	11:43	11:45	11:52
13:32	13:45	13:48	13:54	13:57	14:03	14:05	14:12
15:47	16:00	16:03	16:09	16:12	16:18	16:20	16:27
	17:45	17:48	17:54	17:57	18:03		

表：黒岩線（日曜・祭日運休）

文化センター	中本町	西佐川駅	楠原	山本	原	柴尾	越知
					6:55	6:58	7:05
7:15	7:20	7:23	—	—	7:35	7:38	7:45
9:00	9:05	9:08	—	—	9:20	9:23	9:30
10:50	10:55	10:58	11:08	11:14	11:15	11:18	11:25
13:15	13:20	13:23	13:33	13:39	13:40	13:43	13:50
15:35	15:40	15:43	—	—	15:55	15:58	16:05
17:20	17:25	17:28	—	—	17:40	17:43	17:50
		18:03	—	—	18:14	18:17	

越知	柴尾	原	山本	楠原	西佐川駅	中本町	文化センター
	6:40	6:44	—	—	6:56	6:57	7:05
7:05	7:09	7:13	—	—	7:25		
7:45	7:49	7:53	—	—	8:05	8:06	8:14
9:30	9:34	9:38	9:39	9:46	9:55	9:56	10:04
11:25	11:29	11:33	—	—	11:45	11:46	11:54
13:50	13:54	13:58	—	—	14:10	14:11	14:19
16:05	16:09	16:13	—	—	16:25	16:26	16:34
17:50	17:54	17:58					

表：広域線

佐川駅	中本町	川内ヶ谷	上川内ヶ谷	越知	土佐大崎	川渡	狩山口
○ 6:45	○ 6:48	○ 6:51	○ 6:53	○ 6:56	○ 7:12	○ 7:26	—
7:00	7:03	7:06	7:08	7:11	7:27	—	7:38
8:50	8:53	8:56	8:58	9:01	9:17	—	9:28
10:55	10:58	11:01	11:03	11:06	11:22	☆ 11:36	—
12:00	12:03	12:06	12:08	12:11	12:27	—	12:38
13:45	13:48	13:51	13:53	13:56	14:12	○ 14:26	—
14:35	14:38	14:41	14:43	14:46	15:02	—	15:13
16:05	16:08	16:11	16:13	16:16	16:32	☆ 16:46	—
17:30	17:33	17:36	17:38	17:41	17:57	—	18:08
○ 18:35	○ 18:38	○ 18:41	○ 18:43	○ 18:46	○ 19:02		

川渡	狩山口	土佐大崎	越知	上川内ヶ谷	川内ヶ谷	中本町	佐川駅
			6:40	6:42	6:43	6:46	6:50
	7:43	7:58	8:15	8:18	8:20	8:23	8:28
	▲ 8:23	○ 8:35	○ 8:52	○ 8:55	○ 8:57	○ 9:00	○ 9:05
	10:05	10:17	10:34	10:37	10:39	10:42	10:47
☆ 11:55	—	12:10	12:27	12:30	12:32	12:35	12:40
	12:48	13:00	13:17	13:20	13:22	13:25	13:30
○ 14:43	—	14:58	15:15	15:18	15:20	15:23	15:28
	16:15	16:27	16:44	16:47	16:49	16:52	16:57
☆ 17:25	—	17:40	17:57	18:00	18:02	18:05	18:10
	18:10	18:22	18:39	18:42	18:44	18:47	18:52
		○ 19:05	○ 19:22	○ 19:25	○ 19:27	○ 19:30	○ 19:35

○印 日曜祭日運休

☆印 祭日運休

▲印 春夏冬の小中学校休校日と毎週土曜日・日曜・祭日運休

(3) 運賃（路線バス）

表：尾川線の運賃表

佐川駅	佐川町内					
140	中本町					
190	130	西佐川駅				
230	190	190	由留岐橋			
290	260	260	140	下郷		
420	380	380	280	210	松ノ木	
480	450	440	340	270	130	古畑

表：黒岩線の運賃表

文化センター	佐川町内							
200	中本町							
230	130	西佐川駅						
420	350	280	楠原					
490	410	350	220	山本				
480	400	330	200	130	原			
650	530	500	370	280	260	柴尾		
680	600	530	410	320	290	130	越知	

※ 尾川線と黒岩線は、金曜日のみ割引運賃が適用。

（200 円未満の区間は 100 円、200 円以上の区間は 200 円）

表：広域線の運賃表

佐川駅	佐川町内							
130	中本町							
200	130	川内ヶ谷						
220	180	130	上川内ヶ谷					
340	260	220	180	越知				
790	740	710	670	580	土佐大崎			
990	940	910	870	780	200	川渡		
990	940	910	870	780	200	—	狩山口	

(4) 利用者数の推移（路線バス）

表：黒岩観光年度別利用者数 [2017(平成 29) 年 10 月 1 日～2022(令和 4) 年 9 月 30 日]

	平成 30 年度	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	合計
尾川線	6,162	4,589	3,697	3,939	3,971	22,358
黒岩線	6,298	5,443	5,338	5,509	5,483	28,071
広域線	45,301	44,578	34,422	29,557	29,953	183,811
合計	57,761	54,610	43,457	39,005	39,407	234,240

表：尾川線月別利用者数 [2017(平成 29) 年 10 月 1 日～2022(令和 4) 年 9 月 30 日]

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
2018 年度 (平成 30)	520	589	652	508	474	592	498	533	515	386	480	415
2019 年度 (令和元)	430	394	492	365	360	414	402	381	354	346	329	322
2020 年度 (令和 2)	326	367	381	283	298	249	259	252	331	366	271	314
2021 年度 (令和 3)	374	337	385	261	281	351	365	300	349	335	274	327
2022 年度 (令和 4)	358	339	373	318	300	407	305	302	330	319	325	295
合計	2,008	2,026	2,283	1,735	1,713	2,013	1,829	1,768	1,879	1,752	1,679	1,673

表：黒岩線月別利用者数 [2017(平成 29) 年 10 月 1 日～2022(令和 4) 年 9 月 30 日]

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
2018 年度 (平成 30)	594	530	616	499	492	539	486	507	539	527	514	455
2019 年度 (令和元)	428	446	468	374	437	428	503	441	470	505	494	449
2020 年度 (令和 2)	493	463	472	404	494	438	405	396	491	482	444	356
2021 年度 (令和 3)	457	415	448	355	408	395	485	482	540	561	522	441
2022 年度 (令和 4)	490	506	581	418	416	465	535	402	418	404	450	398
合計	2,462	2,360	2,585	2,050	2,247	2,265	2,414	2,228	2,458	2,479	2,424	2,099

表：広域線月別利用者数 [2017(平成 29) 年 10 月 1 日～2022(令和 4) 年 9 月 30 日]

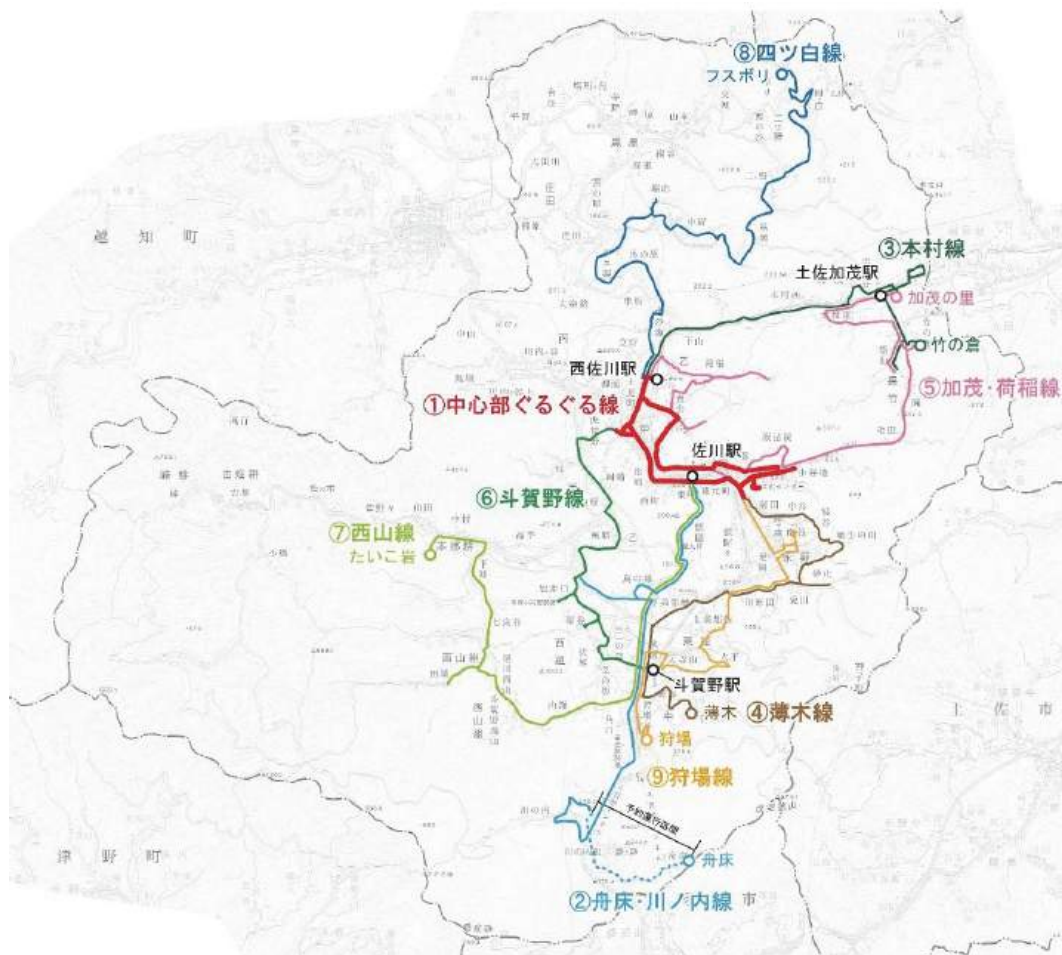
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
2018 年度 (平成 30)	4,347	4,126	4,023	3,440	3,377	3,980	3,822	4,063	4,050	3,470	3,219	3,384
2019 年度 (令和元)	4,371	4,223	4,019	3,435	3,491	3,769	3,688	3,807	3,709	3,410	3,040	3,616
2020 年度 (令和 2)	3,988	3,708	3,588	3,081	3,343	2,298	2,007	2,466	2,584	2,627	2,495	2,237
2021 年度 (令和 3)	2,783	2,539	2,509	2,068	2,191	2,732	2,513	2,354	2,561	2,383	2,531	2,393
2022 年度 (令和 4)	2,717	2,541	2,687	2,046	1,965	2,660	2,586	2,665	2,653	2,474	2,538	2,421
合計	18,206	17,137	16,826	14,070	14,367	15,439	14,616	15,355	15,557	14,364	13,823	14,051

4. コミュニティバス（さかわぐるぐるバス）

(1) 運行概要

さかわぐるぐるバスは、平成 29 年 10 月から運行を開始したコミュニティバスであり、町内の公共交通空白地区の解消を目指し、曜日を限定して運行している。

図：さかわぐるぐるバス路線図



表：さかわぐるぐるバスにおける運行概要 [2022（令和 4）年 9 月現在]

さかわぐるぐるバス運行概要			
路線名	運行曜日	運行回数	備考
① 中心部ぐるぐる線	月曜～金曜	8.0 回	
② 舟床・川ノ内線	月曜	4.5 回	予約運行区間（舟床～舟床口）
③ 本村線	火曜	4.5 回	
④ 薄木線	火曜	4.5 回	
⑤ 加茂・荷稻線	水曜	4.5 回	
⑥ 斗賀野線	水曜	4.5 回	
⑦ 西山線	木曜	4.5 回	
⑧ 四ツ白線	金曜	4.5 回	
⑨ 狩場線	金曜	4.5 回	

(2) 運行開始からこれまで

運行開始以降、毎年のように路線の見直しを行っている。

表：さかわぐるぐるバスのこれまでの再編状況

年度	再編の概要
2018 年度 (平成 30)	◎ 10 月 16 日から全 9 路線で本格運行開始。
2019 年度 (令和元)	・ 郊外線全路線について、かわせみを経由する運行経路に変更。 ・ 中心部ぐるぐる線について、夢まちランド敷地内を経由する運行経路に変更。 ・ 加茂・荷稻線について、本村東、宮ノ前経由に運行経路を変更。
2020 年度 (令和 2)	・ 中心部ぐるぐる線の富士見町交差点付近の運行経路を変更。 ・ 舟床・川ノ内線を鳥の巣地区内と狩場地区内を経由する運行経路に変更。 ・ 狩場線を南谷地区内を経由する運行経路に変更。
2021 年度 (令和 3)	・ 中心部ぐるぐる線と加茂・荷稻線の新福寺ーサンプラザ佐川店間について、運行経路を変更。 ・ 本村線の宇治谷バス停周辺の運行経路の変更。 ・ 加茂・荷稻線を三野伏尾地区を経由する運行経路に変更。
2022 年度 (令和 4)	・ 加茂・荷稻線の三野伏尾地区を経由する運行を休止。 ・ 薄木線の砂止地区内の運行経路を変更。

(3) 利用状況の推移

本格運行開始 2 年目から利用者が定着し、現在の年間利用者数は 1 万人を若干下回る程度にまでなっている。

表：さかわぐるぐるバスの年度別利用者数（本格運行開始以降）

	2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	路線別計
中心部ぐるぐる線	2,288	3,029	3,146	3,145	3,513	15,121
舟床・川ノ内線	285	417	490	592	571	2,355
本村線	430	787	663	630	662	3,172
薄木線	512	822	816	707	648	3,505
加茂・荷稻線	528	918	852	725	816	3,839
斗賀野線	604	638	767	829	923	3,761
西山線	559	800	865	674	703	3,601
四ツ白線	657	780	810	645	613	3,505
狩場線	523	661	766	800	856	3,606
年度別計	6,386	8,852	9,175	8,747	9,305	42,465

(4) 路線別の整理

① 中心部ぐるぐる線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	左回り線			
西佐川駅	8:15	9:55	11:55	14:50
サンシャイン佐川	8:22	10:02	12:02	14:57
佐川町役場	8:26	10:06	12:06	15:01
佐川駅	8:28	10:08	12:08	15:03
マルナカ佐川店	8:31	10:11	12:11	15:06
文化センター	8:33	10:13	12:13	15:08
サンプラザ佐川店	8:41	10:21	12:21	15:16
高北病院	8:44	10:24	12:24	15:19
西佐川駅	8:52	10:32	12:32	15:27

停留所名	右回り線			
西佐川駅	9:06	11:11	14:01	15:56
高北病院	9:14	11:19	14:09	16:04
サンプラザ佐川店	9:17	11:22	14:12	16:07
文化センター	9:25	11:30	14:20	16:15
マルナカ佐川店	9:27	11:32	14:22	16:17
佐川駅	9:30	11:35	14:25	16:20
佐川町役場	9:32	11:37	14:27	16:22
サンシャイン佐川	9:36	11:41	14:31	16:26
西佐川駅	9:43	11:48	14:38	16:33

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
2, 288	3, 029	3, 146	3, 145	3, 513	15, 121

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
337	358	304	203	198	242	284	286	335	314	351	301	3, 513

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

左回り便計 発時刻 停留所	期間計							
	8:15		9:55		11:55		14:50	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
西佐川駅	31	0	72	0	36	0	8	0
藤井医院前	20	0	32	2	2	1	0	2
富士見町	1	1	53	1	10	6	5	0
清和病院	12	26	18	0	30	8	25	0
サンシャイン佐川	3	6	137	115	45	23	50	13
JA前	1	3	31	19	47	5	6	2
夢まちランド	0	0	4	6	22	0	1	0
佐川町役場	1	3	9	17	2	10	11	6
郵便局前	2	1	51	8	12	15	16	7
佐川駅	49	20	52	95	12	29	22	49
町民プール前	0	0	0	1	0	1	3	4
マルナカ佐川店	1	5	16	25	20	7	23	18
文化センター	8	13	8	10	6	33	10	9
桜座	15	1	14	40	10	19	7	6
ローソン東店前	31	2	216	9	40	8	31	15
新福寺	39	1	170	25	6	40	14	3
サンブラザ佐川店	0	30	37	324	63	28	31	20
病院通り	2	15	10	34	17	7	16	26
高北病院	0	77	3	135	1	58	5	55
かわせみ	1	9	0	47	0	49	0	45
伏尾団地	0	0	0	9	0	21	0	0
西佐川駅	0	4	0	11	0	13	0	4
計	217	217	933	933	381	381	284	284

右回り便計 発時刻 停留所	期間計							
	9:06		11:11		14:01		15:56	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
西佐川駅	31	0	4	0	6	0	1	0
伏尾団地	8	0	22	0	0	0	0	0
かわせみ	117	0	69	0	47	0	8	0
高北病院	16	21	40	3	28	8	83	0
病院通り	4	48	5	8	9	7	17	14
サンブラザ佐川店	8	63	417	46	58	28	33	26
新福寺	21	7	6	195	8	19	3	11
ローソン東店前	12	10	15	196	7	20	6	36
桜座	52	4	12	25	10	5	3	4
文化センター	26	5	11	10	12	4	2	8
マルナカ佐川店	4	15	21	10	23	8	13	20
町民プール前	0	0	0	0	1	0	2	0
佐川駅	127	14	53	29	61	28	49	26
郵便局前	23	21	1	54	2	30	2	6
佐川町役場	5	15	10	4	3	20	0	5
夢まちランド	0	29	0	2	0	0	1	0
JA前	0	40	0	3	0	9	1	2
サンシャイン佐川	12	82	21	78	14	57	10	43
清和病院	0	26	0	14	0	20	1	22
富士見町	0	38	0	9	0	10	0	3
藤井医院前	0	13	0	13	0	7	0	6
西佐川駅	0	13	0	9	0	9	0	3
計	466	466	708	708	289	289	235	235

・最も利用 (左回り、右回り) が多い停留所：赤色

・2 番目に利用 (左回り、右回り) の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用 (左回り、右回り) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

② 舟床・川ノ内線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【舟床 ⇒ 西佐川駅】				
舟床（予約運行）	8:08	10:03	12:48	14:38	17:13
舟床口	8:23	10:18	13:03	14:53	17:28
狩場	8:30	10:25	13:10	15:00	17:35
斗賀野駅	8:34	10:29	13:14	15:04	17:39
佐川駅	8:49	10:44	13:29	15:19	17:54
佐川町役場	8:51	10:46	13:31	15:21	17:56
高北病院	8:57	10:52	13:37	15:27	18:02
サンシャイン佐川	8:59	10:54	13:39	15:29	18:04
西佐川駅	9:01	10:56	13:41	15:31	18:06

停留所名	下り線 【西佐川駅 ⇒ 舟床】				
西佐川駅	9:10	11:55	13:45	16:20	—
サンシャイン佐川	9:12	11:57	13:47	16:22	—
高北病院	9:14	11:59	13:49	16:24	—
佐川町役場	9:20	12:05	13:55	16:30	—
佐川駅	9:22	12:07	13:57	16:32	—
斗賀野駅	9:37	12:22	14:12	16:47	—
狩場	9:41	12:26	14:16	16:51	—
舟床口	9:48	12:33	14:23	16:58	—
舟床（予約運行）	10:03	12:48	14:38	17:13	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
285	417	490	592	571	2,355

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
52	44	39	40	43	46	54	58	54	35	71	35	571

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計										期間計									
	8:08		10:03		12:48		14:38		17:13		9:10		11:55		13:45		16:20		-	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
舟床 (予約運行)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
舟床口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川ノ内	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狩場	10	0	35	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白倉神社前	10	0	14	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
斗賀野駅	14	0	29	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集落活動センターあおぞら	1	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二ノ部丁	58	0	24	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥の巣下	10	0	8	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥の巣口	8	0	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐川駅	5	4	9	13	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	2	2	0	0	0
郵便局前	0	7	3	30	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0
佐川町役場	0	7	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かわせみ	2	2	2	12	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0
高北病院	0	41	0	29	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
JA前	0	28	0	19	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サンシャイン佐川	0	36	3	47	0	11	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	131	131	160	160	29	29	14	14	0	0	56	56	137	137	37	37	7	7	0	0

・最も利用 (上りは乗車、下りは降車) が多い停留所：赤色

・2 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

③ 本村線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【竹の倉 ⇒ 佐川駅】				
竹の倉	8:16	9:49	11:39	14:24	17:09
土佐加茂駅	8:22	9:55	11:45	14:30	17:15
宇治谷	8:30	10:03	11:53	14:38	17:23
本村西	8:34	10:07	11:57	14:42	17:27
西佐川駅	8:40	10:13	12:03	14:48	17:33
サンシャイン佐川	8:42	10:15	12:05	14:50	17:35
高北病院	8:44	10:17	12:07	14:52	17:37
佐川町役場	8:50	10:23	12:13	14:58	17:43
佐川駅	8:52	10:25	12:15	15:00	17:45

停留所名	下り線 【佐川駅 ⇒ 竹の倉】				
佐川駅	9:10	11:00	13:45	16:30	—
佐川町役場	9:12	11:02	13:47	16:32	—
高北病院	9:18	11:08	13:53	16:38	—
サンシャイン佐川	9:20	11:10	13:55	16:40	—
西佐川駅	9:22	11:12	13:57	16:42	—
本村西	9:28	11:18	14:03	16:48	—
宇治谷	9:32	11:22	14:07	16:52	—
土佐加茂駅	9:40	11:30	14:15	17:00	—
竹の倉	9:46	11:36	14:21	17:06	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
430	787	663	630	662	3,172

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
58	72	60	27	44	63	64	62	50	54	62	46	662

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計											
	8:16		9:49		11:39		14:24		17:09			
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
竹の倉	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横山	20	0	20	0	2	0	2	0	0	0	0	0
土佐加茂駅	5	1	3	0	52	0	1	0	0	0	0	0
加茂の里	1	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0
弘岡口	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弘岡上	17	0	14	0	24	0	2	0	0	0	0	0
弘岡口	33	0	12	0	1	0	1	0	0	0	0	0
宇治谷	34	0	8	0	4	0	2	0	0	0	0	0
本村東	8	0	14	0	1	1	4	0	0	0	0	0
本村西	57	0	34	0	4	28	4	0	0	0	0	0
下山	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
富士見町	0	36	0	11	0	2	0	4	0	0	0	0
サンシャイン佐川	0	37	1	64	0	9	0	4	1	0	0	0
JA前	0	7	0	13	0	2	0	0	0	0	0	0
高北病院	2	52	0	5	2	0	0	1	3	0	0	0
かわせみ	8	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
佐川町役場	0	6	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0
郵便局前	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
佐川駅	0	40	0	10	0	1	0	5	0	4	0	0
計	199	199	112	112	71	71	17	17	4	4		

便計 発時刻 停留所	期間計											
	9:10		11:00		13:45		16:30		ー			
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
佐川駅	2	0	39	0	8	0	8	0	0	0	0	0
郵便局前	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐川町役場	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
かわせみ	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
高北病院	0	1	8	1	6	0	0	0	0	0	0	0
JA前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サンシャイン佐川	24	0	124	1	9	2	18	1	0	0	0	0
富士見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本村西	0	22	0	45	0	5	0	2	0	0	0	0
本村東	0	0	0	18	0	0	0	3	0	0	0	0
宇治谷	0	0	0	20	0	1	0	6	0	0	0	0
弘岡口	0	0	0	31	0	3	0	1	0	0	0	0
弘岡上	0	1	0	32	0	3	0	2	0	0	0	0
弘岡口	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
加茂の里	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
土佐加茂駅	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0
横山	0	2	0	26	0	4	0	4	0	0	0	0
竹の倉	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0
計	27	27	181	181	25	25	26	26				

・最も利用（上りは乗車、下りは降車）が多い停留所：赤色

・2 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

④ 薄木線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【薄木 ⇒ 西佐川駅】				
薄木	8:12	9:55	12:05	14:30	16:55
斗賀野駅	8:16	9:59	12:09	14:34	16:59
砂止奥	8:26	10:09	12:19	14:44	17:09
マルナカ佐川店	8:37	10:20	12:30	14:55	17:20
佐川駅	8:40	10:23	12:33	14:58	17:23
佐川町役場	8:42	10:25	12:35	15:00	17:25
高北病院	8:48	10:31	12:41	15:06	17:31
サンシャイン佐川	8:50	10:33	12:43	15:08	17:33
西佐川駅	8:52	10:35	12:45	15:10	17:35

停留所名	下り線 【西佐川駅 ⇒ 薄木】				
西佐川駅	9:10	11:20	13:45	16:10	—
サンシャイン佐川	9:12	11:22	13:47	16:12	—
高北病院	9:14	11:24	13:49	16:14	—
佐川町役場	9:20	11:30	13:55	16:20	—
佐川駅	9:22	11:32	13:57	16:22	—
マルナカ佐川店	9:25	11:35	14:00	16:25	—
砂止奥	9:36	11:46	14:11	16:36	—
斗賀野駅	9:46	11:56	14:21	16:46	—
薄木	9:50	12:00	14:25	16:50	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
512	822	816	707	648	3,505

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
75	58	53	45	40	64	38	60	42	59	72	42	648

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計																			
	8:12		9:55		12:05		14:30		16:55		9:10		11:20		13:45		16:10		-	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
薄木	34		42		3															
野添	9		24				2													
白倉神社前	5		19		4		1													
斗賀野駅	7	1	30		5		3													
集落活動センターあおぞら	1	1	4		2		1													
二ノ部丁	24		27	1	11		3													
下美都岐	1		9		1		1													
花畑	1		9				1													
川原田	6		1		2		1													
兎田	3		3																	
砂止奥	4		17		4															
埴生ノ川 (公民館)	1		12		1															
中谷																				
マルナカ佐川店		11	1	53	5	9	1	4												
町民プール前		1	1	1		3														
佐川駅		3		6		4	1	1												
郵便局前		7		5		3		3												
佐川町役場		4		1	1															
かわせみ		1		5		2	1													
高北病院			35	43		6		3												
JA前			9	15																
サンシャイン佐川			17	58		11		5												
富士見町					4		1													
藤井医院前			6	7																
西佐川駅																				
計	96	96	199	199	39	39	16	16			57	57	148	148	88	88	5	5		

・最も利用 (上りは乗車、下りは降車) が多い停留所：赤色

・2 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

⑤ 加茂・荷稻線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【加茂の里 ⇒ 西佐川駅】				
加茂の里	8:13	10:00	12:09	14:39	17:16
宮ノ前	8:16	10:03	12:12	14:42	17:19
サンプラザ佐川店	8:32	10:19	12:28	14:58	17:35
佐川駅	8:36	10:23	12:32	15:02	17:39
佐川町役場	8:38	10:25	12:34	15:04	17:41
高北病院	8:44	10:31	12:40	15:10	17:47
サンシャイン佐川	8:46	10:33	12:42	15:12	17:49
荷稻（小富士集会所）	8:55	10:42	12:51	15:21	17:58
西佐川駅	9:02	10:49	12:58	15:28	18:05

停留所名	下り線 【西佐川駅 ⇒ 加茂の里】				
西佐川駅	9:10	11:10	13:45	16:20	—
荷稻（小富士集会所）	9:17	11:17	13:52	16:27	—
サンシャイン佐川	9:26	11:26	14:01	16:36	—
高北病院	9:28	11:28	14:03	16:38	—
佐川町役場	9:34	11:34	14:09	16:44	—
佐川駅	9:36	11:36	14:11	16:46	—
サンプラザ佐川店	9:40	11:40	14:15	16:50	—
宮ノ前	9:56	11:56	14:31	17:06	—
加茂の里	9:59	11:59	14:34	17:09	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
528	918	852	725	816	3,839

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
75	70	77	75	51	90	58	58	65	65	87	45	816

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計											
	8:13		10:00		12:09		14:39		17:16			
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
加茂の里	20		4		1		2					
土佐加茂駅					8		2					
本村東	2		1									
宮ノ前	15		20		1		4					
横山	8		18		12		1		2			
竹の倉	4		4				1					
長竹集会所前	29		12		4		2					
毛田	23		3		9		3					
ローソン東店前					3		2					
蔵法院集会所	3		39		1		2		2			
新福寺	3		6		5		2		1			
サンブラザ佐川店			9		15		29		24		19	
佐川駅			8		1		1		1			
郵便局前			4		2		2		2			
佐川町役場			10		6		1		1		2	
かわせみ					1		7		1			
高北病院			68		1		12		4		1	
JA前			3		5		9		3			
サンシャイン佐川			6		41		37		28		11	
富士見町			1		2		3		1			
藤井医院前			3		6		3					
三野伏尾											1	
青去					6		20		1		1	
荷福 (小富士集会所)					29		10					
荷福奥					9		9		2		1	
大楠前					12		12		1			
西佐川駅					2		1		1			
計	107	107	175	175	105	105	27	27	2	2		

便計 発時刻 停留所	期間計											
	9:10		11:10		13:45		16:20		-			
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
西佐川駅					2		1					
大楠前	30		14		5							
荷福奥	17		9		1		1					
荷福 (小富士集会所)	44		10									
青去	10		19		1		2					
三野伏尾	5		1		2							
藤井医院前	2		6		1							
富士見町	1		23		3							
サンシャイン佐川	4		24		61		14		18		1	
JA前			6		2		8		2		1	
高北病院	3		19		22		4		6		4	
かわせみ					3		1					
佐川町役場					1		2					
郵便局前	2		5		2		4					
佐川駅	2		2		1		3		1			
サンブラザ佐川店	5		21		28		21		34		3	
新福寺									4		1	
蔵法院集会所			2		28		23				1	
ローソン東店前											1	
毛田			1		15		5				5	
長竹集会所前			3				22		4		1	
竹の倉			1		2		4				2	
横山			5		8		11				14	
宮ノ前			1		1		7		1		1	
本村東			1		8		2		2		1	
土佐加茂駅					2		8				2	
加茂の里			4		21							
計	125	125	172	172	74	74	29	29				

- ・最も利用 (上りは乗車、下りは降車) が多い停留所：赤色
- ・2 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：オレンジ色
- ・3 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

⑥ 斗賀野線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【斗賀野駅 ⇒ 佐川駅】				
斗賀野駅	8:19	9:49	11:53	14:26	17:07
伏尾	8:21	9:51	11:55	14:28	17:09
塚谷（公民館）	8:24	9:54	11:58	14:31	17:12
清和病院	8:36	10:06	12:10	14:43	17:24
西佐川駅	8:40	10:10	12:14	14:47	17:28
サンシャイン佐川	8:42	10:12	12:16	14:49	17:30
高北病院	8:44	10:14	12:18	14:51	17:32
佐川町役場	8:50	10:20	12:24	14:57	17:38
佐川駅	8:52	10:22	12:26	14:59	17:40

停留所名	下り線 【佐川駅 ⇒ 斗賀野駅】				
佐川駅	9:10	11:00	13:45	16:30	—
佐川町役場	9:12	11:02	13:47	16:32	—
高北病院	9:18	11:08	13:53	16:38	—
サンシャイン佐川	9:20	11:10	13:55	16:40	—
西佐川駅	9:22	11:12	13:57	16:42	—
清和病院	9:26	11:16	14:01	16:46	—
塚谷（公民館）	9:38	11:28	14:13	16:58	—
伏尾	9:41	11:31	14:16	17:01	—
斗賀野駅	9:43	11:33	14:18	17:03	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
604	638	767	829	923	3,761

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
78	71	75	72	59	89	96	70	90	84	81	58	923

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計									
	8:19		9:49		11:53		14:26		17:07	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
斗賀野駅	19	0	47	0	9	0	5	0	1	0
伏尾	1	0	171	0	30	0	2	0	0	0
塚谷 (公民館)	20	0	50	0	5	0	1	0	0	0
岩井口 (公民館)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
岩井口奥	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0
室原 (公民館)	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
由留岐橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桂口	15	0	31	0	1	0	1	0	0	0
清和病院	0	0	0	7	1	5	1	0	0	0
富士見町	0	0	0	8	0	5	0	1	0	0
藤井医院前	0	16	0	6	0	1	0	1	0	0
西佐川駅	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	10	0	2	2	0	0	0	0	0
富士見町	0	0	0	7	1	1	0	1	0	0
サンシャイン佐川	0	14	0	191	0	17	0	3	0	0
JA前	0	10	0	32	0	2	0	0	0	0
高北病院	2	15	0	37	0	6	0	1	0	0
かわせみ	4	11	0	2	0	1	0	1	0	0
佐川町役場	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
郵便局前	0	12	0	8	0	8	0	1	0	0
佐川駅	0	10	0	4	0	4	0	0	0	1
計	100	100	306	306	51	51	10	10	1	1

便計 発時刻 停留所	期間計									
	9:10		11:00		13:45		16:30		-	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
佐川駅	10	0	3	0	7	0	1	0	0	0
郵便局前	6	0	11	0	5	0	0	0	0	0
佐川町役場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かわせみ	5	0	6	0	1	0	0	0	0	0
高北病院	8	2	51	0	10	0	0	0	0	0
JA前	12	0	44	0	4	0	0	0	0	0
サンシャイン佐川	30	1	189	0	19	0	0	0	0	0
富士見町	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
藤井医院前	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
富士見町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清和病院	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0
桂口	0	4	0	44	0	2	0	0	0	0
由留岐橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
室原 (公民館)	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
岩井口奥	7	5	0	5	0	3	0	0	0	0
岩井口 (公民館)	3	0	0	7	0	0	0	0	0	0
塚谷 (公民館)	0	11	0	57	0	4	0	0	0	0
伏尾	1	34	0	146	0	31	0	0	0	0
斗賀野駅	36	0	49	0	6	0	1	0	0	0
計	93	93	312	312	49	49	1	1	0	0

・最も利用 (上りは乗車、下りは降車) が多い停留所：赤色

・2 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

⑦ 西山線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【たいこ岩 ⇒ 西佐川駅】				
たいこ岩	8:15	9:54	12:00	14:30	17:12
西山耕	8:21	10:00	12:06	14:36	17:18
山瀬	8:29	10:08	12:14	14:44	17:26
斗賀野駅	8:32	10:11	12:17	14:47	17:29
佐川駅	8:40	10:19	12:25	14:55	17:37
佐川町役場	8:42	10:21	12:27	14:57	17:39
高北病院	8:48	10:27	12:33	15:03	17:45
サンシャイン佐川	8:50	10:29	12:35	15:05	17:47
西佐川駅	8:52	10:31	12:37	15:07	17:49

停留所名	下り線 【西佐川駅 ⇒ たいこ岩】				
西佐川駅	9:10	11:20	13:45	16:21	—
サンシャイン佐川	9:12	11:22	13:47	16:23	—
高北病院	9:14	11:24	13:49	16:25	—
佐川町役場	9:20	11:30	13:55	16:31	—
佐川駅	9:22	11:32	13:57	16:33	—
斗賀野駅	9:30	11:40	14:05	16:41	—
山瀬	9:33	11:43	14:08	16:44	—
西山耕	9:41	11:51	14:16	16:52	—
たいこ岩	9:47	11:57	14:22	16:58	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
559	800	865	674	703	3,601

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
60	57	56	58	47	65	64	43	79	49	53	72	703

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計 発時刻 停留所	期間計										期間計									
	8:15		9:54		12:00		14:30		17:12		9:10		11:20		13:45		16:21		-	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
たいこ岩	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天神前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
局前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尾川橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西山耕	3	0	38	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田城	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田城分岐	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
けいとう	1	0	0	0	4	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山瀬	17	0	65	0	4	0	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白倉神社前	1	1	8	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
斗賀野駅	12	5	26	3	3	0	5	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集落活動センターあおぞら	1	0	17	0	4	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二ノ部丁	12	0	16	5	4	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥の巣口	1	0	7	0	10	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐川駅	2	9	20	6	13	10	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郵便局前	0	8	2	16	0	3	3	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐川町役場	0	3	0	5	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かわせみ	0	0	1	16	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高北病院	0	17	0	9	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JA前	0	26	0	16	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サンシャイン佐川	0	7	3	100	1	8	0	14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士見町	0	0	0	24	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤井医院前	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	76	76	205	205	50	50	53	53	10	10	73	73	161	161	54	54	21	21		

- ・最も利用（上りは乗車、下りは降車）が多い停留所：赤色
 - ・2 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：オレンジ色
 - ・3 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：黄色
- ※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

⑧ 四ツ白線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【フスボリ ⇒ 佐川駅】				
フスボリ	8:10	9:50	12:10	14:50	16:45
四ツ白	8:15	9:55	12:15	14:55	16:50
二ツ野	8:20	10:00	12:20	15:00	16:55
瑞応	8:28	10:08	12:28	15:08	17:03
西佐川駅	8:40	10:20	12:40	15:20	17:15
サンシャイン佐川	8:42	10:22	12:42	15:22	17:17
高北病院	8:44	10:24	12:44	15:24	17:19
佐川町役場	8:50	10:30	12:50	15:30	17:25
佐川駅	8:52	10:32	12:52	15:32	17:27

停留所名	下り線 【佐川駅 ⇒ フスボリ】				
佐川駅	9:05	11:20	14:05	16:00	—
佐川町役場	9:07	11:22	14:07	16:02	—
高北病院	9:13	11:28	14:13	16:08	—
サンシャイン佐川	9:15	11:30	14:15	16:10	—
西佐川駅	9:17	11:32	14:17	16:12	—
瑞応	9:29	11:44	14:29	16:24	—
二ツ野	9:37	11:52	14:37	16:32	—
四ツ白	9:42	11:57	14:42	16:37	—
フスボリ	9:47	12:02	14:47	16:42	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
657	780	810	645	613	3,505

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
67	52	60	43	41	38	35	41	58	51	49	78	613

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計		期間計											
停留所	発時刻	8:10		9:50		12:10		14:50		16:45			
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
フスボリ		2	0	9	0	1	0	3	0	0	0	0	0
四ツ白		69	0	25	0	2	0	13	0	1	0	0	0
ニツ野		31	0	19	0	4	0	0	0	0	0	0	0
黒ノ瀬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中野 (公民館)		0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0
瑞応		16	0	56	0	8	0	9	0	0	0	0	0
瑞応寺前		1	0	14	0	3	0	0	0	0	0	0	0
瑞応口		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八重栗		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下馬の原		1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
市の瀬		3	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅		0	2	2	1	0	1	2	0	0	0	2	0
藤井医院前		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
富士見町		0	6	0	24	6	2	0	4	0	0	0	0
サンシャイン佐川		0	13	1	76	0	9	0	9	0	0	0	0
JA前		0	14	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
高北病院		0	57	1	20	0	8	0	2	0	0	0	0
かわせみ		25	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
佐川町役場		0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
郵便局前		0	19	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
佐川駅		0	34	0	4	0	2	0	8	0	0	0	0
計		148	148	145	145	22	22	28	28	2	2		

便計		期間計											
停留所	発時刻	9:05		11:20		14:05		16:00		ー			
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
佐川駅		5	0	9	0	0	0	3	0	0	0	0	0
郵便局前		3	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0
佐川町役場		0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
かわせみ		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高北病院		4	0	18	0	2	1	1	0	0	0	0	0
JA前		0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サンシャイン佐川		0	2	165	1	24	2	10	2	0	0	0	0
富士見町		0	0	0	5	2	1	0	1	0	0	0	0
藤井医院前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西佐川駅		1	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0
市の瀬		0	3	0	21	0	1	0	1	0	0	0	0
下馬の原		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
八重栗		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞応口		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
瑞応寺前		0	0	0	4	2	2	1	0	0	0	0	0
瑞応		0	0	0	62	0	9	0	9	0	0	0	0
中野 (公民館)		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒ノ瀬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニツ野		0	0	0	42	0	1	0	0	0	0	0	0
四ツ白		0	3	0	60	0	13	0	2	0	0	0	0
フスボリ		0	3	0	4	0	4	0	1	0	0	0	0
計		15	15	201	201	36	36	16	16				

・最も利用 (上りは乗車、下りは降車) が多い停留所：赤色

・2 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用 (上りは乗車、下りは降車) の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

⑨ 狩場線



運行経路：令和4年9月末時点

表：運行ダイヤ

停留所名	上り線 【狩場 ⇒ 西佐川駅】				
狩場	8:16	9:50	12:00	14:25	17:13
斗賀野駅	8:20	9:54	12:04	14:29	17:17
大平	8:28	10:02	12:12	14:37	17:25
マルナカ佐川店	8:40	10:14	12:24	14:49	17:37
佐川駅	8:43	10:17	12:27	14:52	17:40
佐川町役場	8:45	10:19	12:29	14:54	17:42
高北病院	8:51	10:25	12:35	15:00	17:48
サンシャイン佐川	8:53	10:27	12:37	15:02	17:50
西佐川駅	8:55	10:29	12:39	15:04	17:52

停留所名	下り線 【西佐川駅 ⇒ 狩場】				
西佐川駅	9:10	11:20	13:45	16:30	—
サンシャイン佐川	9:12	11:22	13:47	16:32	—
高北病院	9:14	11:24	13:49	16:34	—
佐川町役場	9:20	11:30	13:55	16:40	—
佐川駅	9:22	11:32	13:57	16:42	—
マルナカ佐川店	9:25	11:35	14:00	16:45	—
大平	9:37	11:47	14:12	16:57	—
斗賀野駅	9:45	11:55	14:20	17:05	—
狩場	9:49	11:59	14:24	17:09	—

表：運行開始からの年度別利用者数

(2017 (平成 29) 年 10 月 16 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和 2)	2021 年度 (令和 3)	2022 年度 (令和 4)	合計
523	661	766	800	856	3,606

表：月別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
97	56	64	42	77	59	68	61	84	71	90	87	856

表：便別利用者数 (2021 (令和 3) 年 10 月 1 日～2022 (令和 4) 年 9 月 30 日)

便計		期間計									
発時刻 停留所	8:16		9:50		12:00		14:25		17:13		
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	
狩場	8	38			3						
白倉神社前			1								
斗賀野駅	20	1	60		23		15				
集落活動センターあおぞら	6		29		7	2	2				
入寺山(公民館)			6		5		3				
大平	46		8	1	20		3	2			
鹿場	13	1	2		6	2					
川原田	3		1								
兎田	14		13		2				1		
南谷			21								
遊学館	14		36		2		3				
マルナカ佐川店		8		65		21	1	6	1		
町民プール前		2		11		8	2	3			
佐川駅	2	46	5	2	1	4	2	4		1	
郵便局前	2	10	19	4	1	4	1	3			
佐川町役場		1	1	3		8					
かわせみ		1		14	2	1	1				
高北病院		34	4	12		8	3	4			
JA前		3		2		3				1	
サンシャイン佐川		4	2	128		7		7			
富士見町		1				1		5			
藤井医院前		16		4		1		2			
西佐川駅				1							
計	128	128	247	247	72	72	36	36	2	2	

便計		期間計									
発時刻 停留所	9:10		11:20		13:45		16:30		ー		
	乗車	降車	降車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	
西佐川駅			1		1						
藤井医院前	1				1						
富士見町	2				1		2				
サンシャイン佐川	3		150		11	1	4				
JA前	1										
高北病院	7	1	7		14	3	16				
かわせみ	1	1		6	1	3					
佐川町役場	2		2	1							
郵便局前	3	4		2	2	1					
佐川駅	5	5	7	4	4	2	2	1			
町民プール前			1								
マルナカ佐川店	8	3	68	1	29	10	5	17			
遊学館				39		2		2			
南谷		1		19							
兎田		6		19		2		1			
川原田				1							
鹿場	3	1		8	1	3					
大平	1	2	1	6	1	20		2			
入寺山(公民館)		1		4		6		1			
集落活動センターあおぞら		5		28		4					
斗賀野駅		6		59		6		5			
白倉神社前				1		3					
狩場		1		38		2					
計	37	37	237	237	68	68	29	29			

・最も利用（上りは乗車、下りは降車）が多い停留所：赤色

・2 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：オレンジ色

・3 番目に利用（上りは乗車、下りは降車）の多い停留所：黄色

※循環線は乗車と降車でそれぞれ設定する。

5. 路線バス及びコミュニティバスの公的負担額

(1) 黒岩観光に対する支出の推移

黒岩観光の尾川線・黒岩線については、廃止代替バス路線として運行補助を行っている。広域線については、高知県の公共交通活性化支援事業費補助金と連動して仁淀川町、越知町とともに運行補助を行っている。

2021（令和3）年度の本町の黒岩観光に対する公的負担額合計は15,097千円であり、本町でほぼ完結している路線バスへの運行補助は13,208千円となる。

表：黒岩観光への補助額の推移（単位：千円、千円未満切り捨て）

支出項目	2017年度 (令和29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)
尾川線・黒岩線運行補助	10,859	11,010	13,212	13,187	13,208
広域路線バス運行補助	—	—	—	1,696	1,889
車両購入費補助	8,972	—	4,542	—	—
減収相当分運行補助費	—	875	—	—	—
計	19,831	11,885	17,754	14,883	15,097

(2) コミュニティバス（さかわぐるぐるバス）の収支と収支率の推移

さかわぐるぐるバスの運賃収入と運行委託費による収支を見ると、21,313千円の赤字となっており、2021（令和3）年度の収支率は4.5%となっている。

表：公的負担額の推移（単位：千円、千円未満切り捨て）

	2017年度 (令和29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)
支出：運行委託費	20,124	25,936	24,123	22,243	22,317
支出：車両購入費	9,292	—	4,176	—	—
収入：運賃収入	—	894	1,174	1,078	1,003
収支	▲29,417	▲25,042	▲27,125	▲21,165	▲21,313
収支（車両購入費を除く）	▲20,124	▲25,042	▲22,949	▲21,165	▲21,313
収支率	—	3.4%	4.9%	4.8%	4.5%

(3) 運行に係る公的負担額の推移

路線バス（黒岩観光：尾川線と黒岩線）とさかわぐるぐるバスの運行そのものに対する公的負担額は、2021（令和3）年度で35,525千円となっている。

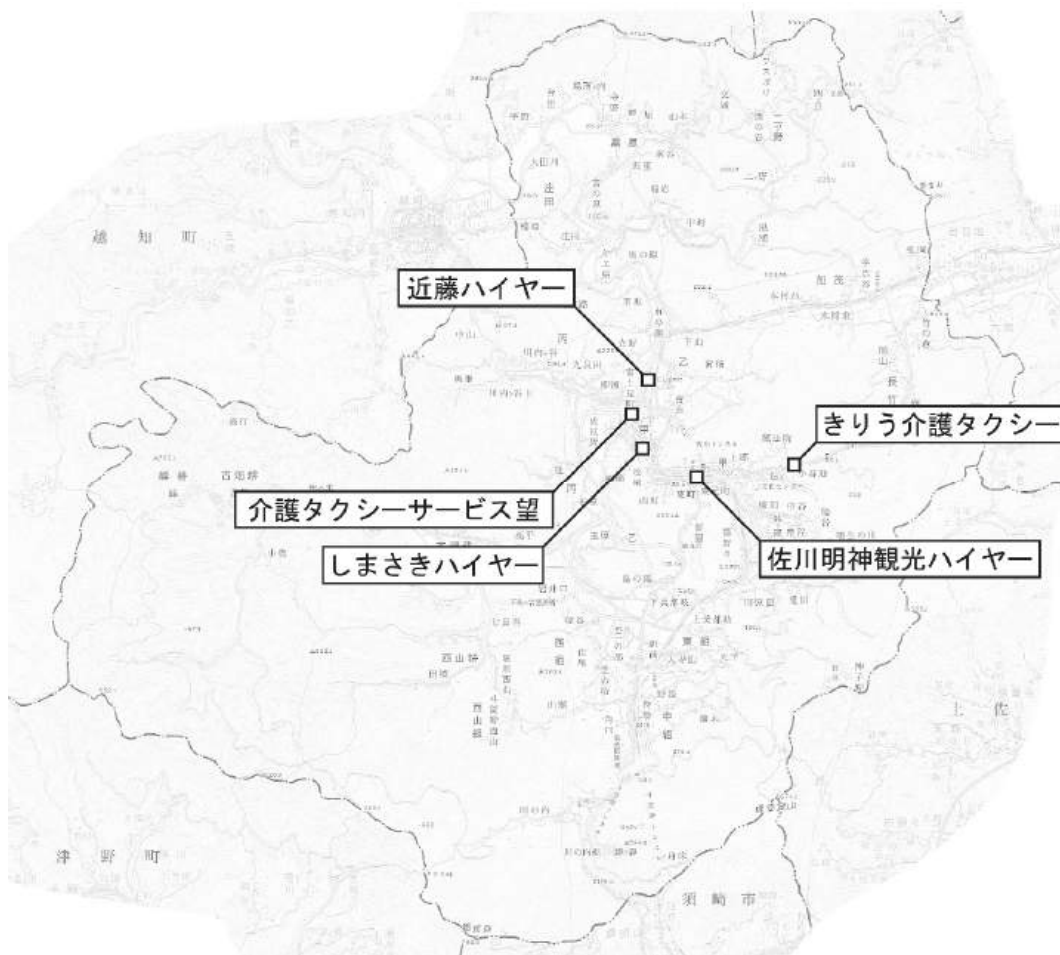
表：運行に係る公的負担額の推移（単位：千円、千円未満切り捨て）

	2017年度 (令和29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)
黒岩観光（尾川線・黒岩線）	10,859	11,010	13,212	13,187	13,208
さかわぐるぐるバス	20,124	25,936	24,123	22,243	22,317
公的負担額	30,983	36,946	37,335	35,430	35,525

6. タクシー（介護タクシー含む）

(1) タクシー事業者

3社のタクシー事業者の他、2者の介護タクシー事業者も町内で営業を行っている。



表：町内のタクシー事業者及び介護タクシー事業者

事業者名	基本事項
近藤ハイヤー	- 電話受付時間 8:00～24:00 - 乗務員数：3人、稼働車両数：3台
しまさきハイヤー	- 電話受付時間 8:00～23:00 - 乗務員数：2人、稼働車両数：2台（3台所持）
佐川明神観光ハイヤー	- 電話受付時間 7:00～24:00 - 乗務員数：3人、稼働車両数：3台
介護タクシーサービス望	- 電話受付時間 8:00～18:00 - 乗務員数：1人、稼働車両数：1台
きりう介護タクシー	- 電話受付時間 8:00～18:00 - 乗務員数：2人、稼働車両数：3台（1台予備）

(2) 佐川町福祉タクシー制度

佐川町に居住し、障害者手帳を所持している町民に対してタクシー券を交付する制度であり、障害者福祉の増進を図ることを目的として、1998（平成10）年4月に施行している。

2021（令和3）年度で町内の229人が交付を受け、71.7%にあたる5,363枚（2,681,500円相当）が使用されている。

- ・タクシー券は1枚500円分で、一度の乗車に複数枚の使用が可能。500円に満たない金額は現金での支払いとなる。
- ・高知県内のどこのタクシー事業者でも使用が可能。ただし各種手帳を携帯し、運転手に見せる必要がある。
- ・4月1日から翌3月31日まで使用が可能。途中で紛失すると翌年度の交付まで再発行はできない。年度途中からの交付は月割りとなる。
- ・手帳ごとでの交付は不可。
- ・他人への譲渡、売却はできない。

■ 各種手帳別の交付枚数

手帳の種類	等級	交付枚数	備考
身体障害者手帳	1級又は2級	48枚	
	3級	30枚	
	4級	9枚	
療育手帳	A1又はA2	36枚	
	B1又はB2	24枚	
精神障害者保健福祉手帳	1級	36枚	
	2級	24枚	

出展：佐川町福祉タクシー事業実施要綱

■ 2021（令和3）年度の交付枚数及び使用率

交付人数	交付枚数	使用枚数	使用率	備考
229人	7,478枚	5,363枚	71.7%	

出展：佐川町 2021（令和3）年度

7. スクールバス

スクールバスが黒岩地区と佐川中学校をつなぐ一路線のみ運行を行っている。黒岩観光が委託を受けて運行している。



表：佐川中学校スクールバスの運行概要

運行経路	平野太田川通バス停 ～ 文化センターバス停	
利用者数	12 名（2022（令和 4）年度）	
運行時間	登校便	7 時 45 分（平野太田川通発）
	下校便	16 時 40 分（1 便目） 18 時 30 分（2 便目）冬時間適用期間中は 18 時 00 分
	備考	水曜日の下校便は 15 時 40 分のみ
備考	1. 12 月～2 月は冬時間 2. 土曜・日曜は部活の時間に合わせて設定 3. その他学校行事・期末テスト発表期間・テスト期間等は、学校の設定時間となる 4. 前日、当日の時間変更あり	

第3節：交通安全に関する現状

1. 運転免許の保有に関して

(1) 運転免許保有者数

町内の自動車運転免許保有者数は8,285人〔(2021(令和3)年)で、町人口の67.7%となっている。

越知町と仁淀川町を含む佐川警察署管内における運転免許保有者の内、65歳以上の割合は41.3%となっている。

表：自治体別普通運転免許保有者数の状況

自治体	項目	2021年 (令和3)	佐川警察署管内における 高齢者(65歳以上)の 運転免許保有者数
佐川町	普通免許保有者数	8,285人	6,096人 運転免許保有者数に 占める割合 41.3%
	人口	12,239人	
	免許保有者の割合	67.7%	
越知町	普通免許保有者数	3,391人	
	人口	5,107人	
	免許保有者の割合	66.4%	
仁淀川町	普通免許保有者数	3,072人	
	人口	4,758人	
	免許保有者の割合	64.6%	

出典：佐川警察署

(2) 運転免許証の自主返納

本町では、近年100人を超えて運転免許証の自主返納がされている。

表：佐川町内の運転免許返納者数の推移(単位：人)

	2017年 (平成29)	2018年 (平成30)	2019年 (令和元)	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)
運転免許返納者数	132	108	130	107	108

出典：佐川警察署

2. 交通事故

(1) 交通事故

本町で発生する交通事故（人身事故）は、ここ 5 年では減少傾向となっており、2021（令和 3）年には 14 件であった。この 14 件の人身事故による負傷者は 15 人、死者は 1 人となっている。14 件の内、11 件が国道 33 号沿線で発生している。

表：自治体別人身事故による死傷者数の推移（単位：件、人）

自治体	内訳	2017 年 (平成 29)	2018 年 (平成 30)	2019 年 (令和元)	2020 年 (令和 2)	2021 年 (令和 3)
佐川町	人身事故発生件数	25	25	13	11	14
	負傷者数	29	28	17	11	15
	死者数	0	0	0	0	1
越知町	人身事故発生件数	10	7	5	5	5
	負傷者数	12	7	4	4	7
	死者数	0	0	1	1	0
仁淀川町	人身事故発生件数	12	6	8	3	2
	負傷者数	12	10	12	2	2
	死者数	1	0	1	1	0

出典：佐川警察署

表：2021（令和 3）年に関する物損事故の内訳（単位：件、人）

事故内容	発生件(者)数
佐川警察署管内で発生した物損事故	516
うち、高齢者（65 歳以上）が関係する事故	289

出典：佐川警察署

表：2021（令和 3）年に関する人身事故の内訳（単位：件、人）

事故内容	発生件(者)数
佐川警察署管内で高齢者（65 歳以上）が関係する事故	17
佐川警察署管内で子ども（18 歳以下）が関係する事故	1

出典：佐川警察署

表：2021（令和 3）年に発生場所別事故の内訳（単位：件、人）

事故内容	国道 33 号	その他の路線
人身事故発生場所	11	10
物損事故発生場所	92	424
計	103	434

出典：佐川警察署

第2章：公共交通をとりまく意識

第1節：住民アンケート調査より

第2節：通学に関するアンケート調査より

第3節：地区別意見交換の実施より

第4節：関係者ヒアリングの実施より

第 1 節：住民アンケート調査より

1. 住民アンケート調査の実施概要

(1) 調査の実施方法

アンケート調査票に調査の主旨をまとめた依頼文章と返信用封筒を添えて、郵送により実施。

(2) 実施スケジュール

9 月 2 日	佐川郵便局より、対象者にアンケート一式を発送
9 月 20 日	依頼文章にはこの日を締め切り日として記載した。ただし入力作業中に到着した分は締め切り後も有効回収数として処理した。(最終有効票は 10 月 17 日到着分)
10 月 18 日	最終締め切り

(3) 対象者

本アンケートの対象者は、令和 4 年 5 月 31 日時点で佐川町に住所を置く 5,937 世帯から無作為に抽出した 2,148 世帯。

(4) 回収数と回収率

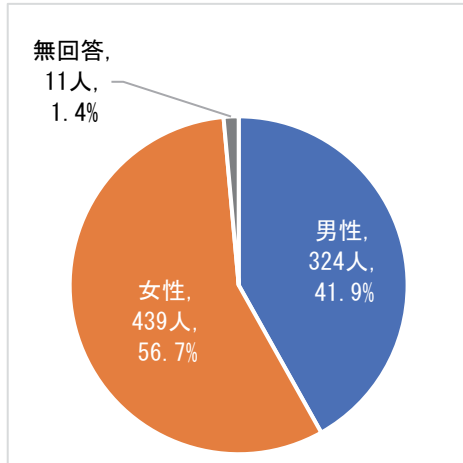
発送数	回収数	有効回収数	回収率
2,148 票	775 票	774 票	36.0%

※ 発送数の内、宛先不明等による返却が 10 票（回収数には含めず）。回収数の内、調査票未記入が 1 票（有効回収数には含めず）。

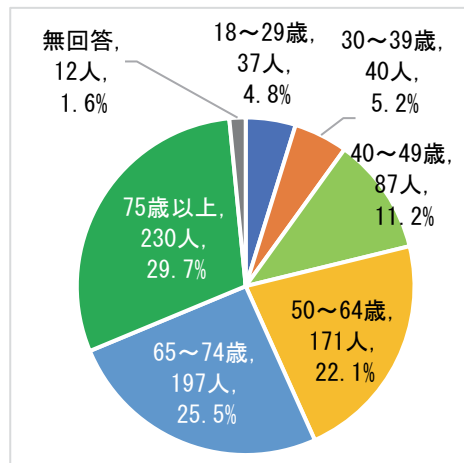
2. 住民アンケート調査の結果とりまとめ

1) 回答者の属性

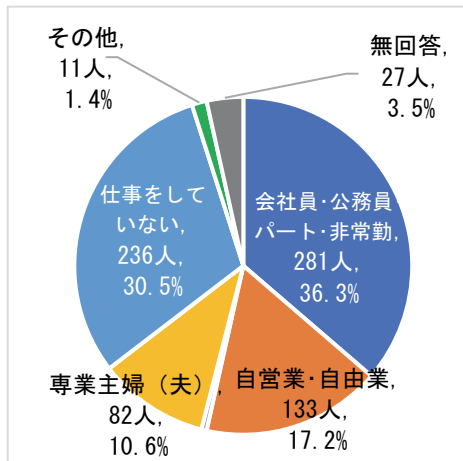
① 性別 (N=774)



② 年齢層 (N=774)



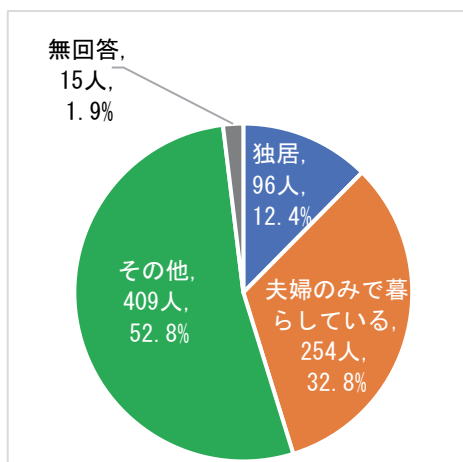
③ 職業 (N=774)



【その他】

- ・シルバー人材
- ・農協臨時職員
- ・会社役員
- ・サービス業
- ・実家が農家だったので草刈りをしている。
- ・高知で着付け教室をやっている。

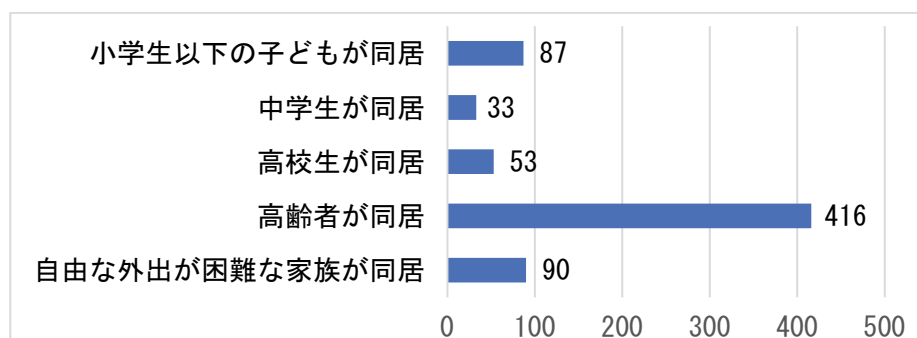
④ 家族構成 (N=774)



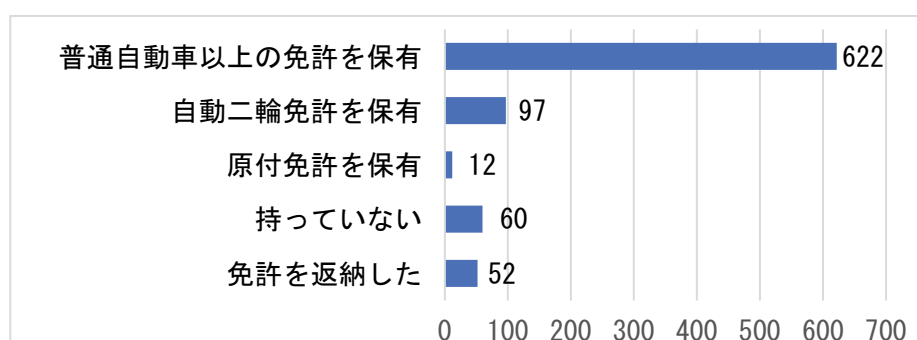
【その他】

- ・娘と同居
- ・母と同居
- ・両親と同居
- ・夫婦と子供

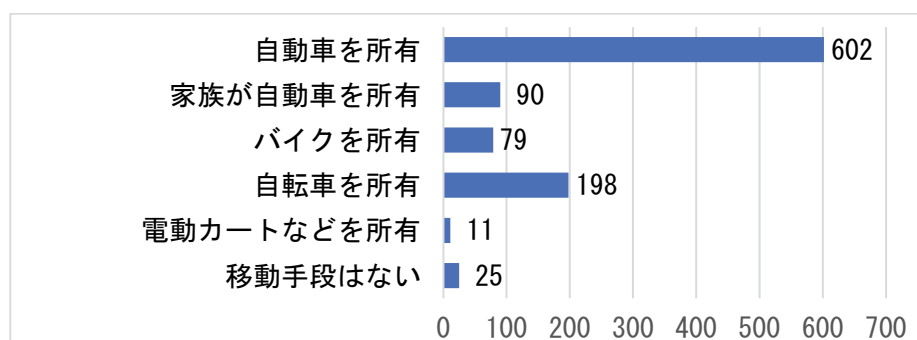
⑤ 移動制約者との同居（N=679）



⑥ 世帯で所持する運転免許（N=843）



⑦ 所有する移動手段（N=1,005）

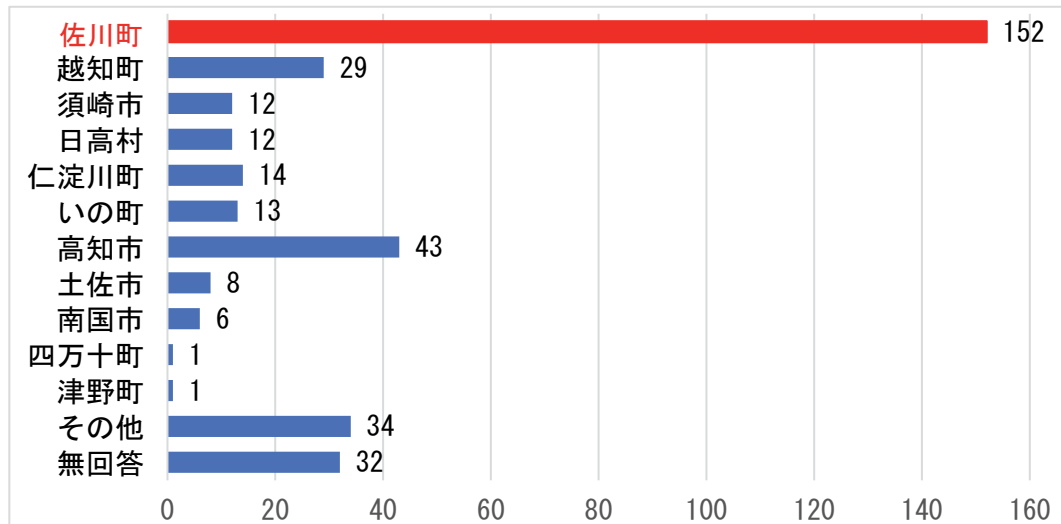


2) 日常の移動について

(1) 通勤

勤務地は佐川町内が最も多くなっている。全ての勤務地への移動手段として最も多いのは自動車となっている。

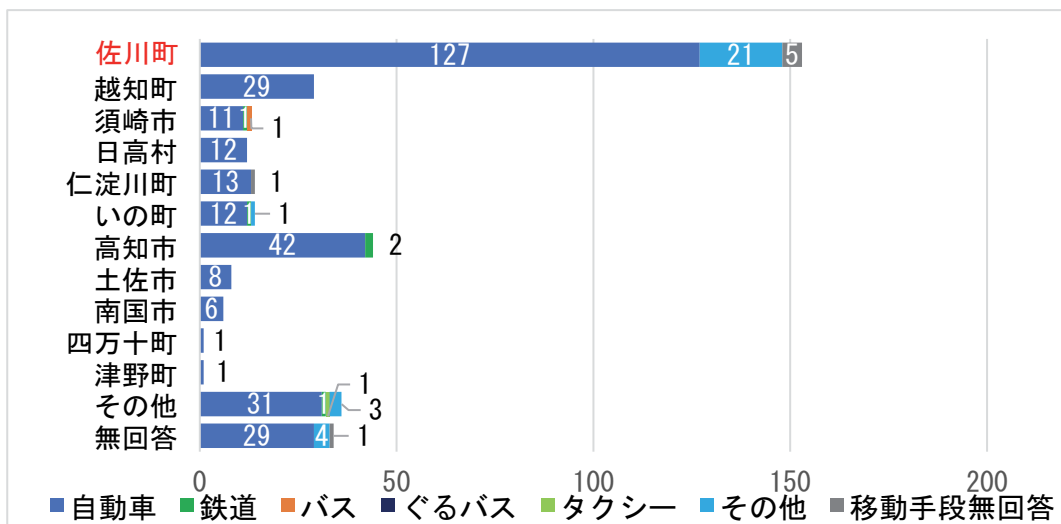
図：通勤の目的地のある自治体（N＝357）



【その他の内訳】

- ・ 田畑（農作業、山の畑など）
- ・ 職場（営業、ローソン、保育園、スーパー）など

図：通勤の目的地への移動手段（N＝365）



【その他の内訳】

- ・ 徒歩、自転車、バイク

(2) 通院（複数回答）

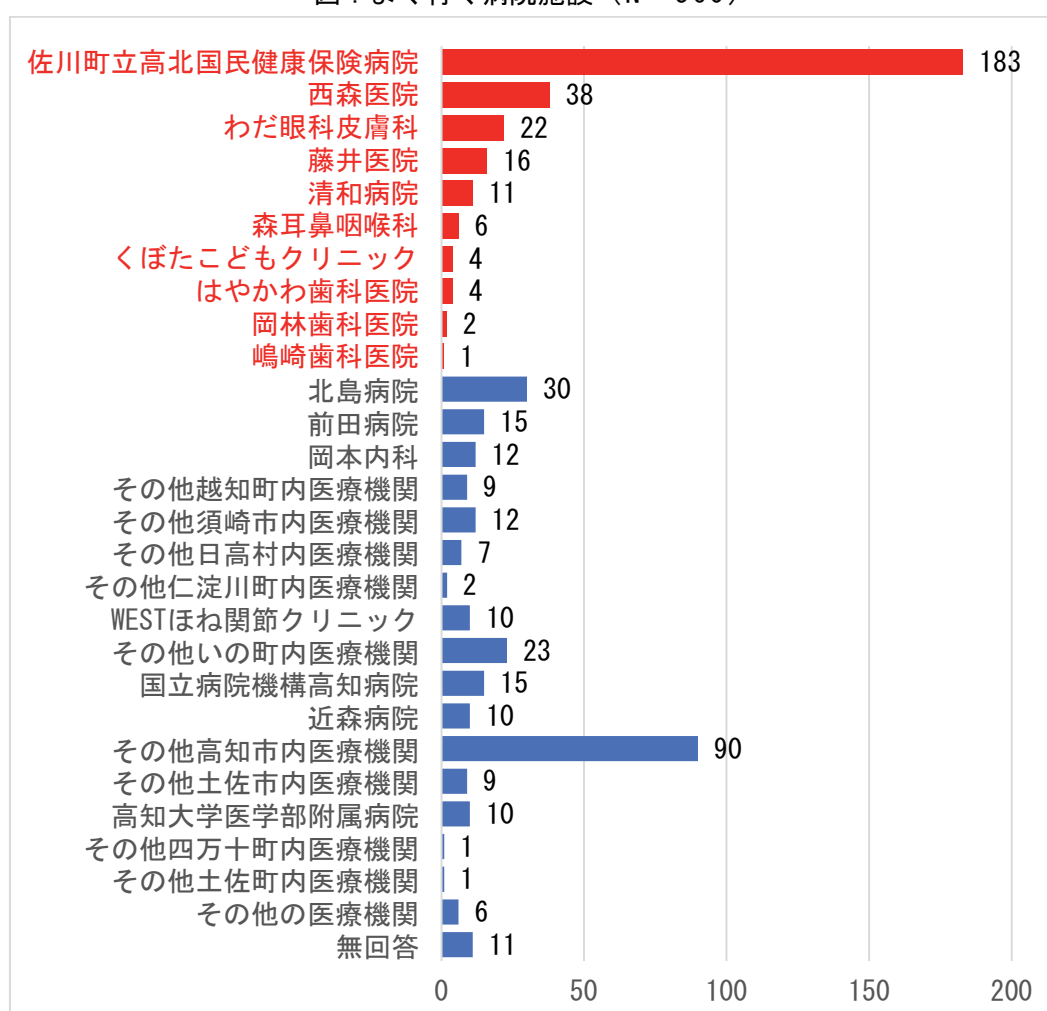
通院で最も多い行き先は、「佐川町立高北国民健康保険病院（以下：高北病院）」となっている。続いて「高知市内の医療機関」、「西森医院」となっている。

医療機関までの移動手段として多いのは自動車となっている。

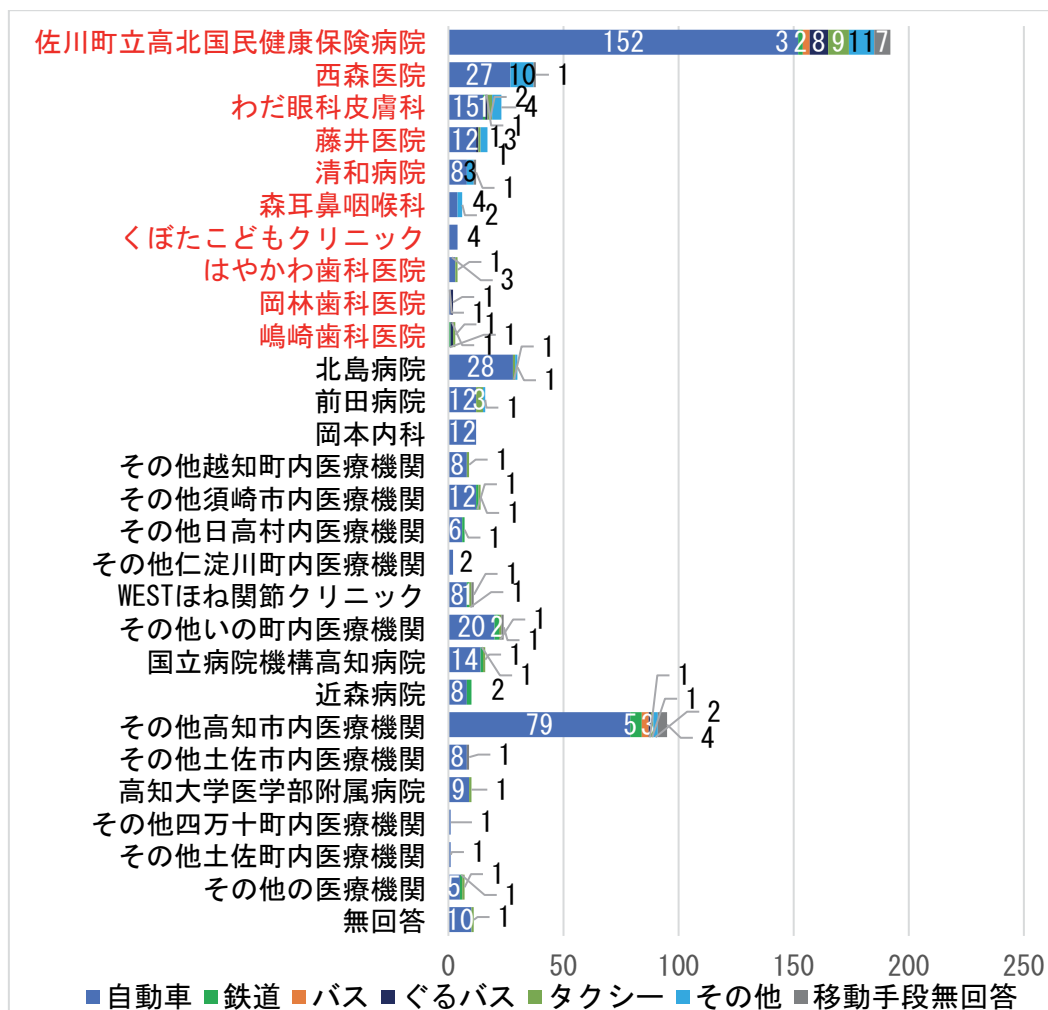
1ヶ月に通院する回数では、「1ヶ月に1回」が最も多く、「2ヶ月に1回」、「不定期」と続いている。

通院日の通院にかかる時間では、最も多いカテゴリーで家を出発して帰りつくまでに2～4時間を要している。また、「独自の移動手段を持つ人」は午前中に集中しているものの、午後から通院する傾向も見られる。一方で「独自の移動手段を持たない人」の通院はほぼ午前中に偏っている。

図：よく行く病院施設（N＝560）



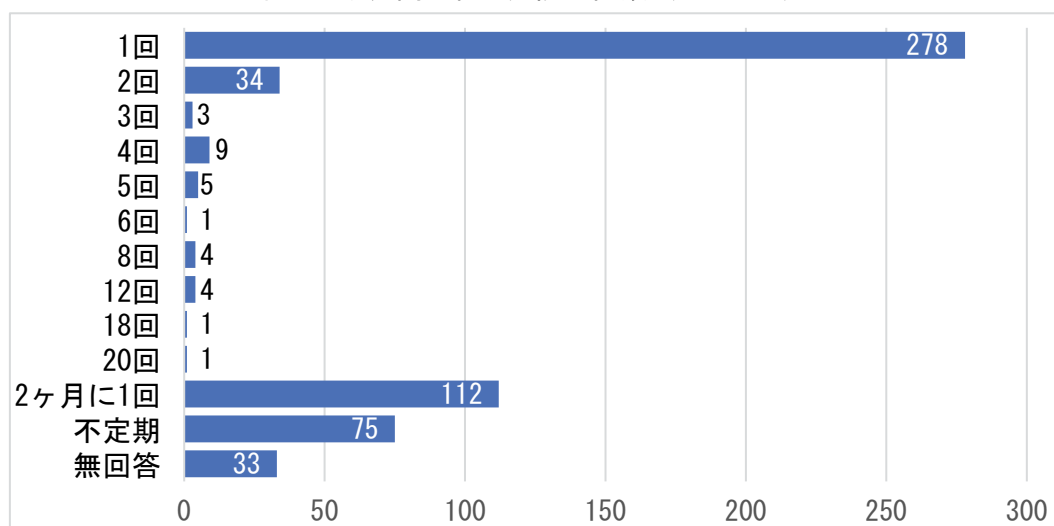
図：よく行く病院施設への移動手段（N＝586）



【その他の内訳】

- ・ 徒歩、自転車、バイク、送迎バス

図：1ヶ月間に行く通院の回数（N＝560）



図：独自の移動手段を持つ人の通院にかかる時間（N＝444）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

通院	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	不定期	無回答
出発	人	1	15	52	92	96	22	24	24	21	27	7	2	1	9	51
6時	6	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7時	27	0	0	4	10	5	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	115	0	14	26	25	37	5	2	3	0	1	1	0	0	1	0
9時	95	0	1	20	37	20	8	6	2	0	0	0	0	0	1	0
10時	59	0	0	2	17	22	2	5	7	1	3	0	0	0	0	0
11時	15	0	0	0	2	8	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0
12時	4	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
13時	28	0	0	0	0	0	0	6	7	8	7	0	0	0	0	0
14時	11	0	0	0	0	0	0	0	3	3	4	1	0	0	0	0
15時	13	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	1	1	0	0	0
16時	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	0	1	0	0
17時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
不定期	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
無回答	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51

図：独自の移動手段を持たない人の通院にかかる時間（N＝116）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

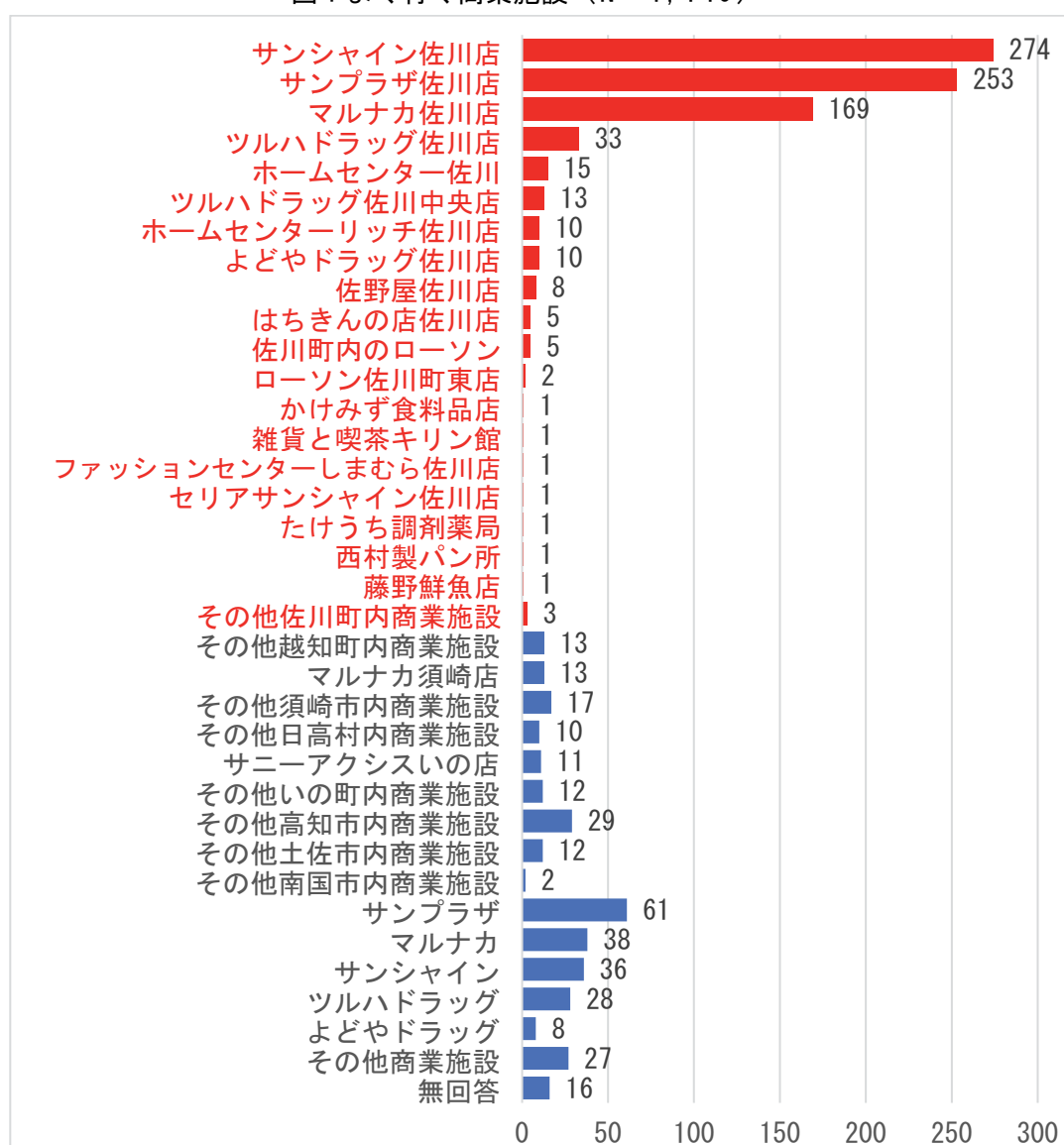
通院	帰着	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	不定期	無回答
出発	人		4	8	25	33	12	1	5	8	2	2			2	14
6時	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7時	5	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	41	0	3	4	12	14	3	1	1	3	0	0	0	0	0	0
9時	29	0	0	3	9	11	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0
10時	11	0	0	0	2	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13時	7	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	1	0	0	0	0
14時	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
15時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
16時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不定期	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14

(3) 買い物（複数回答）

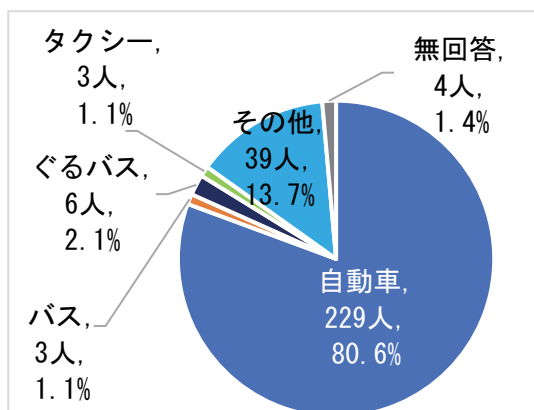
買い物で最も多い行き先は、「サンシャイン佐川店」で、「サンプラザ佐川店」、「マルナカ佐川店」と続いている。この3店舗に買い物先が集中していることが分かる。また、この3店舗への移動手段として「自動車」が最も多くなっている。

1ヶ月に買い物にでかける回数は、「1ヶ月に4回（週に1回）」が最も多く、「1ヶ月に2回（2週間に1回）」、「1ヶ月に10回（3日に1回）」と続いている。

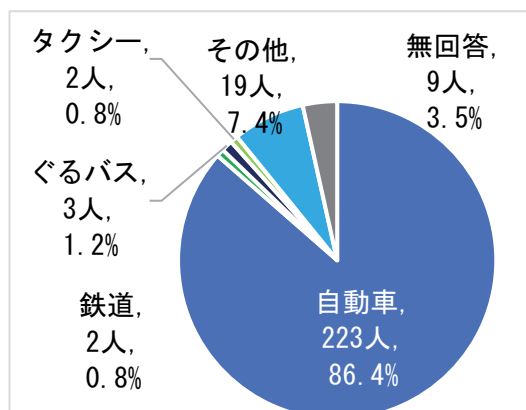
図：よく行く商業施設（N=1,140）



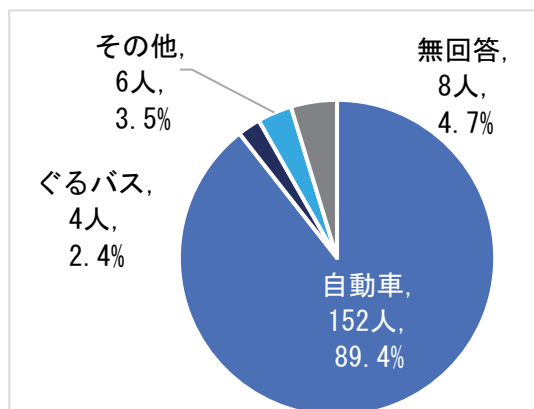
図：サンシャイン佐川店への移動手段



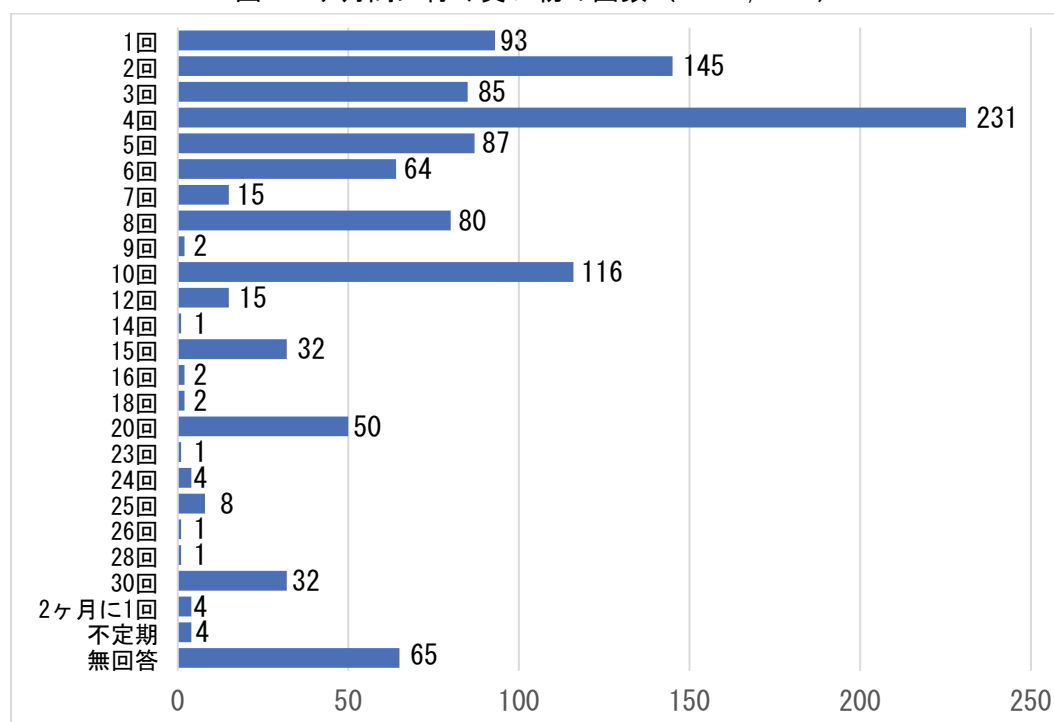
図：サンプラザ佐川店への移動手段



図：マルナカ佐川店への移動手段



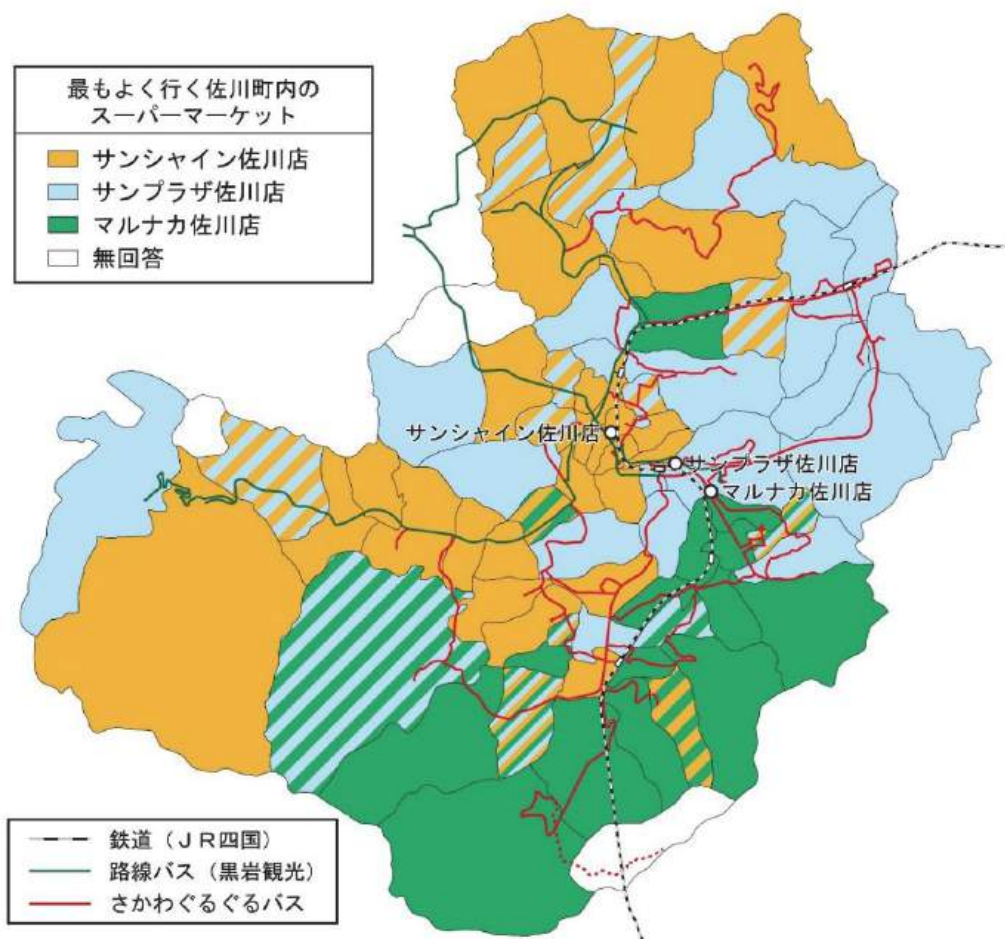
図：1ヶ月間に行く買い物の回数（N=1,140）



地区別にどの店舗に行っているかを見たところ、斗賀野地区の人は「マルナカ佐川店」に、黒岩地区や尾川地区、佐川地区中心部では「サンシャイン佐川店」、加茂地区などでは「サンプラザ佐川店」によく行く傾向にあると見られる。

買い物にかかる時間では、最も多いカテゴリーは家を10時に出て帰りつくのが11時となっている。全体的に買い物には1時間程度要していることがわかる。また、「独自の移動手段を持つ人」の買い物は9時台に家を出て20時台に家に帰りつくまで分散する傾向にあるが、「独自の移動手段を持たない人」はほぼ午前中に偏っている。

図：地区別に見たよく行く佐川町内のスーパーマーケット（3店舗で比較）



図：独自の移動手段を持つ人の買い物にかかる時間（N＝1,012）

[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

買い物	帰着	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	午前	午後	不定期	無回答
出発	人	1	2	15	77	153	96	34	57	84	61	91	54	36	11	1	2	8	69	160
6時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7時	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	9	0	0	1	3	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9時	108	0	0	14	55	18	7	4	3	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
10時	197	0	0	0	19	118	37	11	3	1	2	1	2	1	0	0	0	0	2	0
11時	72	0	0	0	0	15	43	4	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12時	29	0	0	0	0	0	9	10	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0
13時	70	0	0	0	0	0	0	5	36	22	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0
14時	63	0	0	0	0	0	0	0	7	44	8	2	0	0	0	0	0	0	2	0
15時	45	0	0	0	0	0	0	0	0	5	32	6	2	0	0	0	0	0	0	0
16時	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	55	2	2	0	0	0	0	0	0
17時	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	33	3	1	0	0	0	0	0
18時	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	20	0	0	0	0	1	0
19時	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	0	0	0
20時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
21時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
午前	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
午後	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
不定期	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	63	0
無回答	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160

図：独自の移動手段を持たない人の買い物にかかる時間（N＝128）

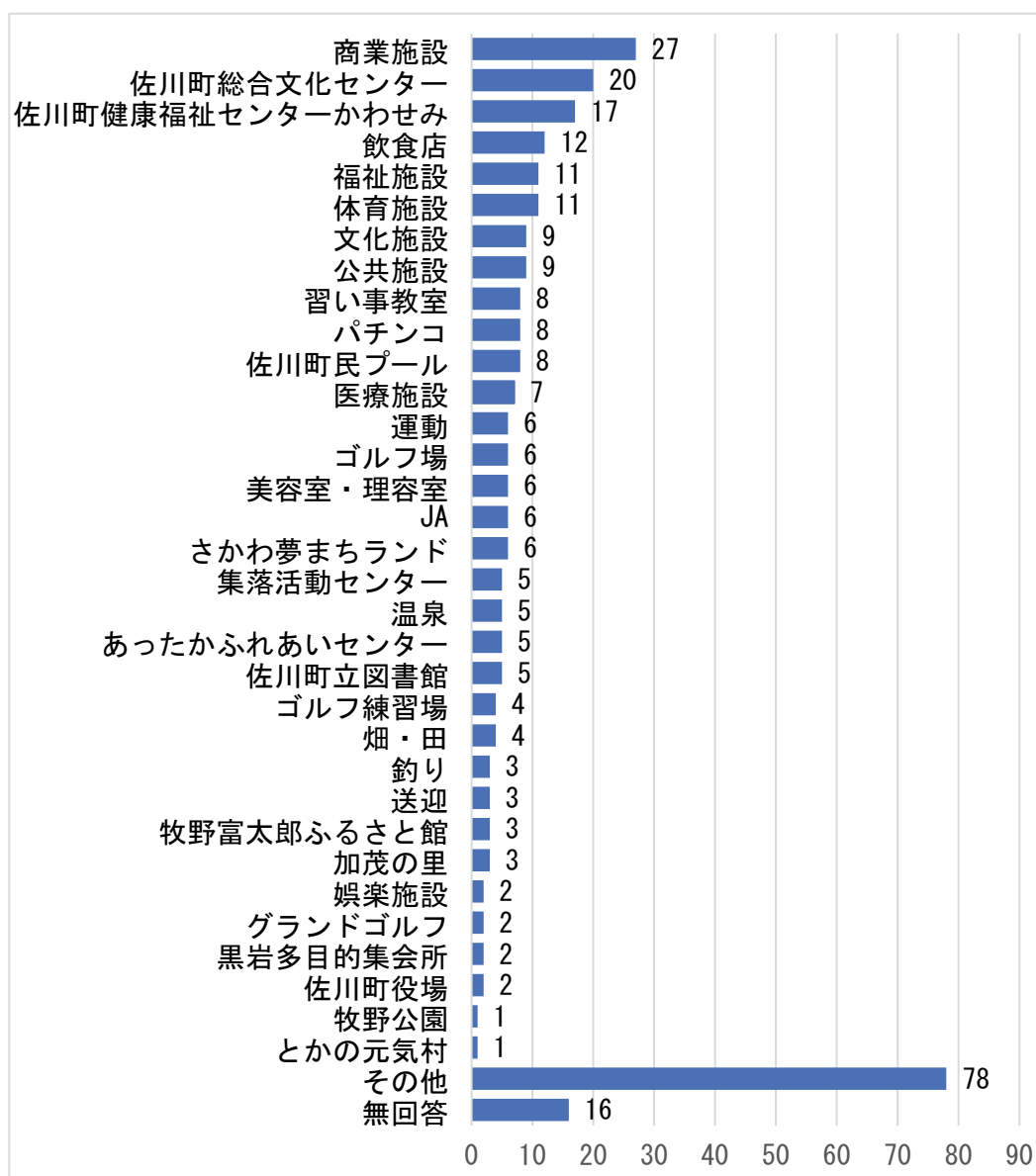
[出発：自宅を出る時間／帰着：自宅に戻る時間]

買い物	帰着	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	午前	午後	不定期	無回答
出発	人			3	8	39	24	6	5		5	7	1	2	1				10	17
6時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時	4	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9時	23	0	0	3	4	8	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
10時	36	0	0	0	1	26	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時	20	0	0	0	0	4	11	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12時	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
13時	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14時	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15時	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
16時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
17時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
19時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21時		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
午前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
午後		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不定期	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
無回答	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17

(4) 娯楽などの定期的な外出（複数回答）

娯楽などへの定期的な外出では、「商業施設」が最も多く、「佐川町総合文化センター」、「佐川町健康福祉センターかわせみ」、「飲食店」と続いている。

図：よく行く娯楽などの定期的な外出（N＝321）



【外出先 “その他” の内訳】

- ・他市町村（高知市内、仁淀川町名野川、須崎市など）
- ・家（実家、友人宅、嫁の家など）
- ・宗教的行事、ライム住宅展示場、観光地ボランティアなど

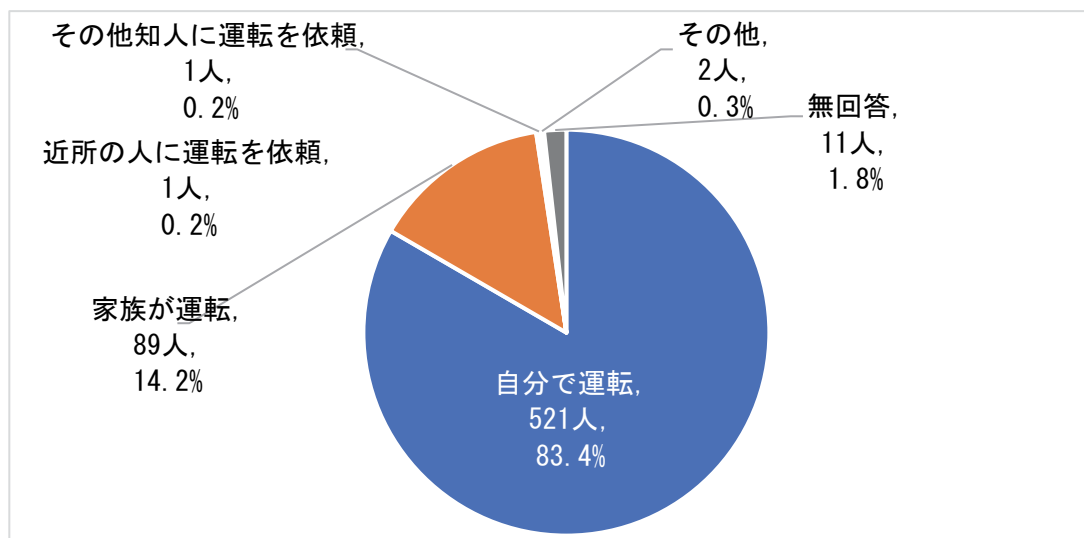
3) 日常的に自家用車を利用している人の概要

(1) 自動車の利用形態について

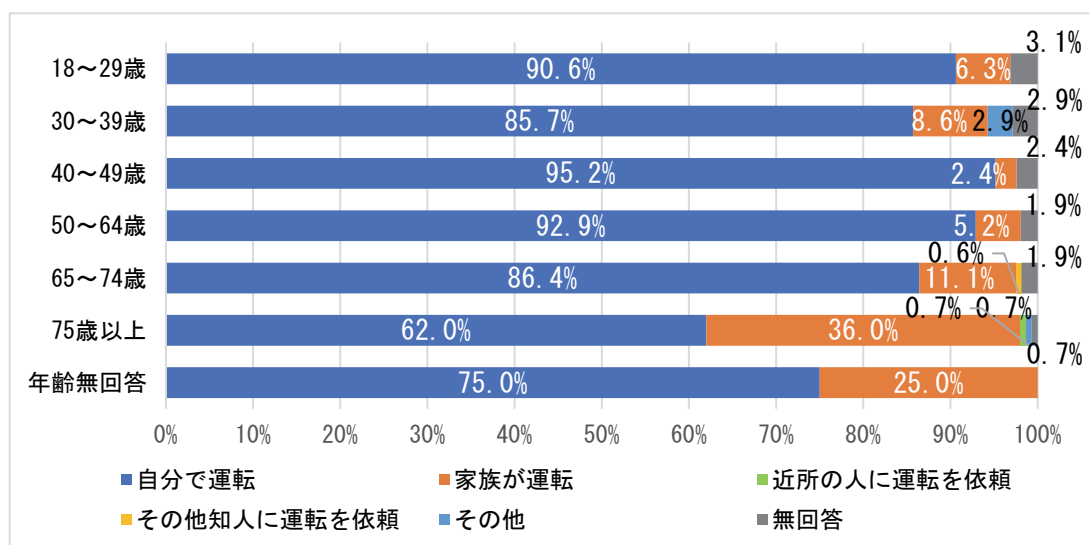
自動車の利用形態について、最も多いのが「自分で運転」で 83.4%であった。次に多いのが「家族が運転」で 14.2%であった。

「家族が運転」と回答した人は「75歳以上」で最も高くなっている。

図：自動車利用について（N＝625）



図：自動車利用について、年齢別にクロス集計（N＝625）



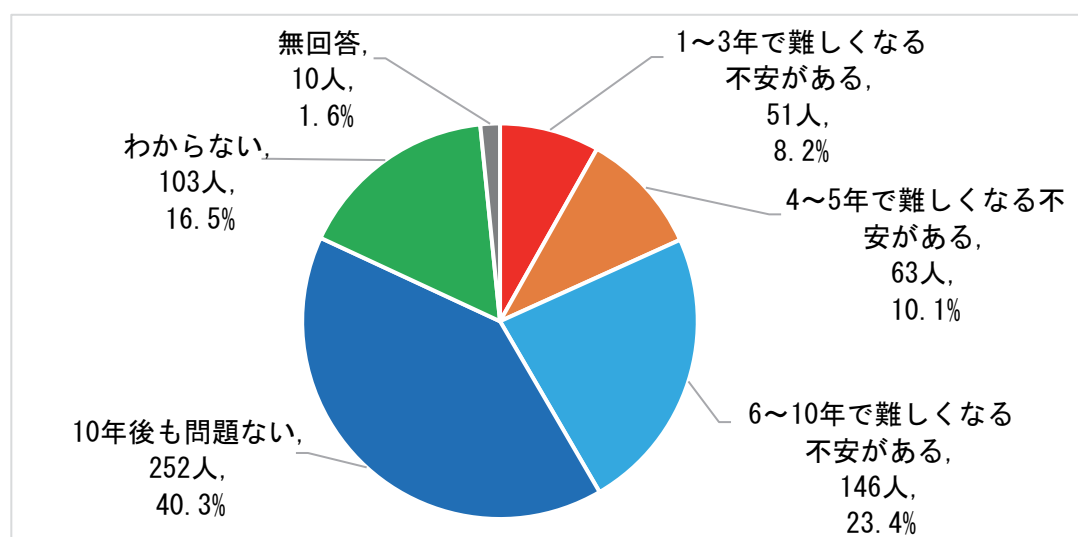
(2) 自動車利用の近い将来に対する不安

家族に運転してもらっているなどの人も含め、近い将来の自動車利用について聞いたところ、「1～3年で難しくなる不安がある」と回答した人が51人(8.2%)、「4～5年で難しくなる不安がある」が63人(10.1%)、「6～10年で難しくなる不安がある」が146人(23.4%)と続いている。「10年後も問題」と回答した人は252人(40.3%)となっている。

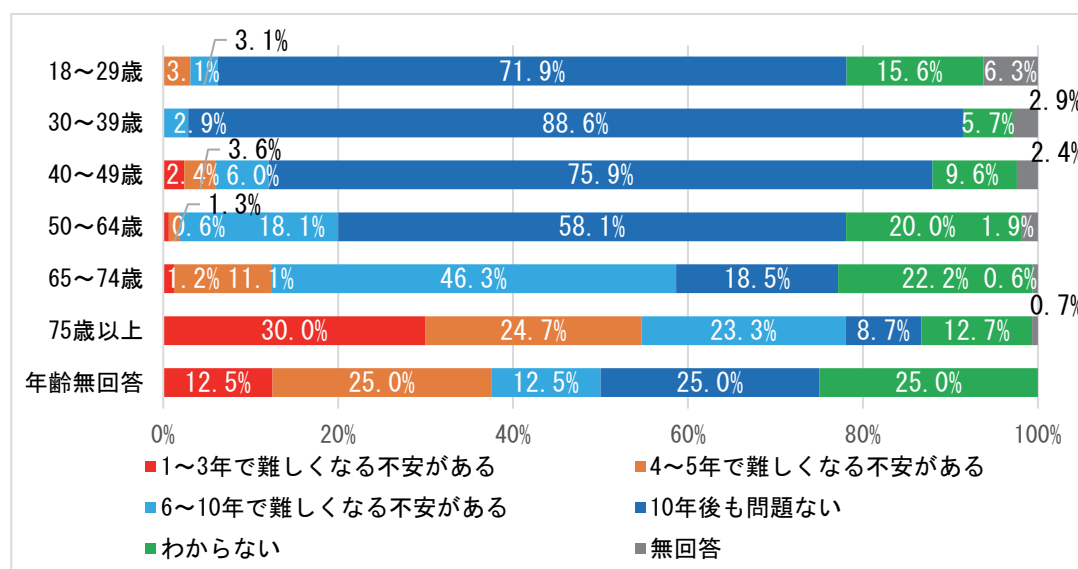
高年齢層になるに従って、「1～3年で難しくなる不安がある」と「4～5年で難しくなる不安がある」と回答した人の割合が高くなっている。

地区別に5年以内に自動車利用が難しくなると回答した人の割合を見てみると、周辺部が高くなっている。

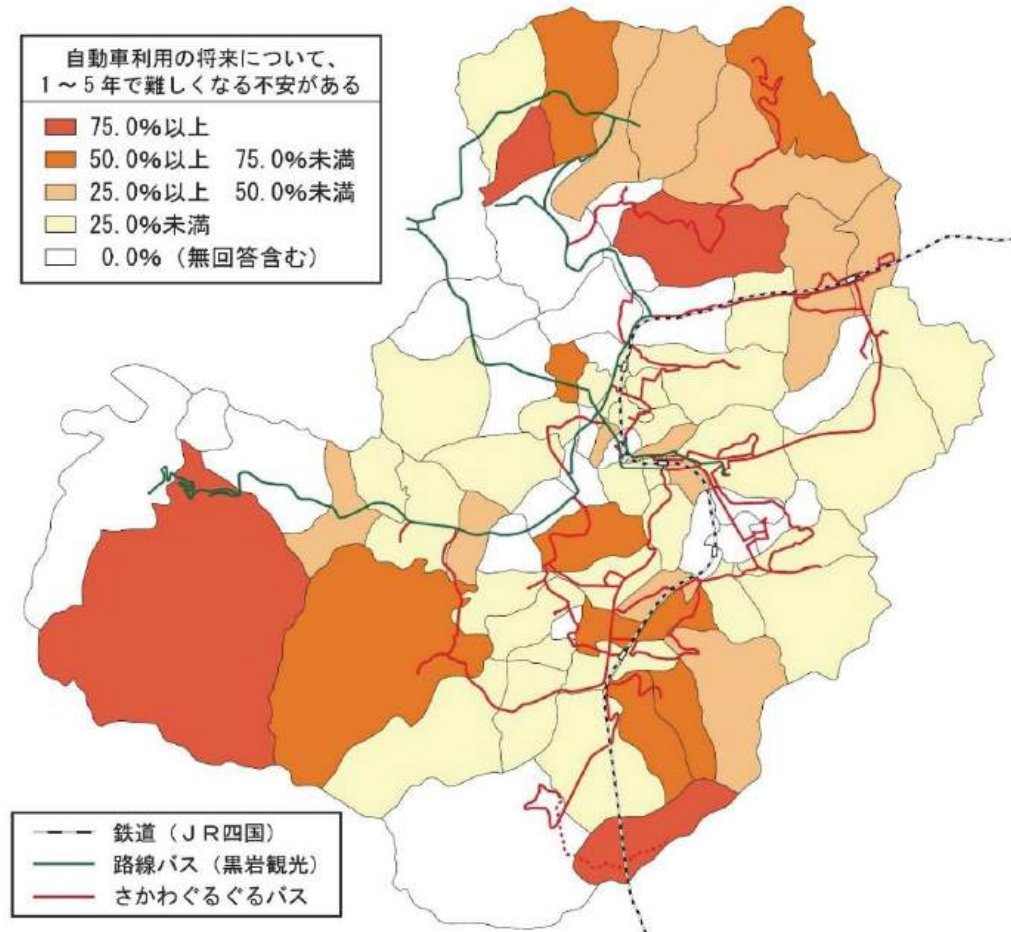
図：自動車利用の将来について（N＝625）



図：自動車利用の将来について、年齢別にクロス集計（N＝625）



図：地区別に見た今後5年以内に自動車利用が難しくなると回答した人の割合

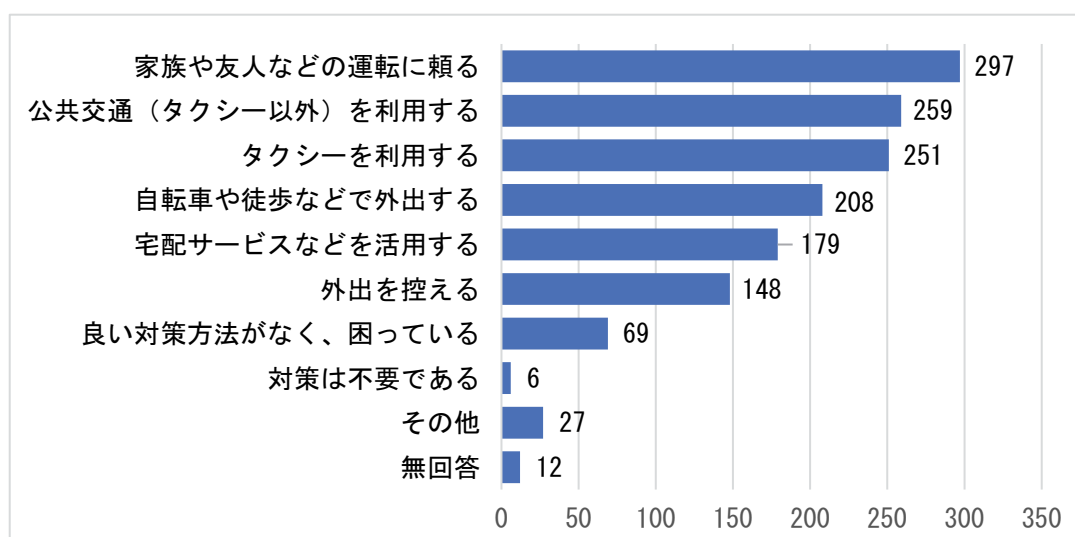


(3) 自動車利用の不安に対する対策〔複数回答可〕

自動車を利用できなくなった場合の対策では、「家族や友人などの運転に頼る」や「タクシー以外の公共交通を利用する」、「タクシーを利用する」といった回答が多くなっている。

「良い対策方法がなく、困っている」と回答した人が 69 人となっている。

図：自動車利用の不安に対する対策（N＝1,456）



【その他の回答例】

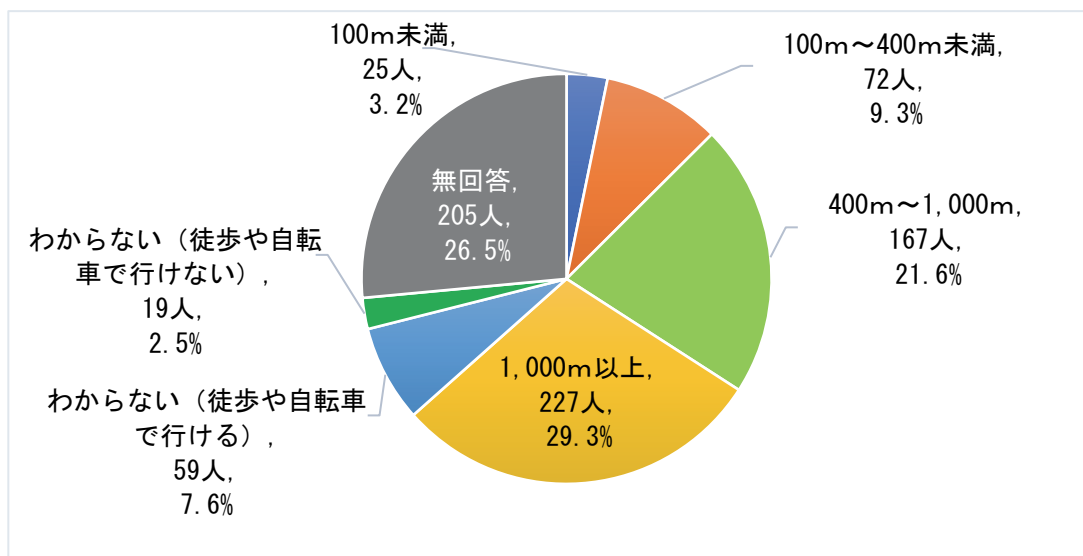
- ・シニアカー。〔富士見町, 65～74 歳, 男性〕
- ・頼れる人がいないので佐川町から出たい（引っ越ししたい）。
〔伏尾団地, 50～64 歳, 女性〕
- ・自力でできなくなったら諦める。〔伏尾団地, 65～74 歳, 男性〕
- ・先過ぎて想像がつかない。〔柳瀬, 30～39 歳, 女性〕
- ・徒歩で通院している。〔岡崎・島の土居, 65～74 歳, 女性〕
- ・市内へ引っ越す。〔川内ヶ谷下, 40～49 歳, 男性〕
- ・介護用自家用車を構えるか、介護タクシー利用になると思う。
〔川内ヶ谷上, 75 歳以上, 女性〕
- ・その時になってみないとわからない。〔埴生ノ川, 75 歳以上, 女性〕
- ・シニアカー。〔鳥の巣, 50～64 歳, 男性〕
- ・店の近く等へ引っ越す。〔岩井口, 50～64 歳, 女性〕
- ・子どもの所に行く。〔上伏尾, 65～74 歳, 男性〕
- ・病院の送迎車。〔駅前丁・芝ノ坊, 75 歳以上, 男性〕
- ・新しいシステムが出来ればありがたい。〔上美都岐, 75 歳以上, 女性〕
- ・あったかひまわり。〔高平, 75 歳以上, 女性〕
- ・町へ引っ越し。〔上黒原, 18～29 歳, 男性〕
- ・引っ越す。〔薬師堂・源重・原, 40～49 歳, 女性〕
- ・高知市内に引っ越すか考え中。〔本村西, 40～49 歳, 女性〕
- ・今元氣な為、何も対策できていないが、その時になったら困ると思う。もっと考えなければならない。〔本村東, 75 歳以上, 女性〕
- ・介護サービスを利用する。〔本村東, 75 歳以上, 女性〕
- ・シニアカーを考えている。〔長竹, 65～74 歳, 女性〕

4) 佐川町の公共交通との関わりについて

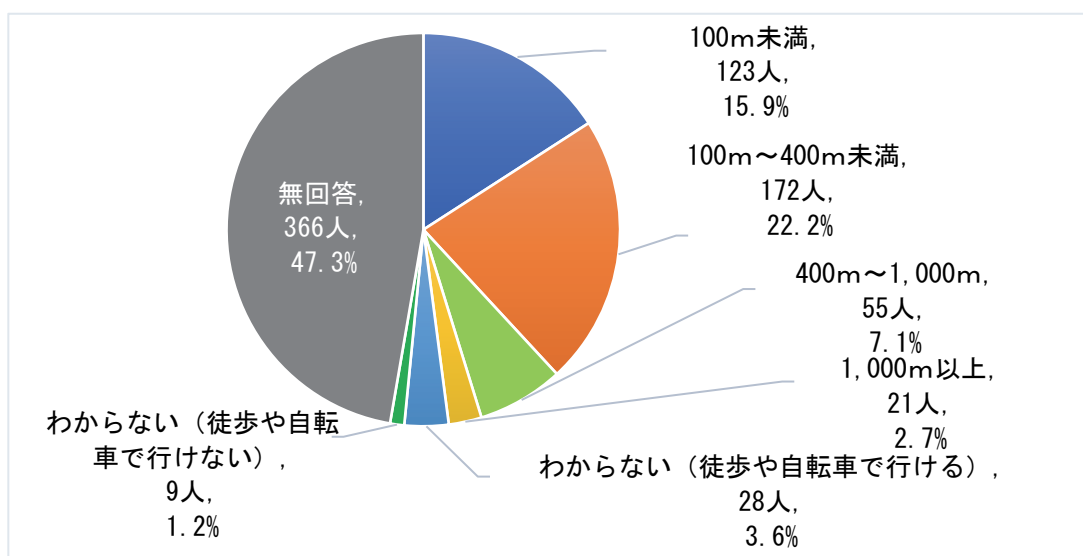
(1) 自宅から最寄りの鉄道駅とバス停までの距離

自宅から最寄りの鉄道駅やバス停までの距離を聞いたところ、「100m未満」や「100m～400m未満」の徒歩で利用できる圏内に暮らしている人が鉄道駅では 97 人（12.5%）、最寄りのバス停では 295 人（38.1%）となっている。

① 最寄りの鉄道駅までの距離（N=774）



② 最寄りのバス停までの距離（N=774）

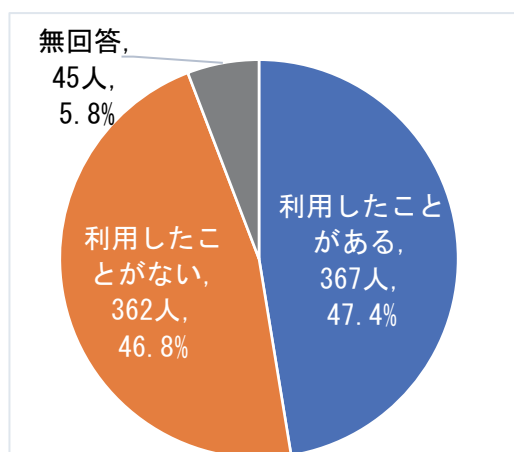


(2) 公共交通の利用経験と定期利用の状況

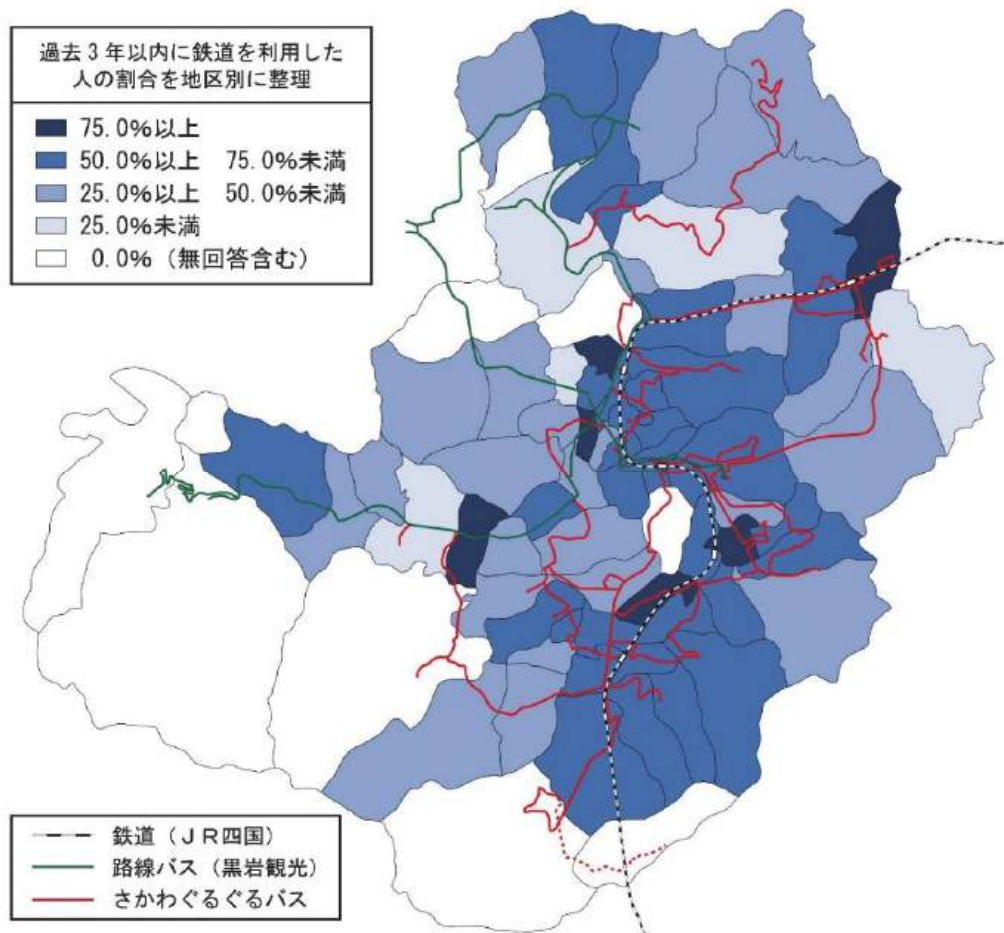
① 鉄道の利用経験（過去 3 年以内に 1 回以上の利用と定義）

過去 3 年以内に町内で鉄道を「利用したことがある」人は 367 人（47.4%）、「利用したことがない」人は 362 人（46.8%）となっている。

図：地区別に見た鉄道の過去 3 年以内の利用経験（N=774）



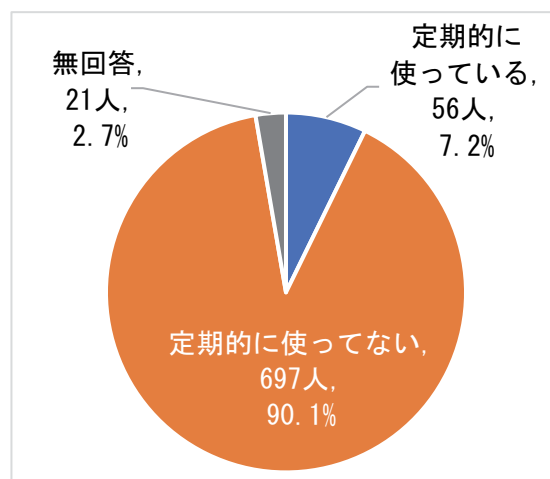
図：地区別に見た鉄道を過去 3 年以内に利用したことがある人の割合



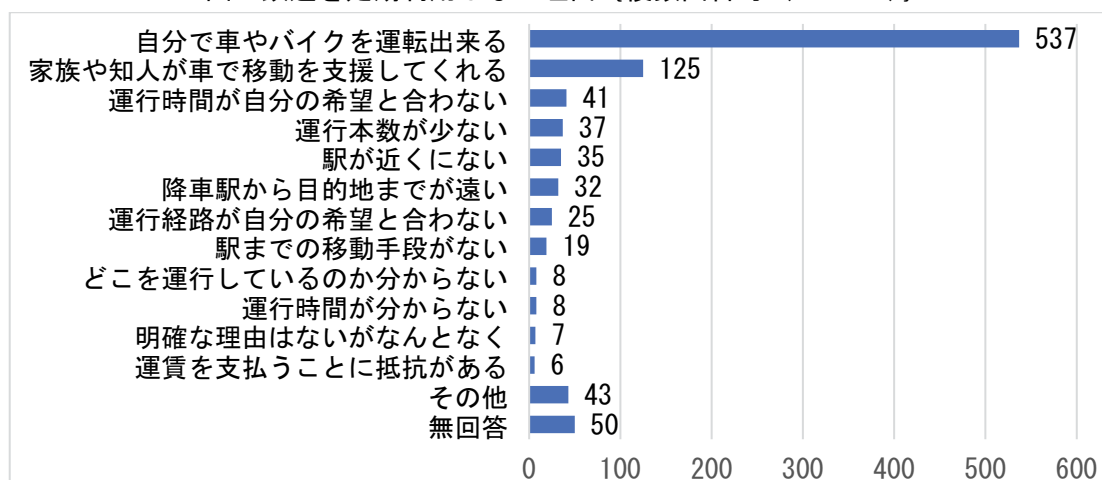
② 鉄道の定期利用（1 ヶ月に平均 1 回以上の利用と定義）

鉄道を「定期的に使っている」人は 56 人（7.2%）となっており、鉄道を過去 3 年以内に利用したことのある人と比べて大幅に少なくなっている。

図：鉄道を 1 ヶ月に 1 回以上利用する割合（N=774）



図：鉄道を定期利用しない理由【複数回答可（N=973）】



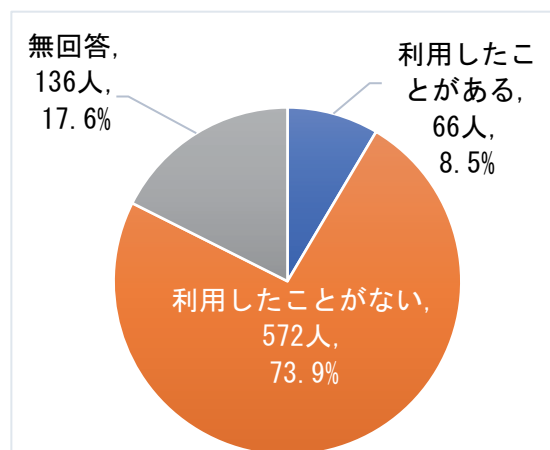
【鉄道を定期利用しないその他の回答例】

- ・無人駅だから。[3 区～6 区, 50～64 歳, 女性]
- ・時間を気にしたくない。[3 区～6 区, 30～39 歳, 女性]
- ・降車してから行動が自由に出来ない。[伏尾団地, 75 歳以上, 男性]
- ・他に便乗する手段がない時に利用する。[柳瀬, 75 歳以上, 女性]
- ・子どもが小さい。[柳瀬, 30～39 歳, 女性]
- ・歩行困難で列車の乗降が無理。[九反田, 75 歳以上, 女性]
- ・コロナで利用する機会が減った。[青去, 50～64 歳, 女性]
- ・旅行の時以外は使わない。[荷稻, 65～74 歳, 女性]
- ・自動車だと目的地まで直接行け、時間が自由。[下山, 40～49 歳, 女性]
- ・横揺れの為、すぐに酔うので。[川ノ内, 30～39 歳, 男性]
- ・車の方が楽だから、人に会わなくて済むから。[山瀬, 40～49 歳, 男性]
- ・降車駅から目的地まで移動手段がない。[弘岡, 65～74 歳, 女性]

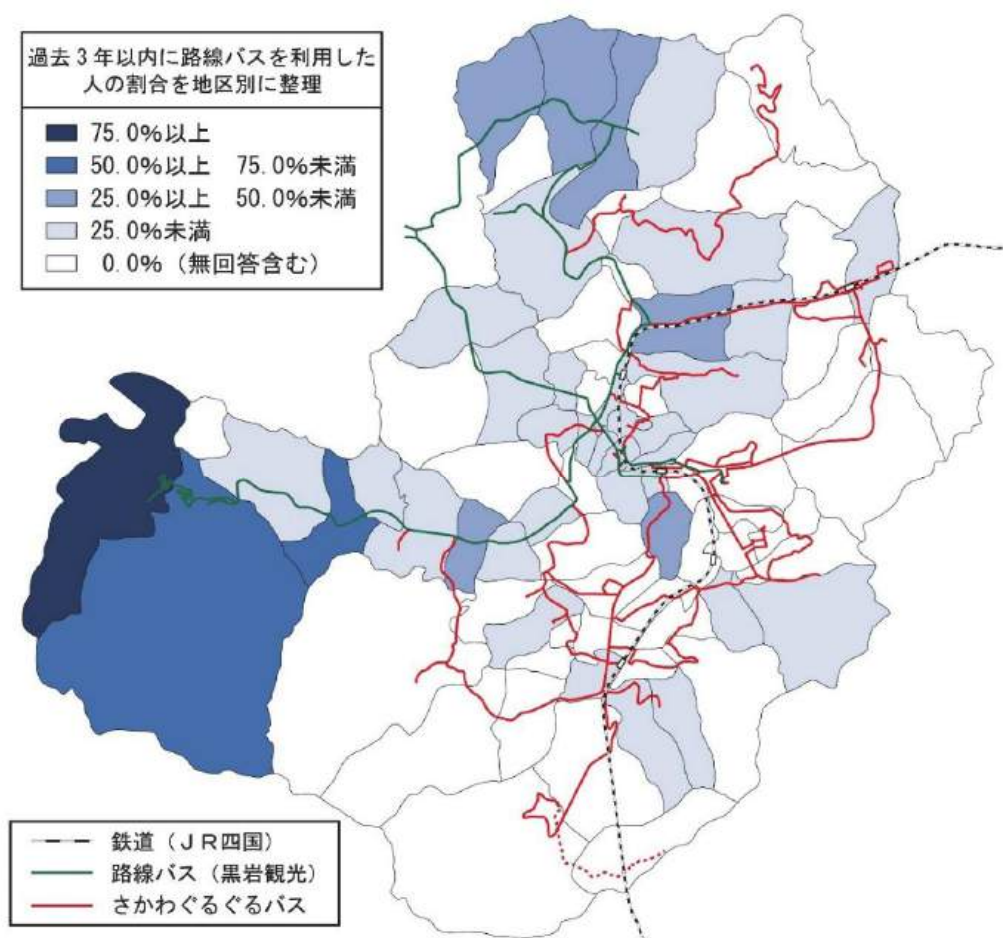
③ 路線バス利用経験（過去３年以内に１回以上の利用と定義）

過去３年以内に町内で路線バスを「利用したことがある」人は 66 人（8.5%）、
「利用したことがない」人は 572 人（73.9%）となっている。

図：地区別に見た路線バスの過去３年以内の利用経験（N＝774）



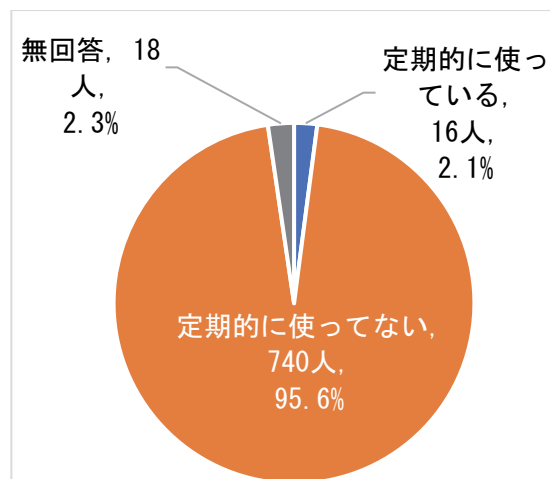
図：地区別に見た路線バスを過去３年以内に利用したことがある人の割合



④ 路線バスの定期利用（1 ヶ月に平均 1 回以上の利用と定義）

路線バスを「定期的に使っている」人は 16 人（2.1%）となっており、路線バスを過去 3 年以内に利用したことのある人と比べて 50 人少なくなっている。

図：路線バスを 1 ヶ月に 1 回以上利用する割合（N=774）



図：路線バスを定期利用しない理由【複数回答可（N=1,037）】



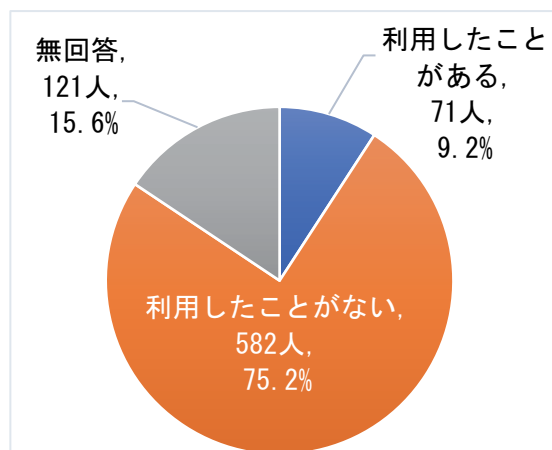
【路線バスを定期利用しないその他の回答】

- ・コロナ感染をさけるため。[長竹, 30～39 歳, 女性]
- ・乗る用事がない。[山田, 75 歳以上, 男性]
- ・帰りの便がないので利用しない。[中村, 75 歳以上, 女性]
- ・買物、病院は町内なのでぐるぐるバスを利用。[入寺山, 65～74 歳, 女性]
- ・自家用車ならいつでもどこでも行ける。[角口・狩場, 65～74 歳, 女性]
- ・自宅周辺を運行していない。[塚谷, 65～74 歳, 女性]
- ・車の方が楽だから、人に合わなくてすむから。[山瀬, 40～49 歳, 男性]
- ・バスの習慣が無い。[鉢ヶ森・梅ノ木・鉢ヶ森西・山崎, 40～49 歳, 男性]
- ・乗降が困難。さらにバス停まで歩けない。[九反田, 75 歳以上, 女性]
- ・越知町ぐらいいは自転車で行ける。[松崎, 65～74 歳, 男性]
- ・酔うから。[3 区～6 区, 50～64 歳, 女性]
- ・一度も乗ったことがない。[東元町, 65～74 歳, 男性]
- ・タクシーを利用する。[東元町, 75 歳以上, 男性]

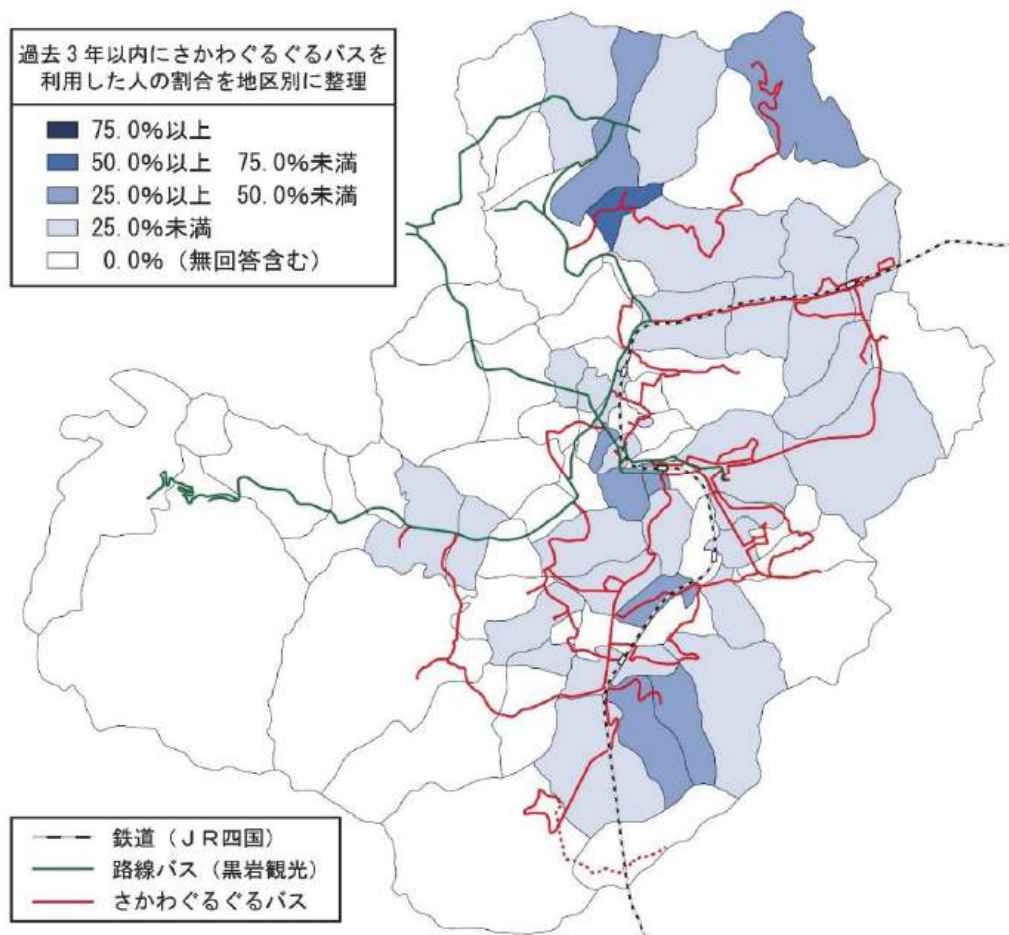
⑤ さかわぐるぐるバス利用経験（過去３年以内に１回以上の利用と定義）

過去３年以内にさかわぐるぐるバスを「利用したことがある」人は 71 人（9.2%）、
「利用したことがない」人は 582 人（75.2%）となっている。

図：地区別に見たさかわぐるぐるバスの過去３年以内の利用経験（N＝774）



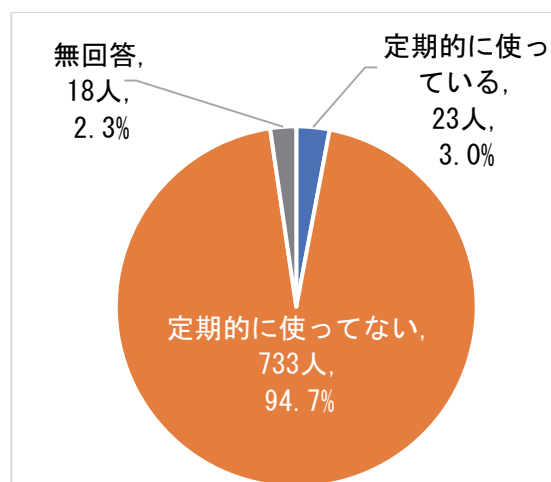
図：地区別に見たさかわぐるぐるバスを過去３年以内に
利用したことがある人の割合



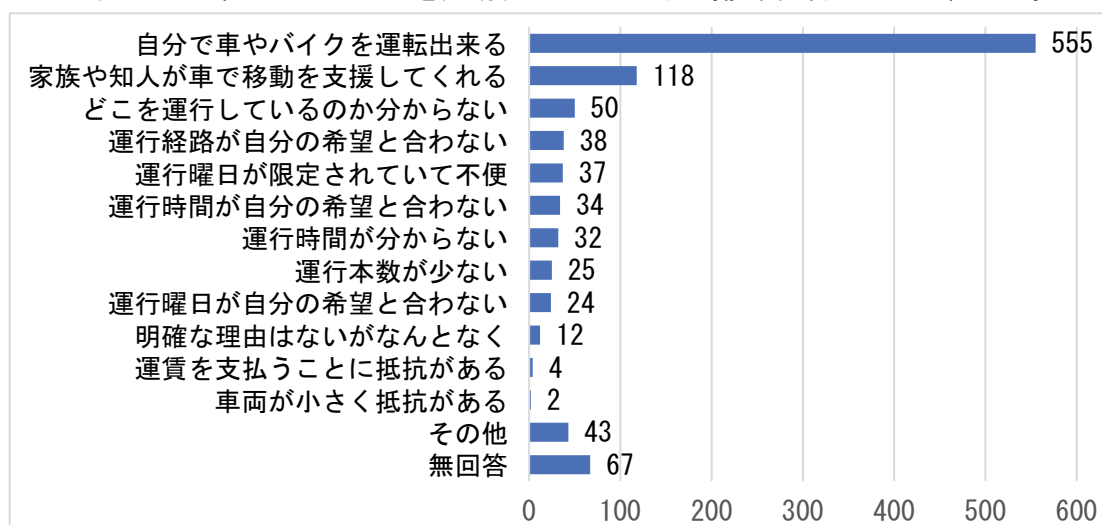
⑥ さかわぐるぐるバスの定期利用（1ヶ月に平均1回以上の利用と定義）

さかわぐるぐるバスを「定期的に使っている」人は23人（3.0%）となっている。

図：さかわぐるぐるバスを1ヶ月に1回以上利用する割合（N=774）



図：さかわぐるぐるバスを定期利用しない理由【複数回答可（N=1,041）】



【さかわぐるぐるバスを定期利用しないその他の回答例】

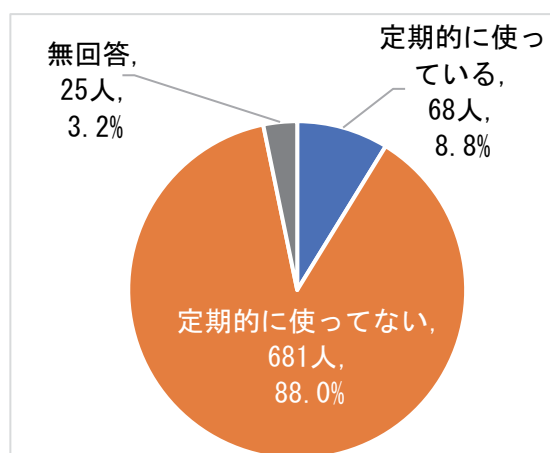
- ・買い物に行っても、帰りに荷物を持って帰れない。[上郷, 75歳以上, 女性]
- ・一度も乗った事がない。[東元町, 65～74歳, 男性]
- ・酔うから。[3区～6区, 50～64歳, 女性]
- ・自家用車利用者は利用するべきでないと思っている。若者が座って幅をきかすよりも高齢者に使ってもらったらい。[3区～6区, 30～39歳, 女性]
- ・使ったことがないから分からない。[3区～6区, 30～39歳, 女性]
- ・目的がない。[柳瀬, 75歳以上, 女性]
- ・知らなかった。[中組, 18～29歳, 女性]
- ・使ってみたいがよく分からない。[鉢ヶ森・梅ノ木・山崎, 40～49歳, 男性]
- ・週1回位で色々不便だから。[西山耕, 75歳以上, 女性]
- ・満席で乗れない。[高平, 75歳以上, 女性]
- ・公平に回っていない。[竹ノ倉, 無回答, 女性]

⑦ タクシーの定期利用（1 ヶ月に平均 1 回以上の利用と定義）

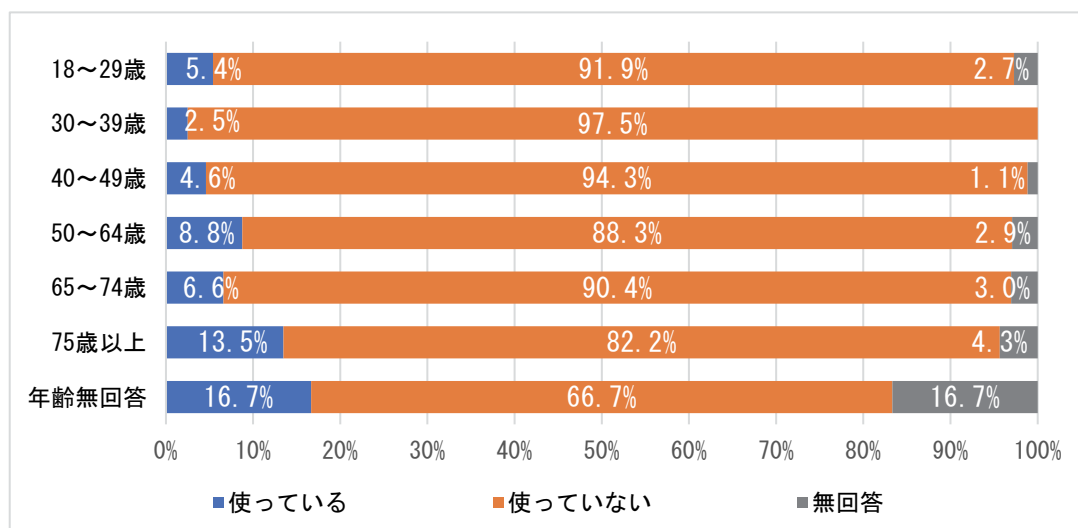
タクシーを「定期的に使っている」人は 68 人（8.8%）で、「定期的に使っていない」人は 681 人（88.0%）となっている。

回答者が高齢になるほど「定期的に使っている」割合が高くなっている。

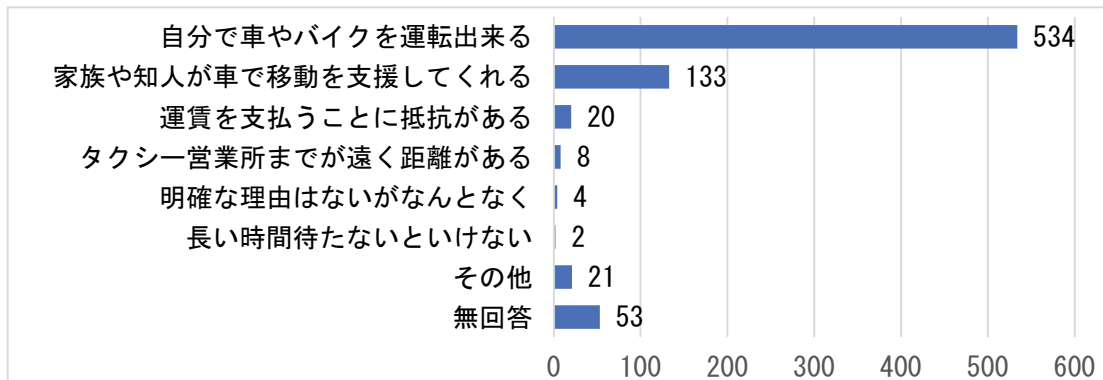
図：タクシーを 1 ヶ月に 1 回以上利用する割合（N=774）



図：タクシーの定期利用について、年齢別にクロス集計（N=774）



図：タクシーを定期利用しない理由【複数回答可（N=775）】



【タクシーを定期利用しないその他の回答例】

- ・通院の時は定期的に使ったこともあったが、普段は必要無い。
[上郷, 75 歳以上, 男性]
- ・コロナで外出しなくなった。[東元町, 65～74 歳, 男性]
- ・酔うから。[3 区～6 区, 50～64 歳, 女性]
- ・タクシーは飲酒した時に使うが夜遅くなる。するともうタクシーがなくなっている。それにタクシーは高い。[3 区～6 区, 30～39 歳, 女性]
- ・バスやぐるぐるバスを利用している。[松崎, 75 歳以上, 女性]
- ・夜間、早朝に無い。[富士見町, 65～74 歳, 男性]
- ・定期的な外出をしない、外出する際には利用している。
[富士見町, 50～64 歳, 女性]
- ・時々利用する。[伏尾団地, 75 歳以上, 女性]
- ・使うことがない。[九反田, 50～64 歳, 男性]
- ・車椅子のため。[川内ヶ谷上, 65～74 歳, 女性]
- ・入院中。[襟野々・花ノ木, 75 歳以上, 女性]
- ・リクライニング車椅子使用の為。[鳥の巣, 65～74 歳, 男性]
- ・料金が高いので一人では乗らない。[駅前丁・芝ノ坊, 75 歳以上, 女性]
- ・定期的ではないが時々利用する。[野添, 65～74 歳, 女性]
- ・運賃が高い。[大平, 75 歳以上, 男性]
- ・乗る用事がない。[山田, 75 歳以上, 男性]
- ・乗る用がない。[庄田, 50～64 歳, 男性]
- ・自転車。[台住・平野, 75 歳以上, 男性]
- ・料金が昨年あたりから高くなったため。[弘岡, 40～49 歳, 男性]
- ・コロナ感染を避けるため。[長竹, 30～39 歳, 女性]

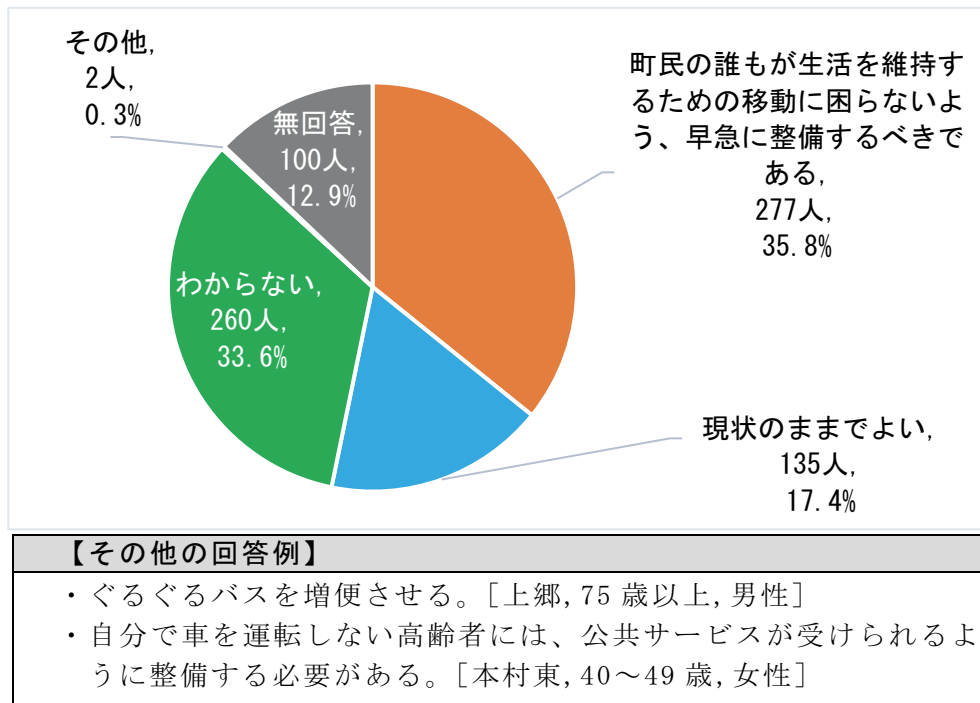
5) 移動手段確保のあるべき姿について

(1) 佐川町における公共交通整備について

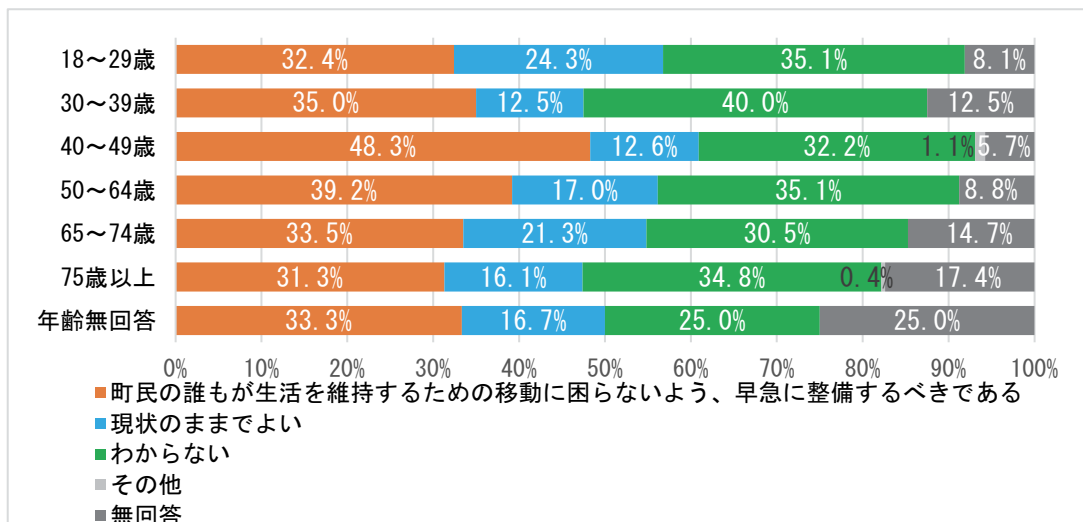
本町における今後の公共交通整備について聞いたところ、「町民の誰もが生活を維持するための移動に困らないよう、早急に整備するべきである」が 277 人 (35.8%) で最も多くなっており、続いて「わからない」が 260 人 (33.6%)、「現状のままでよい」が 135 人 (17.4%) となっている。

40～49 歳が「町民の誰もが生活を維持するための移動に困らないよう、早急に整備するべきである」と回答した人の割合が最も高くなっている。これはちょうど親世代が後期高齢者に差し掛かる年齢層であることが関係していると予測される。

図：佐川町における公共交通整備について (N=774)



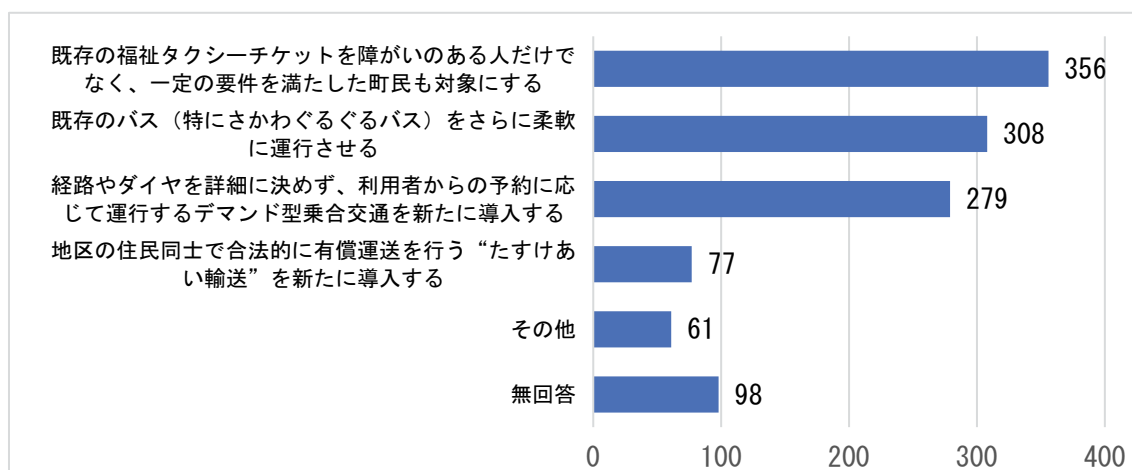
図：佐川町における公共交通整備について、年齢別にクロス集計 (N=774)



(2) 公共交通の今後の対応策

公共交通の今後の対応策として、「既存の福祉タクシーチケットを障がいのある人だけでなく、一定の要件を満たした町民も対象にする」と回答した人が最も多く 356 人、続いて「既存のバス（特にさかわぐるぐるバス）をさらに柔軟に運行させる」が 308 人、「経路やダイヤを詳細に決めず、利用者からの予約に応じて運行するデマンド型乗合交通を新たに導入する」が 279 人となっている。

図：公共交通の今後の対応策について {2 つまで回答可 (N=1,179)}



【乗合輸送に対する今後の対策について、その他の回答例】

- ・介護タクシーの利用をもっと考えてもらいたい。[上郷, 65～74 歳, 男性]
- ・一人では動けない。[上郷, 75 歳以上, 男性]
- ・現在、公共交通を使ってないのでよくわからない。[東元町, 50～64 歳, 男性]
- ・そもそもどれだけ、どう困っているかが分からない。そこを見える化するべき。[3 区～6 区, 30～39 歳, 女性]
- ・なぜ「利用しづらい状況」が発生しているのか、その原因を突き止める方が良い。私は利用したことがないので、こうした方が良いという意味決定はしかなる。[春日, 18～29 歳, 女性]
- ・タクシーを相乗できるよう運行する。受付を一つにする。
[7 区～9 区, 75 歳以上, 女性]
- ・車椅子でも利用できるようにしてほしい。[松崎, 50～64 歳, 女性]
- ・黒岩観光の路線バスは佐川町だけでなく、三町の町民の移動手段であり、現状を維持してもらいたい。[松崎, 50～64 歳, 男性]
- ・まだ利用した事がないのでわからない。[中本町, 75 歳以上, 男性]
- ・鉄道で市内に行く事があるが、接続がうまく出来ておらず発車後に到着したり、駅に帰った時間にはバスが発出した後で利用する事が出来ず、タクシーに頼らないといけない。もう少し考えてほしい。[中本町, 75 歳以上, 女性]
- ・バス停以外でも乗降ができるようにしたらどうか。手を挙げたら止まってくれるような。[三野, 50～64 歳, 女性]

【乗合輸送に対する今後の対策について、その他の回答例：つづき】

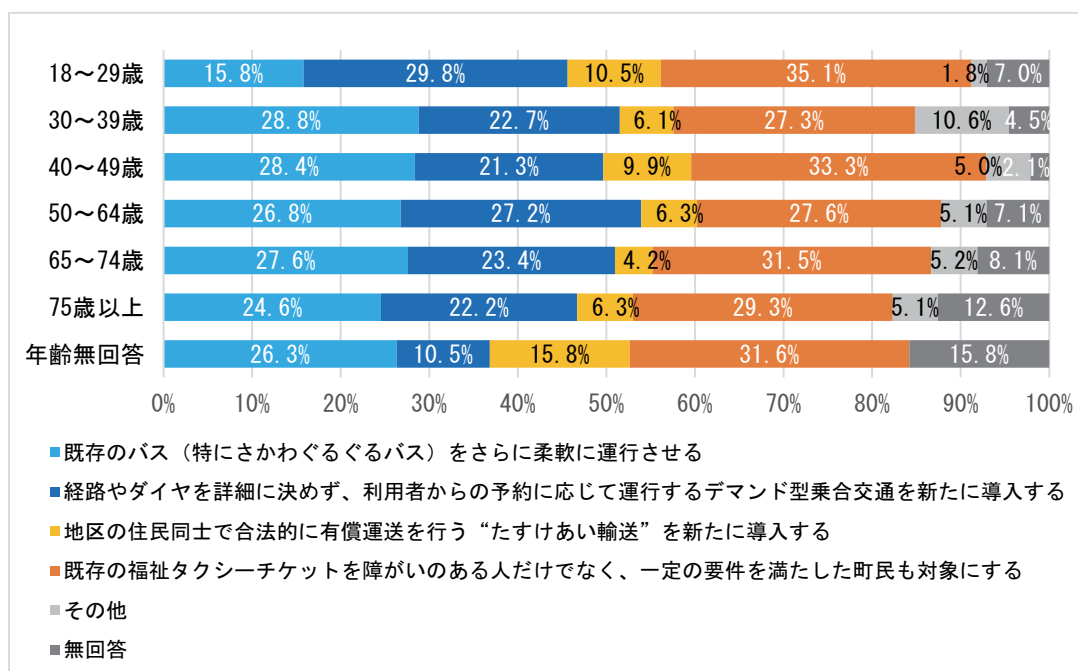
- ・ 小型車、軽自動車など、利用者の近くまで送迎できたら理想だと思う。
[虎杖野, 40～49 歳, 女性]
- ・ 交通手段については免許返納も考えたが不自由なので更新（85 歳）もしてきた。普段の買い物は全部生協宅配利用になる。[九反田, 75 歳以上, 女性]
- ・ 黒岩観光の路線バスの運行時間がわからない。また、さかわぐるぐるバスを利用したくても集落を運行していない。[川内ヶ谷下, 65～74 歳, 女性]
- ・ 車椅子でも利用できるように。[川内ヶ谷上, 65～74 歳, 女性]
- ・ タクシーが入れない所には軽自動車のタクシー導入。[青去, 40～49 歳, 女性]
- ・ 通常経路を減らして、予約と併用して運行する [荷稻, 50～64 歳, 女性]
- ・ 経路やダイヤを決めておき、経路上（病院やスーパーを往復するような）であればどこでも乗り降りできる形の予約に応じて運行するデマンド型乗合交通。[荷稻, 50～64 歳, 女性]
- ・ さかわぐるぐるバスの中が暗く人がいるか見えない。[下山, 50～64 歳, 男性]
- ・ スマホ等で予約。リアルタイムで運行状況を可視化。[下山, 40～49 歳, 女性]
- ・ わからないので利用しづらい。[下山, 50～64 歳, 男性]
- ・ ぐるぐるバス停留所（決まった場所）から少し離れた人が、乗り場まで行くことができない場合、回ってあげるなどしてあげてほしい。年々高齢者は増え続け免許返納したりして移動が困難な人が増えていく。停留所の見直し等をする必要があると思う。[埴生ノ川, 75 歳以上, 女性]
- ・ ぐるぐるバスが利用しやすいように走っているので、今のままで良いと思う。[鳥の巣, 65～74 歳, 女性]
- ・ 人数が少ない時は、6 人乗りの車にした方が、燃料代の節約になるのではないか。[岩井口, 50～64 歳, 女性]
- ・ 町内のタクシー会社と連携し、移動手段の無い者への支援制度を創設（タクシー料金の補助、運転手の確保など）する。[塚谷, 65～74 歳, 男性]
- ・ 公共交通を全く使わないのでわからない。[駅前丁・芝ノ坊, 30～39 歳, 女性]
- ・ タクシーチケットは無償ではなく、少額でも利用者が負担するとよい。
[駅前丁・芝ノ坊, 75 歳以上, 女性]
- ・ さかわぐるぐるバスについて、予約方式が良いと思う。その方が経費も無駄が省けるのではないか。目的地へ到着する時間も短縮できるような方法も考えて頂きたい。[駅前丁・芝ノ坊, 65～74 歳, 女性]
- ・ 利用しづらいと声をあげている人達に直接意見を聞いてほしい。また現場の職員の方など直接関わりのある人たちの意見が最も重要だと思う。
[角口・狩場, 30～39 歳, 男性]
- ・ ぐるぐるバスは止めるか、路線を限定して毎日運行。
[角口・狩場, 40～49 歳, 男性]
- ・ 駅、スーパー、病院、J A、郵便局など公共の場所に停まるので便利。値上げなしでお願いしたい。[入寺山, 65～74 歳, 女性]
- ・ 高齢なので、停留所まで歩行が困難で乗れない。[高平, 75 歳以上, 女性]
- ・ 現状どれ位の人数が、どのタイミングで利用したいのかわからないので、きちんと調べてから、問題点も含めて佐川町民に共有して、案を出してもらえば良いのでは。[高平, 30～39 歳, 女性]
- ・ 特に朝の便で路線バスから鉄道へ乗り継ぎができるようなダイヤを組んでいただけたら助かる。[下郷, 75 歳以上, 女性]
- ・ 地域のたすけあい輸送を利用したい。[下郷, 75 歳以上, 女性]

【乗合輸送に対する今後の対策について、その他の回答例：つづき】

- ・障がい年金よりも低額な年金の人もいる為。[中村, 65～74 歳, 女性]
- ・医療機関と連携した運行（帰りに買い物もできる）。[中村, 40～49 歳, 女性]
- ・スーパー等への買い物に行くだけの便と、駅や役場、病院等へ行く便とに分けて運行曜日や、ダイヤを決めてみてはどうか。要は、近くまで行けると利用しやすい。[堂野々, 65～74 歳, 女性]
- ・自分で車を運転している人がタクシーチケットをもらっているのはおかしい。[上黒原, 75 歳以上, 女性]
- ・経路やダイヤはどこで知るのか。[台住・平野, 30～39 歳, 男性]
- ・バス停や運行時間の周知をしてもらいたい。[台住・平野, 30～39 歳, 女性]
- ・行きと帰りの時間が空きすぎて利用は難しい。[本村西, 65～74 歳, 女性]
- ・鉄道の時間に合わせて欲しい。[本村西, 75 歳以上, 女性]
- ・家族が移動の支援をしてくれる。[本村西, 75 歳以上, 女性]
- ・日高村のデマンドバスのように、ぐるぐるバスを予約方式にするのもありかも知れない。[弘岡, 65～74 歳, 女性]
- ・前日までに予約して運行する。帰りの時間を決めておく。その経路で調整できる人を用意する。[弘岡, 75 歳以上, 男性]
- ・長寿手帳で割引が受けられる。又は回数券発行。[長竹, 65～74 歳, 女性]
- ・そもそもの移動を少なくできるように、買い物の宅配サービスを充実させる。
[長竹, 30～39 歳, 女性]
- ・デマンド型乗合交通を試し、利用状況を積み重ねてデータ化し、より良い方法を見つけていってはどう思う。[長竹, 75 歳以上, 女性]

図：乗合輸送に対する今後の対策について、年齢別にクロス集計

{2 つまで回答可 (N=1, 179)}

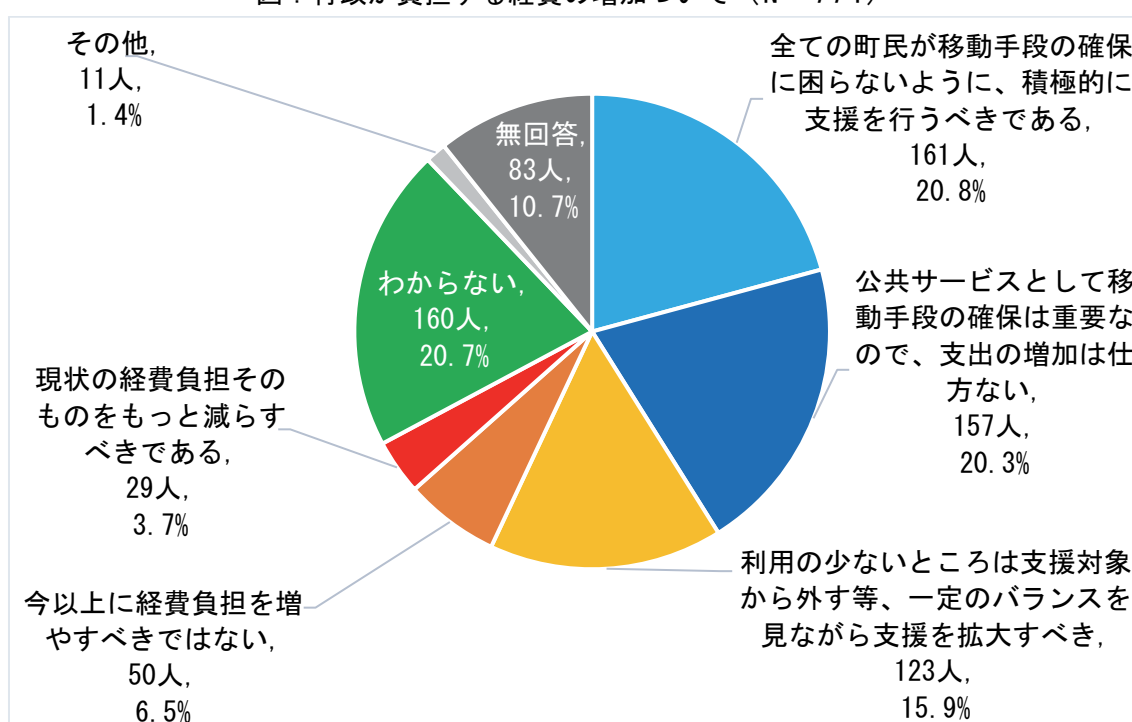


(3) 公共交通を便利にするために、行政が負担する経費の増加について

行政が負担する経費の増加に対する回答として、「全ての町民が移動手段の確保に困らないように、積極的に支援を行うべきである」が最も多く 161 人（20.8%）、「公共サービスとして移動手段の確保は重要なので、支出の増加は仕方ない」が 157 人（20.3%）、「利用の少ないところは支援対象から外す等、一定のバランスを見ながら支援を拡大すべき」が 123 人（15.9%）となっている。

行政負担の拡大に消極的な回答と見なすことができる「今以上に経費負担を増やすべきではない」と「現状の経費負担そのものをもっと減らすべきである」の合計が 79 人（10.2%）となっている。

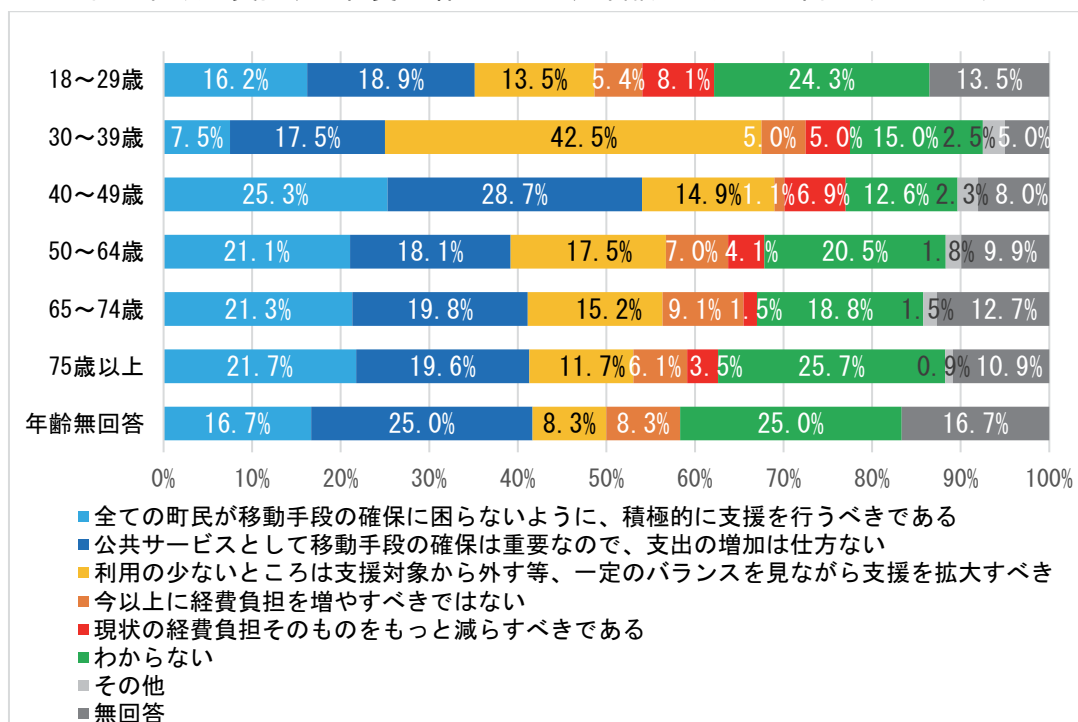
図：行政が負担する経費の増加について（N＝774）



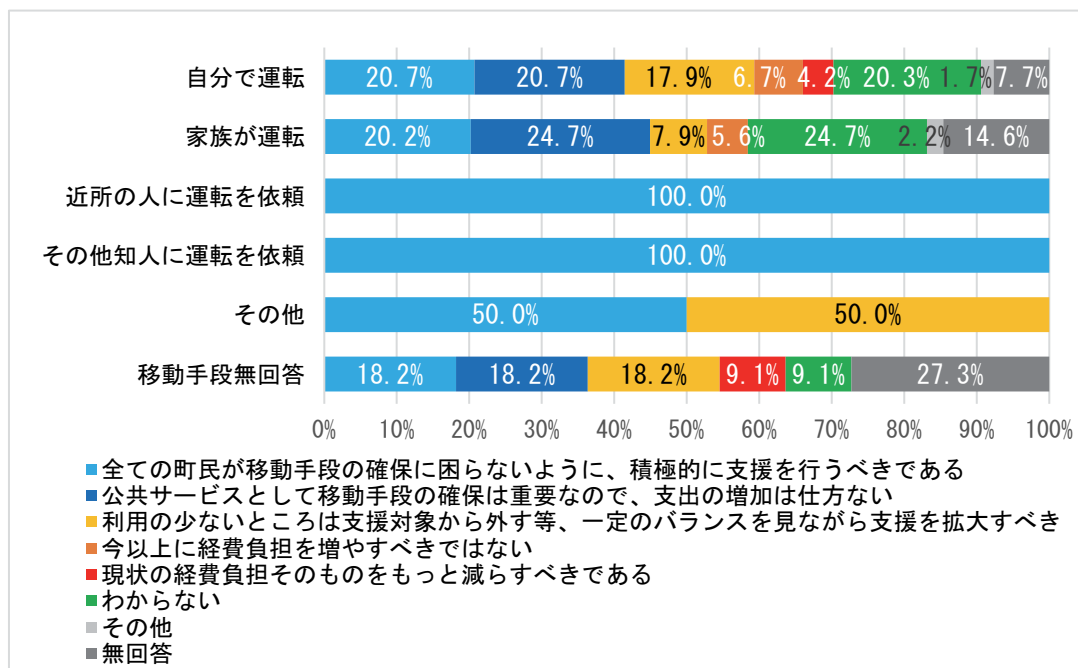
【その他の回答例】

- ・予約制とか、曜日で各地区に運用するなど。[柳瀬, 50～64 歳, 女性]
- ・さかわぐるぐるバスの便利を良くして利用を増やす。[柳瀬, 50～64 歳, 女性]
- ・デマンド型乗合交通を新たに導入すべきである。[中組, 50～64 歳, 男性]
- ・予約に応じて運行する。[室原, 75 歳以上, 男性]
- ・希望者の要望に応えるべき。[柏原, 65～74 歳, 女性]
- ・全員ではなく、障がい者、高齢者の買い物、通院の移動手段を確保すべき。
[青去, 65～74 歳, 女性]
- ・コンパクトな町にもっとすること。居住区域を制限すべき。デイ、通院、救急を充実させること。[角口・狩場, 40～49 歳, 男性]
- ・ぐるぐるバスをやめて、タクシーを強化する。[角口・狩場, 40～49 歳, 女性]
- ・他の経費で無駄なものは無いか見極め、積極的に支援を行うべきである。
[上美都岐, 30～39 歳, 女性]
- ・サンシャイン、サンプラザ等が自前のバスを出す。
[薬師堂・源重・原, 75 歳以上, 女性]
- ・町道を車が通れるように補修。[長竹, 65～74 歳, 男性]

図：行政が負担する経費の増加について、年齢別にクロス集計（N＝744）



図：行政が負担する経費の増加について、日常の自動車利用についてクロス集計（N＝625）



6) 佐川町内における移動手段確保に関する意見や要望など（自由筆記）

同じ内容のものを集約したものをここにまとめる。

公共交通網の改善を要望する意見

○ 公共交通全般に対する意見・要望

- ・家の近くまでバスが来てもらえないと利用出来ない。近い将来バイクも運転できなくなったら買い物に行くことも出来なくなると思う。電話予約が必要でもいいので家の近くまで来てもらいたい。
- ・身体が十分に動けなくなると、鉄道にもバスにも乗れなくなり、タクシーを呼ぶしかなくなる。タクシー会社にも存続してもらわなければいけない。タクシーを利用しやすくなるように、料金等を考えてもらいたい。
- ・バスに乗った経験の少ない高齢者などには、バスの利用を躊躇している人がいる。車掌（介助員）が乗る便をつくり、利用し易さをアピールしてはどうか。
- ・中心街はさかわぐるぐるバスで運行し、その他はデマンド運行で家まで送迎ならタクシーへの補助も良いと思う。高齢となり、車に乗れなくなるとバス停まで行けない。また通院、買い物する体力も無い。

○ 黒岩観光の路線バスに対する意見・要望

- ・尾川線になるが、昔はバスから鉄道に乗り換えて高知方面に行けていたが、時刻表が変わるたびに鉄道には間に合わず帰りのバス便も無くなった。鉄道を利用したくても今の状態では無理。しかもバスは定刻に来るとは限らないので、もう少しゆとりのあるダイヤを希望する。
- ・黒岩から佐川中学校へのスクールバスが、土日の部活の便はほとんど乗車もなく、平日もバス定員の半数以下である。空いている席に地域の移動が困難な人などが片道だけでも病院やスーパーまで乗れたら一石二鳥ではないか。

○ さかわぐるぐるバスに対する意見・要望

- ・さかわぐるぐるバスの停留所までの距離が遠く、利用したくてもできない。
- ・家族が車を所有できなくなった時に、さかわぐるぐるバスが週1日だと買い物等に不便なので、運行日を増やしてもらいたい。
- ・今後高齢化が進み、車での移動が出来なくなった時の事を考えると本当に困ると思う。さかわぐるぐるバスにお世話になっている人もいる。町として出来る限りの事をしてくれている。このまま存続が可能であれば是非お願いしたい。

○ その他の意見・要望

- ・あったかふれあいセンターでの送迎が、最も気軽に利用できる。更なる活用策を検討してはどうか。
- ・免許を返納した後、通院の為のタクシーチケットを交付してもらいたい。
- ・シニアカーで移動しても車など横を通ると怖い。シニアカーや子ども、年寄りが歩いても事故の心配の少ない道路を考えてほしい。
- ・運転できなくなった時には、行動が制限される。買い物なども不便になる。移動スーパーなど回数を増やすなどして地域サービスを充実して欲しい。また、買い物送迎（あったかふれあいセンター）などを充実して欲しい。

第2節：通学に関するアンケート調査より

1. 通学に関するアンケート調査の実施概要

(1) 実施方法

町内の小学生・中学生・高校生とその保護者に対して、アンケート調査票に依頼文章を同封し、学校を通じて配布・回収を行った。

(2) 配布枚数と回収数

小学校名	配布枚数	回収数	回収率	備考
佐川小学校	314	227	72.3%	無効数 3
斗賀野小学校	148	84	56.8%	無効数 1
尾川小学校	27	13	48.1%	
黒岩小学校	40	25	62.5%	
加茂小学校	42	38	90.5%	
小学校合計	571	387	67.8%	

中学校名	配布枚数	回収数	回収率	備考
佐川中学校	247	114	46.2%	無効数 1
尾川中学校	12	3	25.0%	
加茂中学校	26	25	96.2%	
中学校合計	259	117	45.2%	

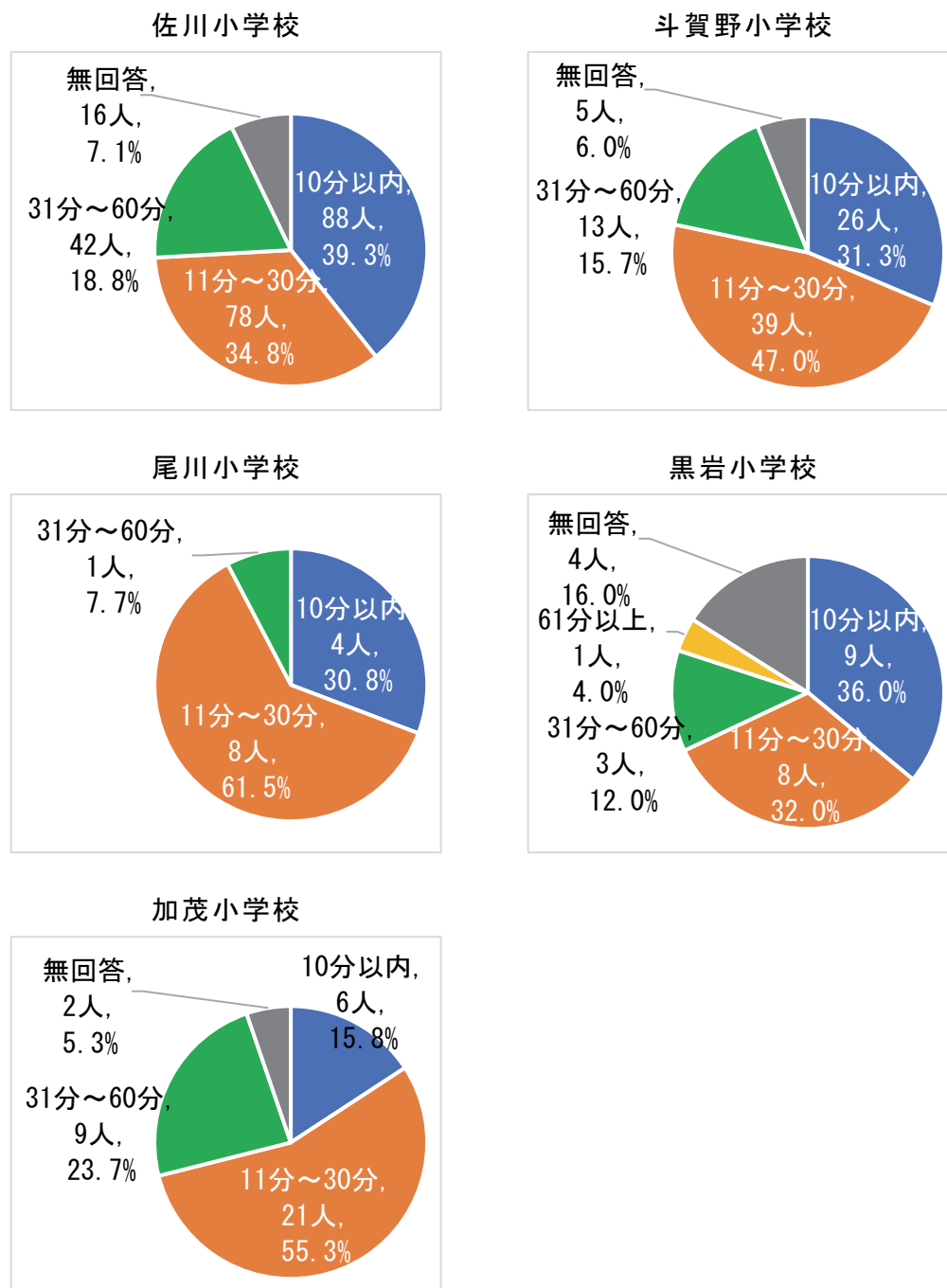
高校名	配布枚数	回収数	回収率	備考
佐川高校	110	83	75.5%	
高校合計	110	83	75.5%	

2. 通学に関するアンケート調査の結果とりまとめ

(1) 通学時間

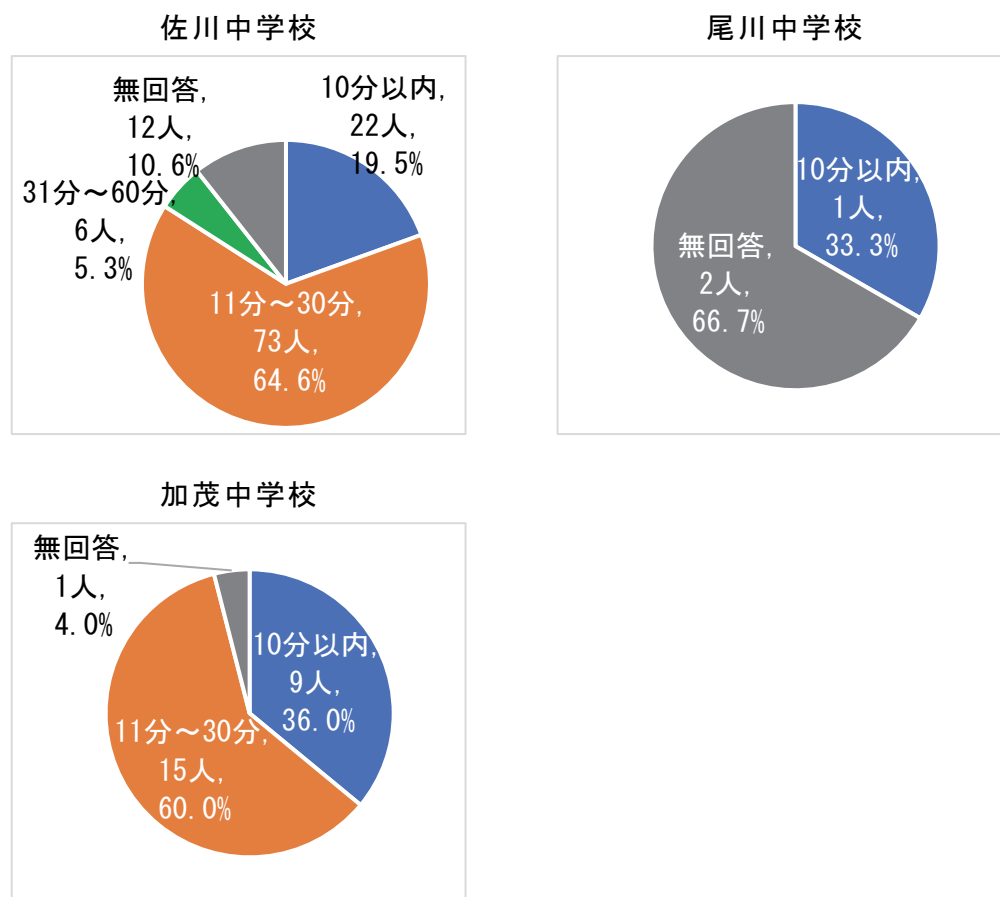
① 小学校

図：通学にかかる時間

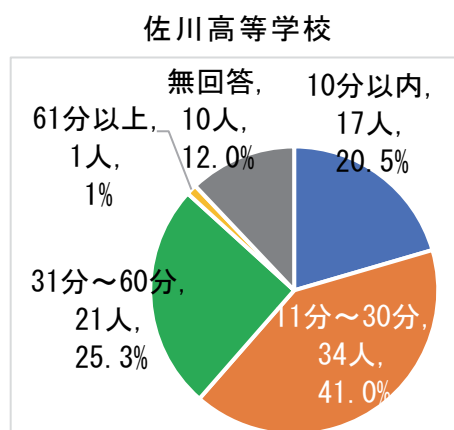


② 中学校

図：通学にかかる時間



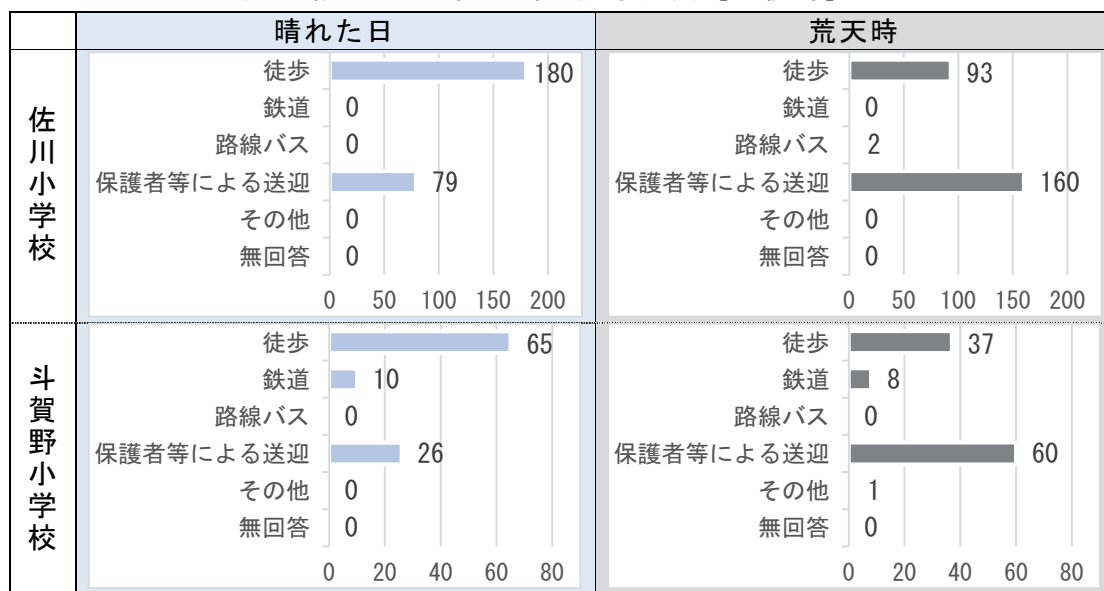
③ 高校



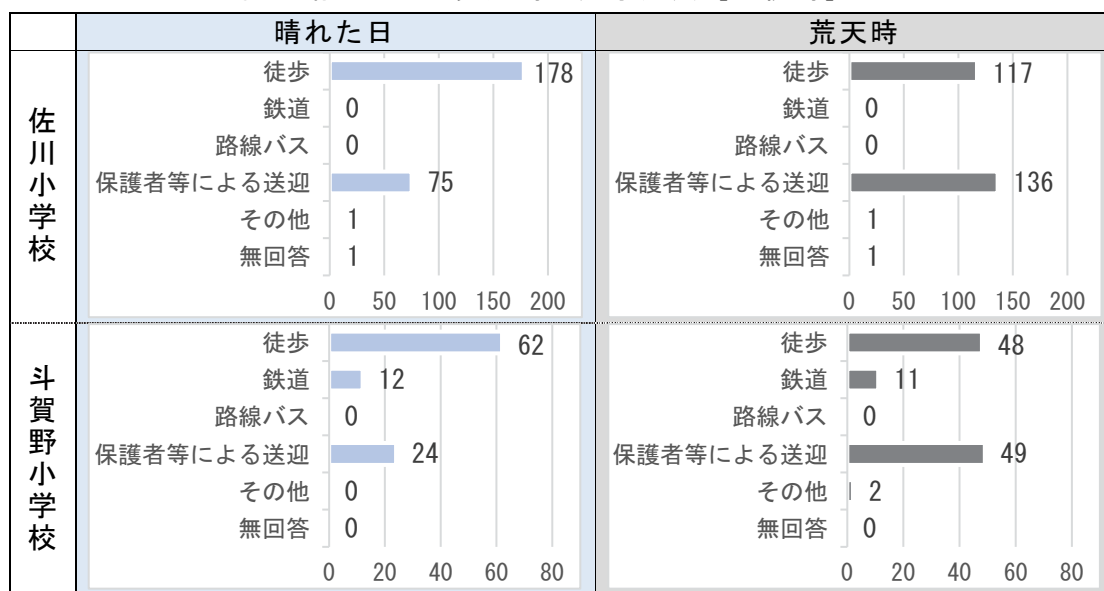
(2) 天気による通学手段の違い

① 小学校（複数回答）

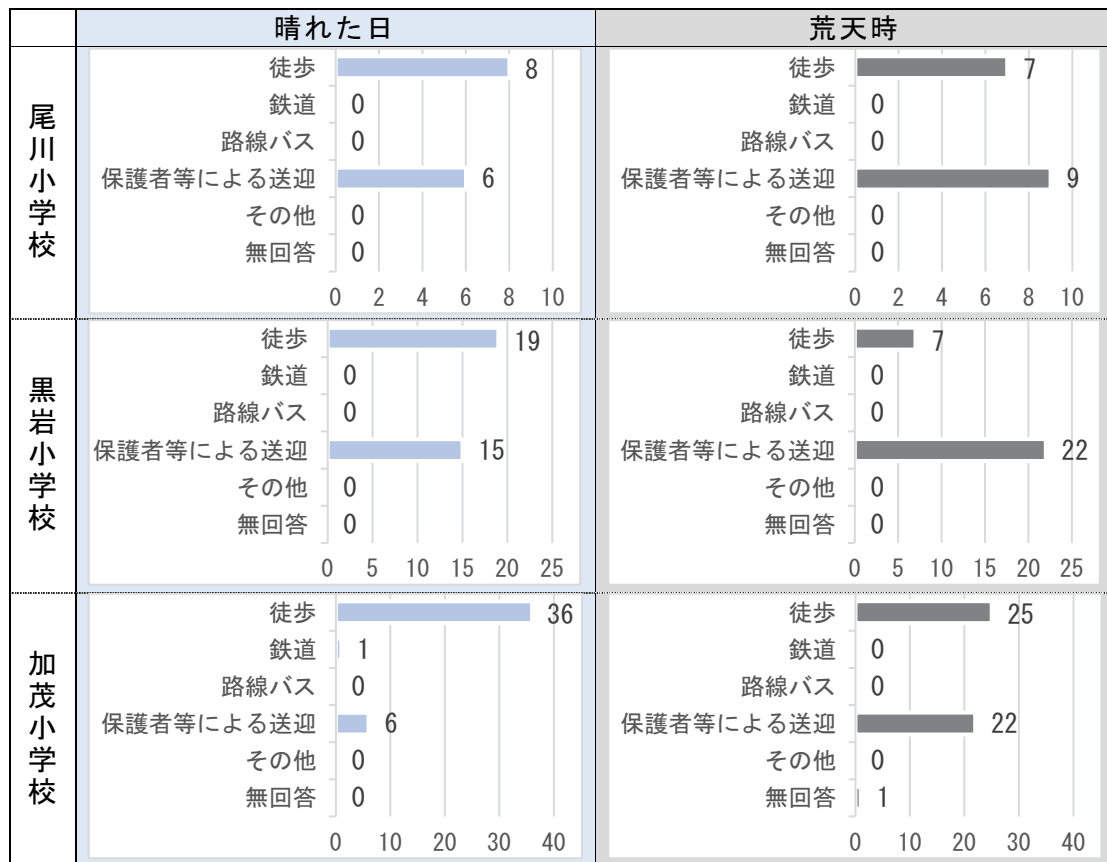
図：晴れた日と荒天時の通学方法〔登校時〕



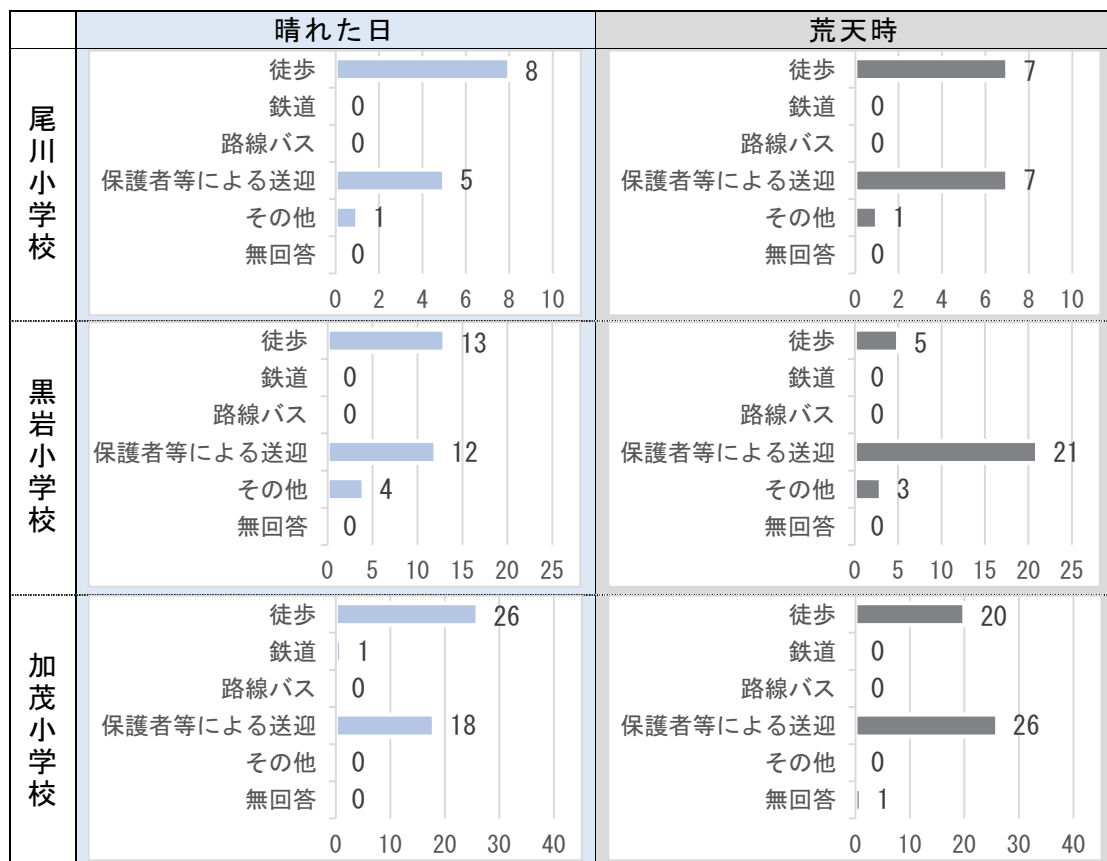
図：晴れた日と荒天時の通学方法〔下校時〕



図：晴れた日と荒天時の通学方法〔登校時〕

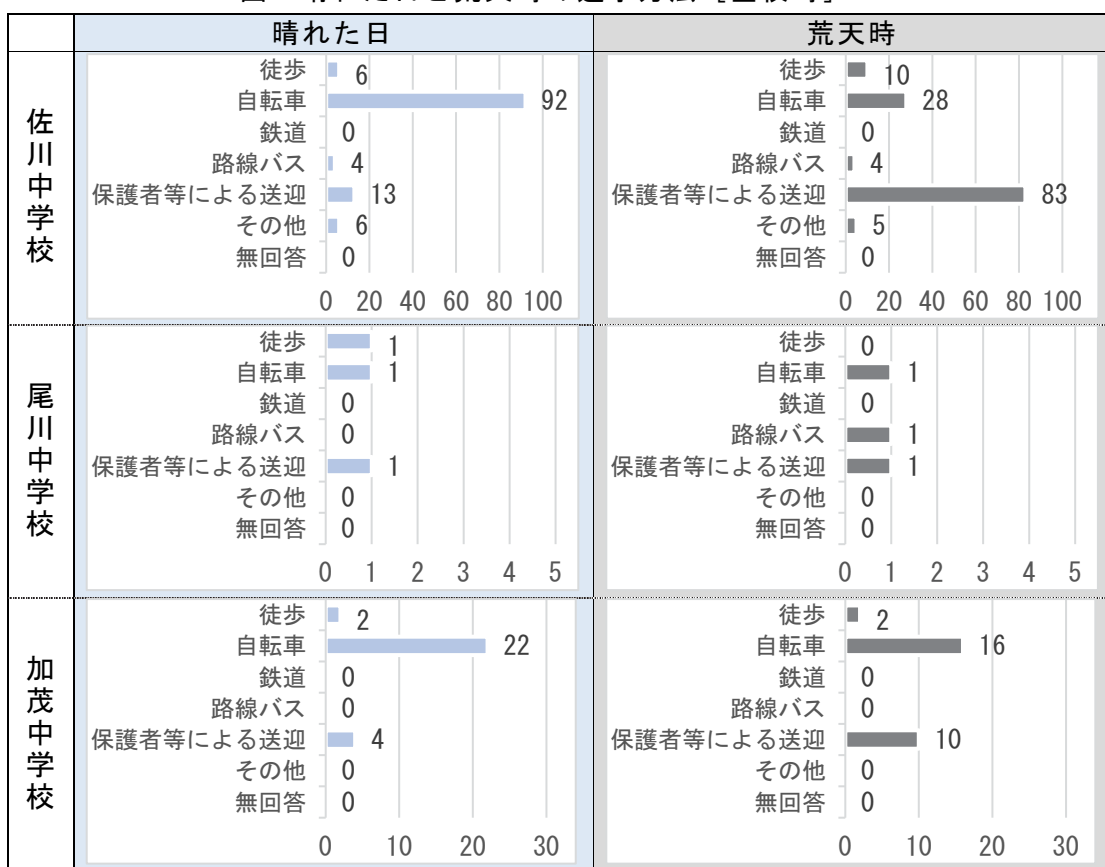


図：晴れた日と荒天時の通学方法〔下校時〕

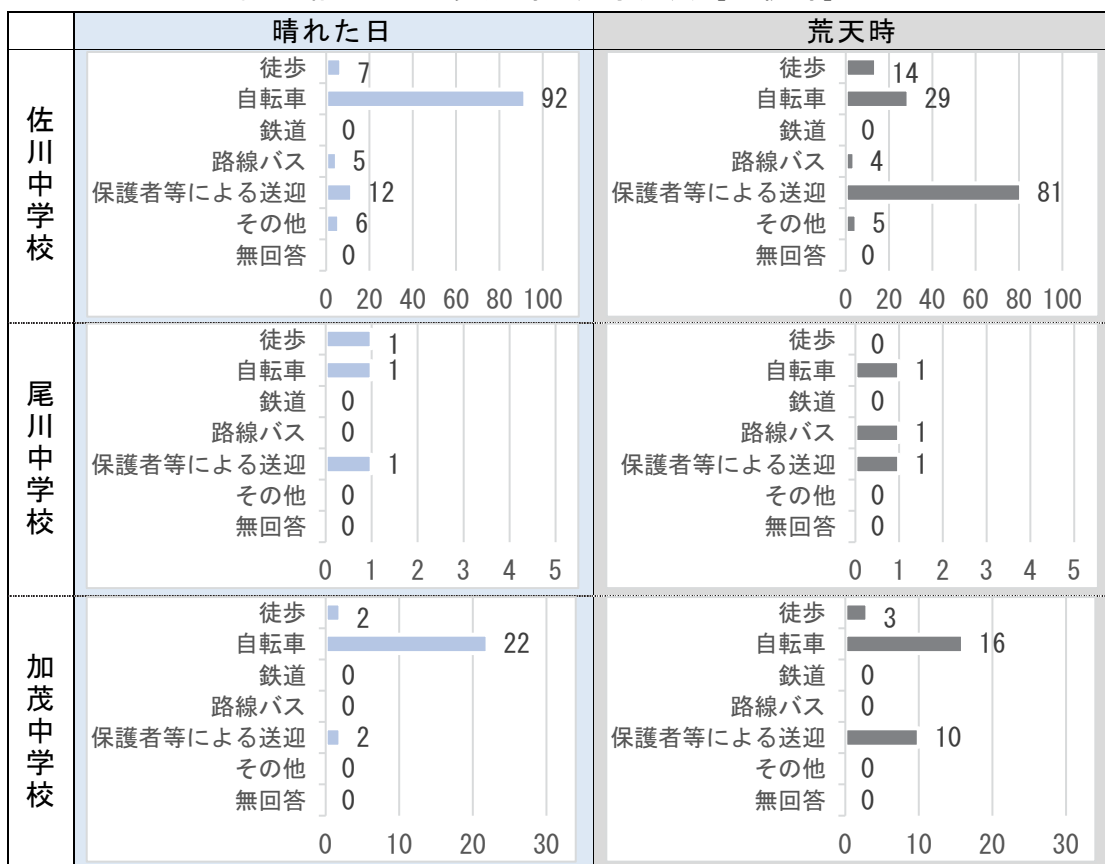


② 中学校（複数回答）

図：晴れた日と荒天時の通学方法 [登校時]

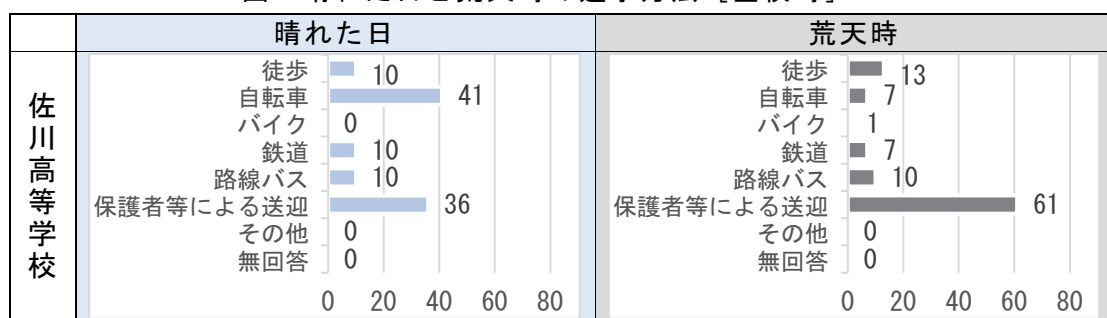


図：晴れた日と荒天時の通学方法 [下校時]

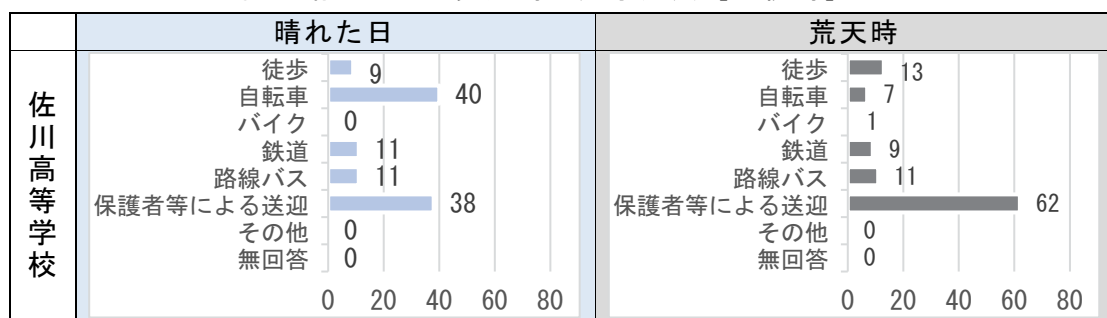


③ 高校

図：晴れた日と荒天時の通学方法 [登校時]

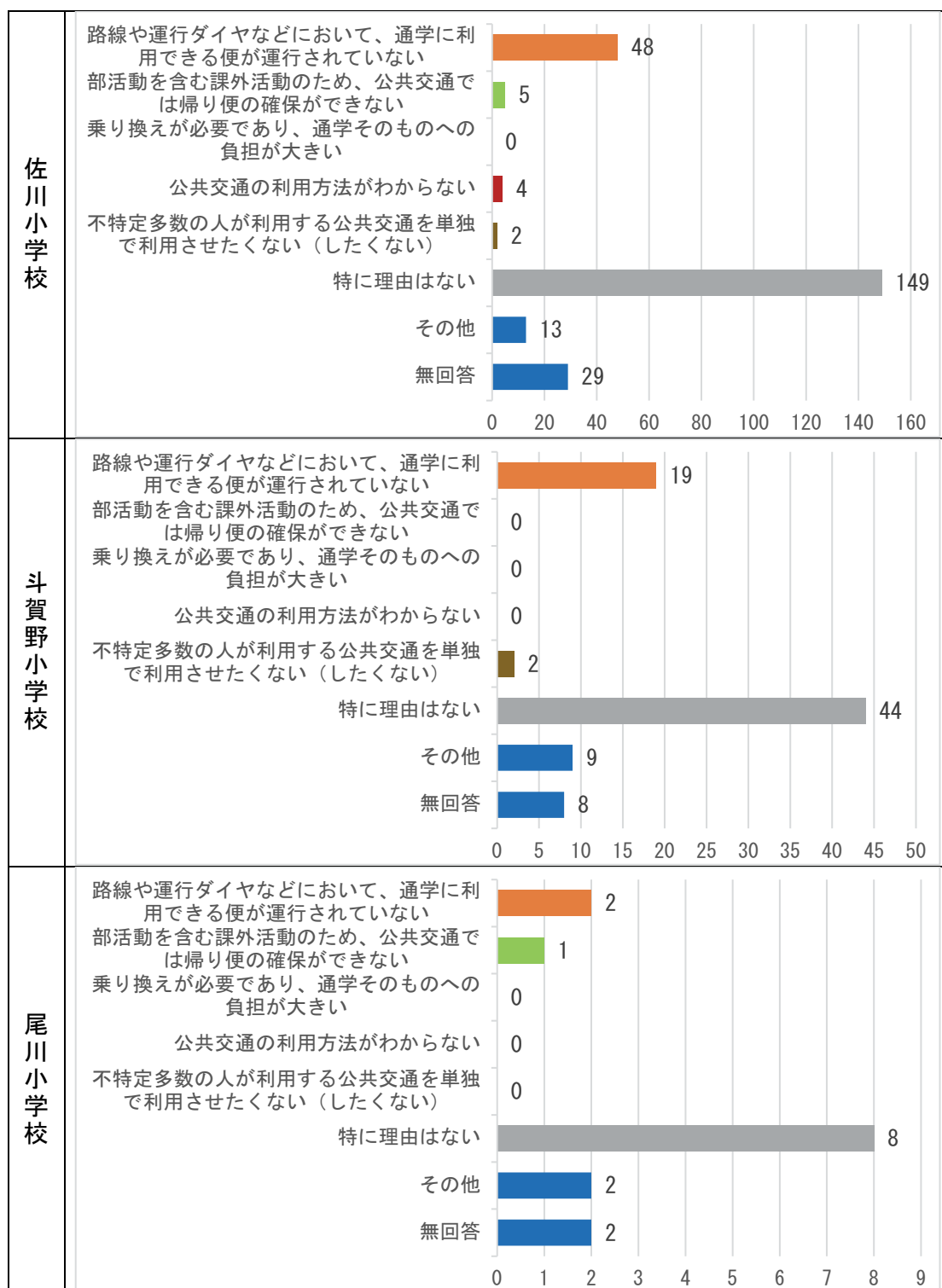


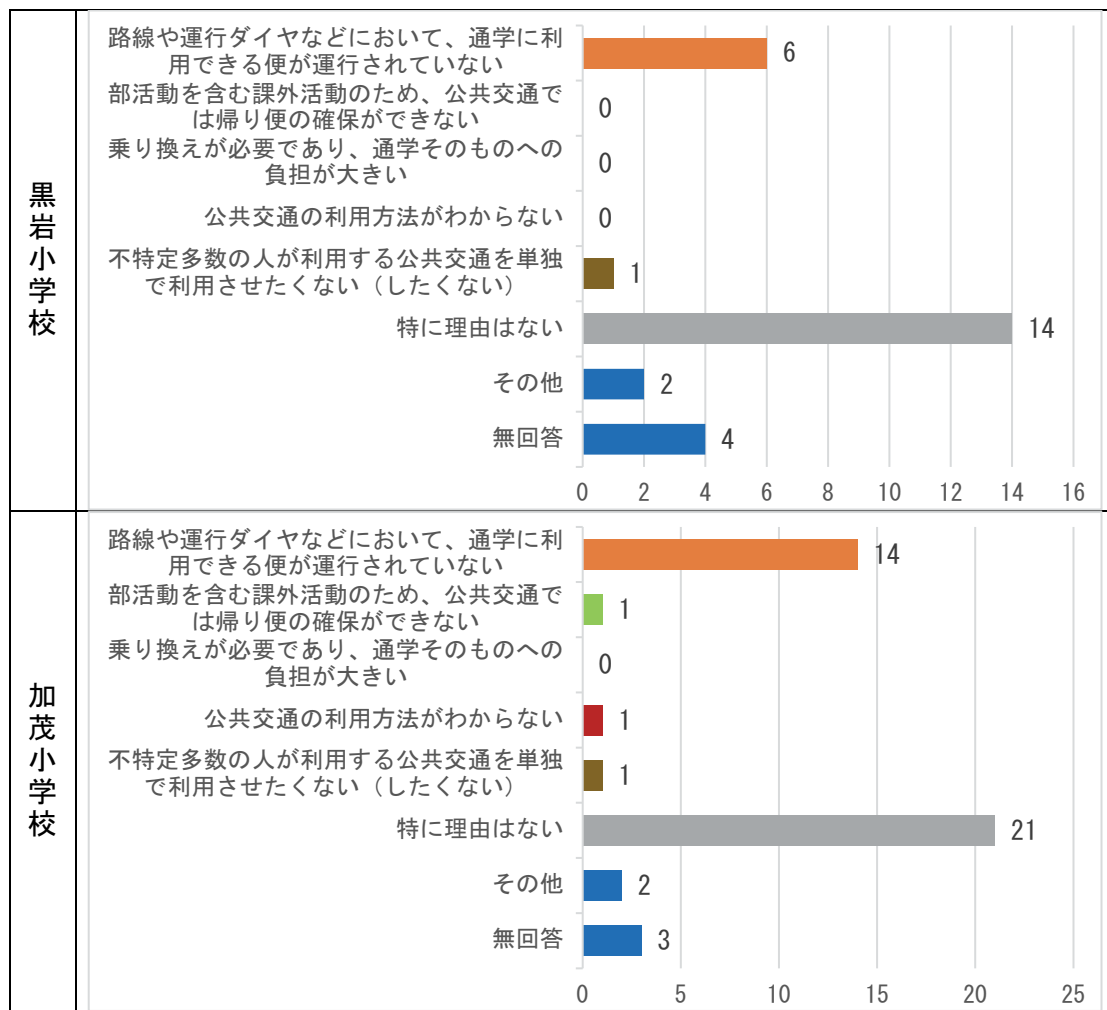
図：晴れた日と荒天時の通学方法 [下校時]



(3) 通学に公共交通を利用していない理由

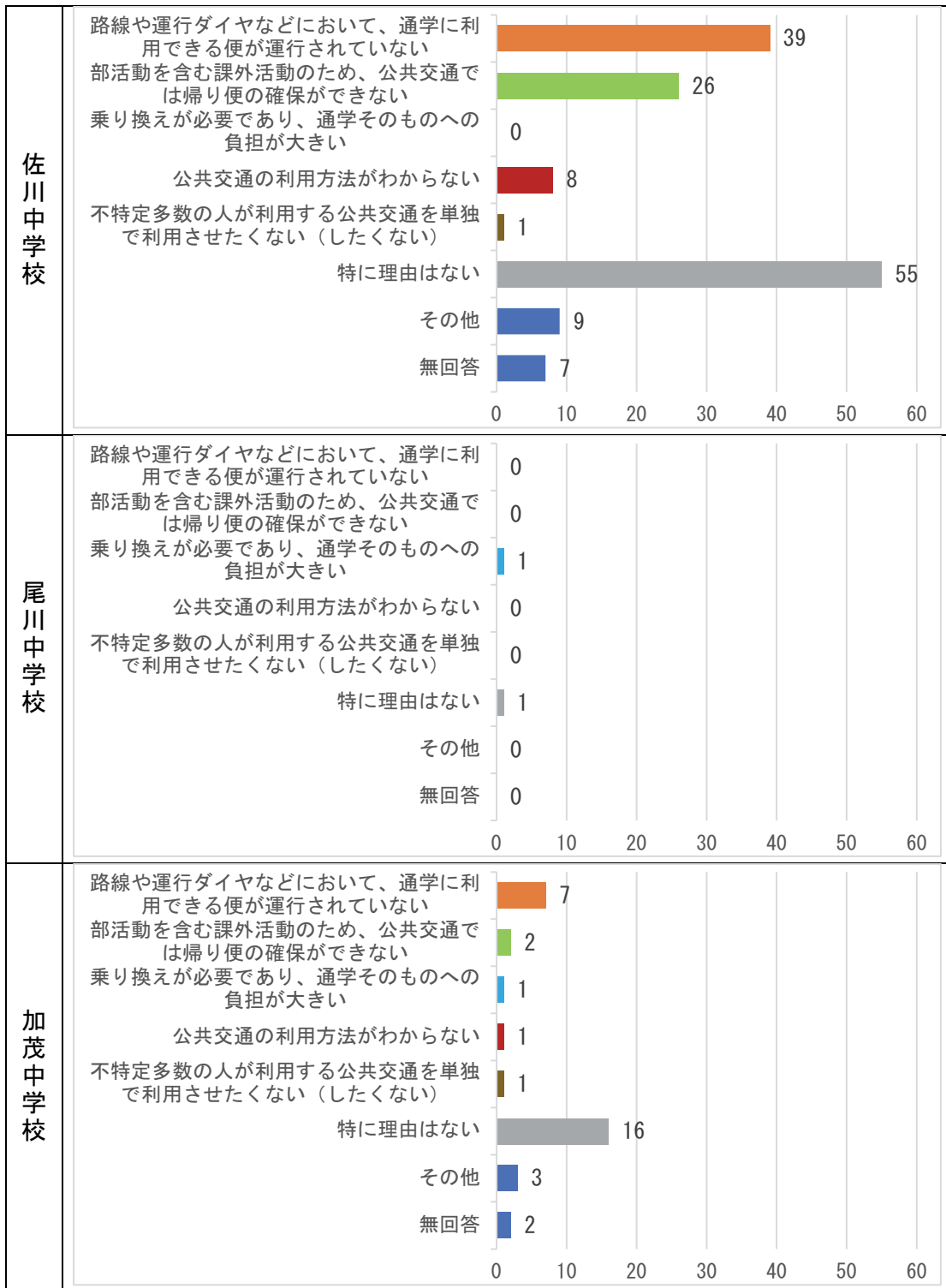
① 小学校





[その他意見] ※ 重複する意見は省略	
[佐川小学校]	
・ 公共交通を利用しなくても通える範囲に学校があるため。 (上郷、富士見町、島ノ土居)	
・ 通学時に利用できるなら、利用させたい。(青去、上郷)	
・ 以前から、通学時に公共交通を利用する事はない。(虎杖野)	
[斗賀野小学校]	
・ 一人で通学することに不安がある。安全とは言えない。(永野)	
・ 徒歩圏内。(二ノ部丁、芝ノ坊、東組)	
・ 田舎なので不便。(角口)	
・ 鉄道など、小学校低学年など一人で利用は危ない。(鉢ヶ森)	
[尾川小学校]	
・ 家から学校間の距離が近い。(堂野々)	
・ 運行ダイヤを覚えておらず、思いつかなかった。(中村)	
[黒岩小学校]	
・ 送迎ができる家族がいるので、考えた事がない。(庄田)	
・ 低学年とまだ幼く心配なため。(富士見町)	
[加茂小学校]	
・ 歩いての登下校を学校も進めているため。(本村西)	
・ 家から学校までが近所なので必要ない。(弘岡)	

② 中学校



〔その他意見〕 ※ 重複する意見は省略

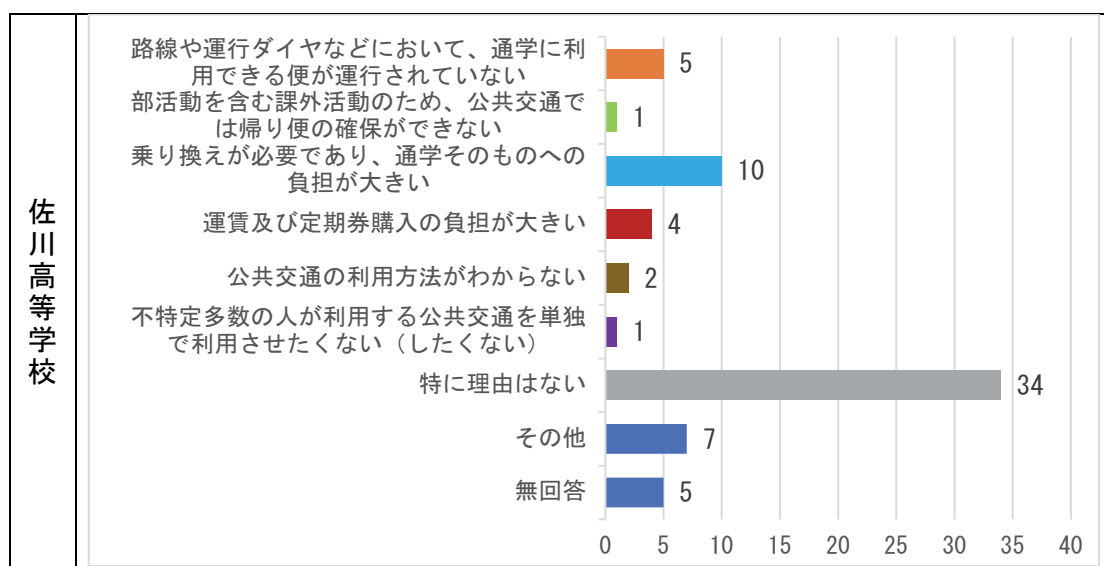
〔佐川中学校〕

- ・スクールバスがあるから。(岬)
- ・自転車通勤できる距離なので、鉄道の場合、学校から駅が遠い。
(上伏尾、中組、岡崎、伏尾団地)
- ・自転車で十分通える。(岡崎)
- ・鉄道に乗るために駅に行くよりは、そのまま学校の方面に行く方が良い。

〔加茂中学校〕

- ・体力づくりのため、徒歩か自転車で通学することが大切と考えるので。
- ・家から学校が近いので必要ない。(弘岡)

③ 高校

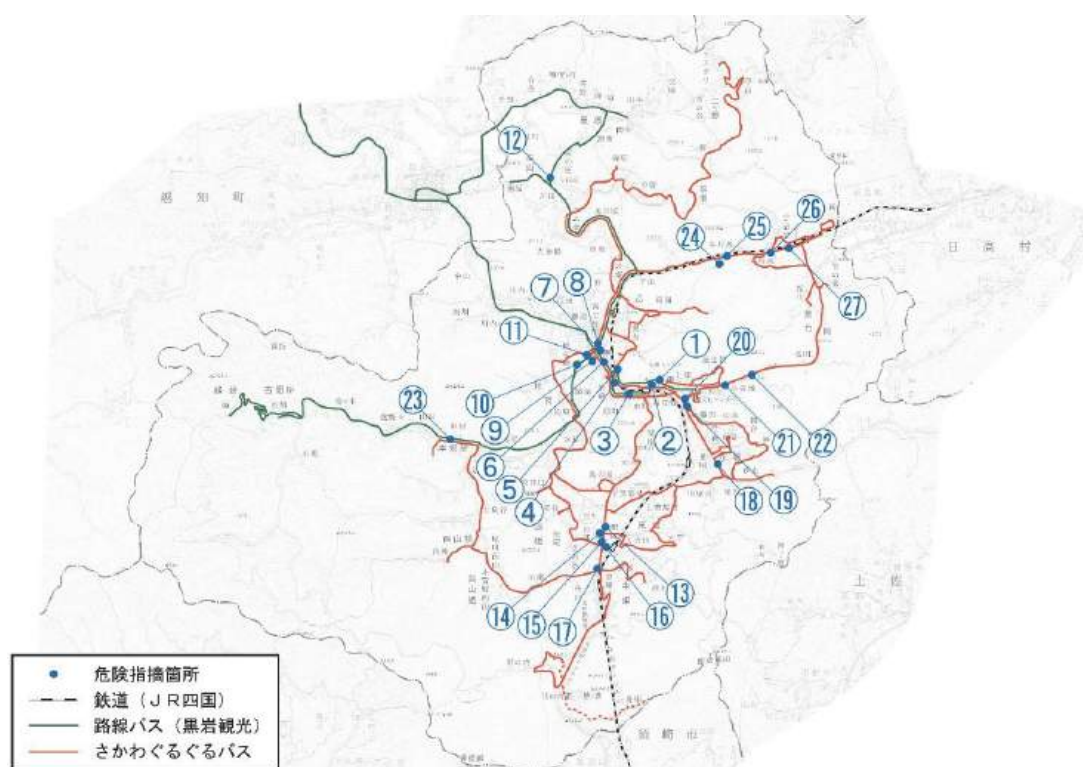


〔その他意見〕 ※ 重複する意見は省略

〔佐川高等学校〕

- ・使える便がない。(永野)
- ・コロナが心配、一駅分しか利用しないから。(日高村九頭)
- ・家を出るのが遅い。(越知町甲)
- ・佐川町内なので、自転車で行ける範囲。(加茂)
- ・近すぎて使う意味がない。(佐川町乙)
- ・兄弟(中学生)の送迎もあり、職場と学校への方向が一緒。
(仁淀川町楮原)

(4) 通学途中に危険を感じたことや、危険だと思われる場所について



表：本町で通学時に危険を感じる例（場所を特定しない例）

対象	危険な内容
町内の道路	・ 全体的に危ない。歩道も整備されておらず何かあったら嫌な為、大変だが送迎している。 ・ 道路が狭く、車との距離が近い。 ・ 歩道が整備されておらず、どの場所も危険を感じる。何かあったらと思うと、歩いて通学させられない。 ・ 街灯が少ないので冬場や、夕方等、部活帰りが心配。 ・ 道幅が狭いうえに、交通量が多く危険。
全域の車	・ 通学路として多くの学生が使っている幅員が狭い通りだが、明らかに法定速度を超える速度で通過していく車。 ・ 高齢ドライバーが多く、反対車線を走行してくる車が2～3台いる。 ・ 信号で、こちらが青になって渡れる時、赤信号側の車が来るときがある。 ・ 細道から急に車が飛び出すところ。

表：本町で通学時に危険を感じる場所とその具体例（図面と対照）

番号	場所	危険な内容
①	地下道	・地下道を出たところで、車と接触しかけた。
②	サンプラザ付近	・サンプラザ佐川店から国道 33 号の橋の付近は、自転車、歩行者がガードレールにより、非常に視界が悪い。特に夏場は草が生い茂っており、非常に危険。道路に注意するよう白線はあるが、街灯の設置等更なる対策が必要。未来ある生徒に万一の事が起こらないよう、早急な対応を望む。 ・サンプラザ付近の川沿いの道。道路を横断する所があるが、夜、雨の日などは特に危ないと思う。
③	土佐街道	・佐川印刷所前のカーブは車がスピードを出しているところを良く見るので危険だと感じた。 ・郵便局周辺～三宮書店、歩道がなく車もスピードを出している為、ヒヤヒヤする。
④	佐川町役場付近	・佐川町役場の歩道。ピンク色の線路の高架下で、前方がよく見えず、向かいから来た自転車と友人の自転車がぶつかったことがある。
⑤	高北病院付近	・登校中、通勤中の車が多いので危ないと思う。近くの T 字路は（踏切近く）信号がない。 ・高北病院前の横断歩道を渡る時、車が見えにくく車もスピードが出ている事が多く、怖い思いを何度もした。
⑥	中本町商店街	・商店街は、歩道と車道の境目が白線しかないため、歩いていて危険を感じる。 ・スピードを出す車も多い事や、曲がり角も多いため、歩いていてすぐそばを車が通り怖く感じる。商店街が車通りも多いしスピードも出しているので危険だと思う。
⑦	サンシャイン佐川 付近	・サンシャイン裏から、三野へ抜ける道で、踏切を U ターンするように曲がる場所があるが、車で通る時脱輪しそうになる。車が子どもの横すれすれを通り、先にあった電柱へ衝突。子どもは車にはねられると思う程怖かった。 ・横断歩道で子どもが止まって手を挙げたのに、ものすごいスピードで通り過ぎて行った車がいって、大変危険を感じた。
⑧	土井鍼灸院から 理容ひうら	・土井鍼灸院から理容ひうらへ出る T 字路の道が狭く、車が見えにくい為、カーブミラーを付けて欲しい。
⑨	五所神社入り口の 交差点	・佐川小学校のプール裏は見通しが悪いので危険。
⑩	若草保育園付近	・歩道がなく、道が狭い。割に交通量も多く飛ばしている車も多い。

番号	場所	危険な内容
⑪	清和病院付近	・ 清和病院への入り口の交差点。 ・ 清和病院～学校プールがある変則十字路まで、朝は清和病院への出勤の車などが多いため、道が狭く危険に感じる。
⑫	宮の原～庄田～馬の原の川沿い	・ 山崩れ地盤崩れ等の水害と古木、石による落石の危険
⑬	斗賀野中央保育園から斗賀野小学校	・ 交通量が多く、飛ばしている車もみかけるので危険と感ずることがある。
⑭	斗賀野駐在所前	・ 子ども達が通る道だが、車がスピード出している時があり、心配過ぎる。ミラーもあるがかなり見づらくて意味ない。 ・ 駐在所前の横断歩道（下校時 16：40～17：10 頃南から北へ）を渡る際、自動車がなかなか止まってくれてないと聞く。信号機の設置は難しいのか。
⑮	斗賀野郵便局前横断歩道	・ 郵便局前の横断歩道。朝は先生が立っていてくれるが下校の時には誰もいないので、飛び出しそうで危険だなと思った。
⑯	斗賀野駅から国道494号へ出る所（国道494号付近）	・ 斗賀野駅から来る車がスピードを落とさず停止線を超えて止まるのでいつも危険だなと感じている。横断歩道があるが、あのスピードのまま来られると止まっても間に合わない時があるのではと怖い時がある。看板もあり左右とも見通しが悪い。
⑰	たんぽぽの家公園付近横断歩道	・ たんぽぽ公園の手前にある横断歩道は、滅多に車が止まってくれず危険（信号のない横断歩道の手前になければならない道路標示のひし形が消えかけている）。 ・ たんぽぽ公園から横断歩道を渡る時、スピードを出している車がある。
⑱	春日川沿い	・ 春日川沿いの県道302号のカーブ（役場東）のところが、通学、通勤時に歩道が狭い為、事故が起こりそうだと思うことがある。 ・ 春日川沿いの歩道に砂利があり、自転車で転倒し怪我をした。
⑲	マルナカ佐川店付近	・ 斗賀野から通う子どもがマルナカ付近で横断する時、飛び出す子がいるので怖い。 ・ 襟野々駅の踏切からマルナカまで街灯が一つもなく危険を感じた。マルナカ前の橋がある交差点の周りに河川から木が茂って見通しが悪い。
⑳	佐川町テニスコート付近	・ テニスコートと広場の間にある道。自転車が並列で通行するのと見通しも悪いので事故が起きそう。

番号	場所	危険な内容
⑪	ローソン佐川町東店 付近	・佐川東ローソンの前の横断歩道を横断する時。交通量が多く、コンビニや T 字路の出入りも多いため、なかなか止まってもらえない。通学だけでなく遊びに行く時なども危険を感じる。
⑫	霧生関トンネル	・トンネルの歩道が狭いこと。
⑬	尾川中央保育園から 尾川小中学校	・保育園付近から学校までの間が危険だと思う。
⑭	本村西旧道	・本村西の旧道の歩道が狭い。街灯が暗いし、少ない。 ・本村西の新道路ではない、旧道の歩道が狭く、子どもが歩くとき危ない。街頭が少なく暗い。
⑮	本村西県道 297 号	・県道 297 号は車が猛スピードで通る事がある。 ・本村西から新しくできた道までの道がとにかく狭い。車も譲り合わなければいけない道なのに、スピードを落とさない車も多く、とても心配している。
⑯	こじゃんとはたら来 家さかわ	・本村の「こじゃんとはたら来家さかわ」近くの前の道路を横断する時。スピードを出す車も多いし、横断歩道もないので不安。工事中の所の道路、子ども達と車の距離が近くなるので心配。早く歩道を作って欲しい。
⑰	加茂駅西の工事現場	・加茂駅を少し西へ行った所が工事のため、子どものためにも早く工事を進めてほしい。危険。 ・加茂駅から佐川方面のところで工事をしている。そこで大きな穴を掘っているが、コーンだけの対処で心もとない。

写真：⑦サンシャイン佐川付近



写真：⑱マルナカ佐川店付近



第3節：地区別意見交換の実施より

1. 地区別意見交換の実施概要

(1) 実施方法

車の運転免許証返納を検討中であったり、既に返納している特に高齢者が集まる場（あったかふれあいサロン、いきいき百歳体操など）に足を運び、公共交通利用の現状や近い将来の公共交通網に対する要望や意見などを直接伺った。

(2) 実施地区

次の17地区にて実施した。



日時	地区	会場	参加者数
10月18日	平野	平野公民館	6人
10月19日	庄田	庄田公民館	5人
10月19日	柳瀬	柳瀬公民館	9人
10月20日	本村西	加茂本村西公会堂	5人
10月21日	砂止	永野南組公会堂	4人
10月29日	堂野々	堂野々集会所	5人
11月2日	横山	横山公民館	3人
11月2日	荷稻	荷稻小富士集会所	8人
11月4日	埴生ノ川	埴生ノ川公民館	4人
11月5日	弘岡	弘岡公民館	6人
11月7日	狩場・角口	狩場・角口公民館	7人
11月10日	鳥の巣	鳥の巣公民館	5人
11月10日	紫園	紫園公民館	5人
11月10日	上伏尾	上伏尾公民館	4人
12月9日	岩井口	岩井口公民館	5人
12月9日	山瀬	山瀬公民館	3人
12月10日	川内ヶ谷	川内ヶ谷公民館	6人

2. 地区別意見交換の結果

平野地区	■ 日常の移動について ・黒岩観光の路線バスに生活を支えてもらっている。本当に感謝している。 ・越知に買い物に行った際、帰り便が合わなくて困る。 ・台住や場所ヶ内地区の上の方に暮らしている人たちは、車の運転ができなくなると生活が大変である。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・大田川や台住、場所ヶ内といった公共交通を使いづらい集落に対する支援策を検討してもらいたい。 ・可能であれば、越知での滞在が 60 分程度で済むように黒岩線のダイヤ改正をお願いしたい。
庄田地区	■ 日常の移動について ・買い物や病院は越知に行っている。越知の商店街には専門店が残っており、買い物しやすい。 ・越知に買い物に行くのは路線バスだが、帰り便まで待つことができず、帰りはタクシーになる。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・庄田大奈路地区には 3 軒ほど路線バスやさかわぐるぐるバスから遠く離れている集落がある。今のところは家族（全員高齢者）の運転などでぎりぎり生活を維持しているが、近い将来公共の輸送サービスを要望したい。 ・黒岩観光の路線バスに生活を支えてもらっている。運行をぜひとも維持して欲しい。
柳瀬地区	■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・近い将来には、柳瀬のバス停まで歩いて行くこともできなくなる。せめてホームセンター内までさかわぐるぐるバスに来てもらいたい。
本村西地区	■ 日常の移動について ・さかわぐるぐるバスは曜日が限定されていることが、初めて利用する人にとってネックになっているのではないかな。 ・買い物袋を下げてバス停から家まで帰れるか不安がある。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・バス車内に地域の路線図があると、降車する場所の確認につながり安心できる。 ・利用の多い中心部のバス停（高北病院や量販店など）に中心部ぐるぐる線のみ拡大した路線図が掲示されていると、ちょっとした移動などに利用しやすい。 ・時刻表冊子の字が小さく、薄い。もっと見やすくして欲しい。 ・加茂・荷稻線の 2 便目と 3 便目の間が空きすぎている。もう少し短く調整できないかな。

砂止地区	■ 日常の移動について ・友人たちと町民プールに定期的に行っている。さかわぐるぐるバスでは時間が合わないし、友人たちとの都合もあるので時間を変更する予定もない。 ・砂止の上までさかわぐるぐるバスが運行してくれるようになったが、地区の人で使っている人はいないのではないかな。 ・日頃から自分で車を運転しているため、さかわぐるぐるバスが週に1日だけの運行であることすら知らなかった。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・外出したい時に自由に使える公共交通であって欲しい。 ・新しくできる道の駅には行ってみたい。さかわぐるぐるバスで休日にのんびり出かけられるようにして欲しい。 ・近い将来には車を利用できなくなる不安はある。そのために今の元気な内に今ある公共交通に乗って慣れておかなければならないと気付かされた。
堂野々地区	■ 日常の移動について ・日常の移動には車がないと自由がきかないと感じる。 ・買い物での町中心部での滞在時間はだいたい60分あればほとんどの用事は済ませられる。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・路線バスの運賃は安いほどいいが、まずは回数券を発行してもらいたい。 ・峰線の影響で尾川線の金曜日ダイヤが早くなり、中心部での滞在時間が短くなり利用しづらくなった。使い勝手が悪いので元に戻して欲しい。利用者も減ったのではないかな。 ・尾川線の午前10時の便が鉄道の高知行きと合わなくなっている。鉄道に接続できるように戻して欲しい。 ・黒岩観光の路線バスが今後も運行を継続してもらえるように、そろそろ利用してみようと考えている。
横山地区	■ 日常の移動について ・加茂の里の移動支援を利用して通院している人がある。帰りは買い物をしてタクシーを利用。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・病院の後の薬局で時間がかかり、その間にぐるぐるバスが行ってしまうことがある。病院や薬局での時間短縮をなんとかできないものかな。 ・さかわぐるぐるバスの郊外線も100円にして欲しい。 ・さかわぐるぐるバスは、高北病院やサンシャインなど利用者の多いところを出発する際は、一度停車して建物から慌てて出てくるような利用者がいないか確認をして欲しい。 ・さかわぐるぐるバスの乗務員に、挨拶など話し掛けても何も返してこない人や高齢者に対して言い方がきつい人がある。

荷稻地区	■ 日常の移動について ・ さかわぐるぐるバスは買い物には利用できるが、病院は終わる時間が読めないので最初から利用を諦めている。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・ さかわぐるぐるバスは、週に 1 日だけの運行では厳しい。病院に合わない。せめて週に 2 日の運行にしてもらいたい。 ・ 健常者も将来に備えて公共交通によるおでかけを企画して欲しい。自分たちでは最初のきっかけがなくて踏み出せない。 ・ 以前はいろいろな集まりやイベントを行っていたが、コロナ禍になって以降、自然消滅した感じとなっている。
埴生ノ川地区	■ 日常の移動について ・ 基本的におでかけは車を使っており現状では困っていない。しかし高齢になり、運転免許の返納を考える時期になってきた。まさかこんなことを考える時がくるとは思わなかった。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・ 日頃車を使っているせいもあるが、おでかけしたい時に、行きたいように行ける公共交通でないと不便を感じると思う。 ・ さかわぐるぐるバスに試しに乗った時、薄木地区など、普段行かない場所できれいな風景を見られてとても良かった。
弘岡地区	■ 日常の移動について ・ さかわぐるぐるバスは通院には使いづらい。行きは使えても帰り便が合うか合わないかは日によって違う。 ・ 外出時の帰りの便は、そのときの時間などによって、鉄道やさかわぐるぐるバス、タクシーを選んで使い分けている。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・ 火曜日の本村線だけでなく、水曜日の加茂・荷稻線も弘岡の上を運行して欲しい。 ・ 町民プールに行っているが、さかわぐるぐるバスでは 1 回乗り換えが必要であり、運賃も 2 回支払うことになる。 ・ 火曜日の本村線でもサンプラザに行けるようにして欲しい。リッチには他で買えないものが売られており、需要がある。 ・ さかわぐるぐるバスが高北病院を出発する前に、乗務員からひと声掛けてもらうことはできないものか。
狩場・角口地区	■ 日常の移動について ・ 車を利用できる参加者は、数年後の移動手段確保が不安。 ・ さかわぐるぐるバス車内での他の利用者との会話が楽しい。 ・ あったかふれあいセンターの送迎を利用することができる。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・ サンプラザに直接行けるようにして欲しい。リッチに買い物に行きたいが、佐川駅の跨線橋を渡るのは難しい。 ・ さかわぐるぐるバスの乗務員がとても優しい。荷物の上げ下ろしに運転席から降りて来てくれる。 ・ さかわぐるぐるバスで出かけたときの滞在時間などは、今のままで上等。これ以上の贅沢は言えない。継続して欲しい。

鳥の巣地区	■ 日常の移動について ・参加者の大半が、5 年後に今の車の利用（家族の送迎も含めて）が継続できるか不安を抱えている。 ・さかわぐるぐるバスは買い物をして帰るまでの町中心部滞在時間が 60 分程度というのがとてもいい。 ・あったかふれあいセンターひまわりで買い物をしている。 ・さかわぐるぐるバスは自動車運転免許証を返納した人がよく利用している。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・サンプラザの特にホームセンターリッチに直接行ける便が欲しい。乗り換え無しで行けるようにして欲しい。 ・さかわぐるぐるバスの重要性は理解しているが、乗ったことがないためなんとなく利用に踏み切れない。行政や地区でさかわぐるぐるバスを体験するようなイベントがあったり、知人が一緒に乗る機会があれば利用してみようと思う。 ・さかわぐるぐるバスがあるので、運転免許証を返納しても安心して暮らしを続けられる。運行を継続してもらいたい。
紫園地区	■ 日常の移動について ・さかわぐるぐるバスはあまり利用されていないのではないかと。この地区では男性がひとり定期的に利用している。 ・ゆっくり買い物しても滞在時間は 60 分あれば十分である。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・郊外線とはいえ、ここから中心部まで片道 200 円は高い。 ・紫園の住宅が集まっているところに停留所を設けて欲しい。 ・これまで車が中心であったため、思いついた時に好きなように出かけていた。この考え方を変えないといけないということに気付かされた。 ・時刻表冊子の見方がわからなかった。実際に冊子を見ながら教えてもらおうと、利用しやすくなる。
上伏尾地区	■ 日常の移動について ・全員が、5 年後の移動手段確保には不安を感じている。 ・さかわぐるぐるバスの乗務員がとても優しい。 ・毎週さかわぐるぐるバスを利用して出かけている。困ったことは一度もない。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・週に 2 回の運行にして、片方は町中心部の運行経路をサンプラザ回りになるような路線を検討してもらいたい。 ・新しくできる道の駅にも行けるようにして欲しい。 ・今後は高齢者がさらに増え、さかわぐるぐるバス利用者が増えるだろう。そうすると週に 1 日の運行では利用できない人が出てくるのではないかと。その対策を考えて欲しい。 ・シルバーカーや買い物をした袋などを置く場所が無く、満席になった時など困る。荷物置き場を確保して欲しい。 ・さかわぐるぐるバス車内でのおしゃべりがとても楽しい。 ・上伏尾地区は停留所が近くて助かっているが、地区の南側（上伏尾公民館付近）の人は少し歩かなければならない。

岩井口地区	■ 日常の移動について ・この地区でこれまで日常的にさかわぐるぐるバスを利用して いた人がいなくなった。 ・通院送迎してくれるので、越知町の病院に通っている。 ・やっぱり車が便利である。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・この機会に、将来に備えて公共交通に対する意識を変えない といけなと感じた。まずは地区のみんなで気軽なおでかけ をしてみようと思う。 ・町の中心部に、帰りの便を座って、暖かく待つことができる 場所が欲しい。
山瀬地区	■ 日常の移動について ・さかわぐるぐるバスは、週に 1 日だけの運行で利用価値がな い。せめて週に 2 日は運行してもらいたい。 ・地区内にとくし丸が来てくれているので助かっている。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・中本町では、帰りの便を待つために時間を潰すことができる 場所が無くなった。食事をするお店もない。 ・さかわぐるぐるバスを利用している人には、本当にありがた い乗り物であるが、せめて週に 2 日運行にして欲しい。 ・乗務員に降車場所を伝えても、返事をしてくれない人がお り、伝わったかどうか不安になる。とても愛想のいい乗務員 もいる。
川内ヶ谷地区	■ 日常の移動について ・近々車の運転を止めようと考えている。しかしその後は国道 まで徒歩で出て路線バスを利用することになるが、距離から 考えてとても大変である。 ■ 今後の公共交通網に対する意見や要望 ・3 年後には、地区内の高齢者の多くは車に乗れなくなると不 安を抱えている。 ・ぜひとも地区内にさかわぐるぐるバスの新しい路線を走らせ て欲しい。週に 1 日の運行となっても、バスが地区内に運行 してくれるようになったら、本当にたすかる。 ・車に乗れる人も含め、皆で楽しみのために出かけたりして、 独自に利用促進していくので地区内へのさかわぐるぐるバス の乗り入れをお願いしたい。

第4節：関係者ヒアリングの実施より

1. 関係者ヒアリングの実施概要

(1) 実施方法

移動の目的となる集客施設や病院、交通事業者などに直接聞き取り調査を実施した。

(2) 実施対象

次の集客施設や交通事業者などを対象として関係者ヒアリングを実施した。

表：関係者ヒアリングを実施した対象

分野	施設名称	備考
交通事業者	J R 四国高知企画部	
	黒岩観光	
	近藤ハイヤー	
	しまさきハイヤー	
	佐川明神観光ハイヤー	
	介護タクシーサービス望	
	きりう介護タクシー	
商業施設	マルナカ佐川店	
	サンプラザ佐川店	
	サンシャイン佐川店	
病院施設	佐川町立高北国民健康保険病院	
集落活動センター	集落活動センターくろいわ	黒岩地区
	とかの集落活動センターあおぞら	斗賀野地区
	集落活動センターたいこ岩	尾川地区
	集落活動センター加茂の里	加茂地区
近隣自治体	越知町・仁淀川町	合同開催

2. 関係者ヒアリングの結果

交通事業者

J R 四国 高知企画部	■ 地域公共交通との連携について ・鉄道とバスのダイヤ改正時期がずれていることで、冊子による共通時刻表の制作ができていない。また、ダイヤ接続していてもそれができなくなる期間が生じることにもつながる。なんとかできないものだろうか。 ・鉄道のダイヤが確定するのがだいたい 1 月下旬頃となる。なんとかダイヤ改正時期を合わせる方向で調整していただきたい。 ・企画切符の発行などで佐川町の観光を支えることにつなげたいが、最低でも 200 枚は販売できないといけない。
-----------------	--

交通事業者（つづき）

黒岩観光 （路線バス）	■ 利用者の傾向 ・ さかわぐるぐるバスと合わせて運行を開始した峰地区、楠原地区、山本地区は、現在では利用者がほとんどいない。 ■ 運営について ・ 尾川線と黒岩線は 1 日 1 仕業、広域線は 3 仕業で運行している。 ・ 乗務員は沿線の利用者のことをよく知っている。 ■ 今後について ・ 乗務員の確保が大きな課題となっている。会社として大切にしたいことが乗務員を地元で雇用すること。 ・ 黒岩線と尾川線については、赤字にさえならなければ生活交通路線として継続させていきたい。 ・ 現在はフリー乗降可能としていない。さかわぐるぐるバスの影響により、利用者から要望が出されている。今後は乗務員とも話し合い、どうするか考えていきたい。
近藤ハイヤー （タクシー）	■ 基本データ ・ 電話受付時間 8:00～24:00 ・ 乗務員数：社長含めて 3 人 ・ 稼働車両数：3 台 ■ 利用者の傾向 ・ 利用者が亡くなったりして減少傾向にある。 ・ 新型コロナウイルスを警戒して外出を控えていることで、逆に身体が弱り、亡くなっていくという悪循環に陥っている。その結果としてタクシーの利用者が減少していると考える。 ■ 今後について ・ 若い乗務員を雇い入れたいと考えるが、現状の給料では申し訳なく、結果として新たな雇用にはつながっていない。
しまさき ハイヤー （タクシー）	■ 基本データ ・ 電話受付時間 8:00～23:00（365 日営業） ・ 乗務員数：2 人 ・ 稼働車両数：3 台あるが内 2 台が稼働 ■ 利用者の傾向 ・ コロナ禍で売上げは半減している。夜の利用が無くなった。 ・ 午前中の稼働率が高い。特に年金支給日は依頼が多い。午後になると稼働率はぐっと下がる。 ■ 今後について ・ 高齢者へのタクシーチケット配布には賛成であり、利用条件を厳しくするべきではないと考える。 ■ さかわぐるぐるバスについて ・ 運行曜日を増やすのは、乗務員にとっても仕事が増えることになるので歓迎である。

交通事業者（つづき）

佐川明神観光 ハイヤー (タクシー)	■ 基本データ ・電話受付時間 7:00～24:00（365 日営業） ・乗務員数：3 人 ・稼働車両数：3 台あるが 3 台が常に稼働はしていない ■ 利用者の傾向 ・高齢者が主な利用者となっており、午前中の利用が多い。午後には稼働率が下がり、夜はさっぱりな状況となっている。 ・コロナ禍で利用がかなり落ち込んだが、稼働車両を減らして対応し、1 台当たりの売り上げに大きな変化はない。 ■ 今後について ・乗務員確保が厳しい。 ・高齢者向けタクシーチケットの導入は、予約があれば午前中でも対応は可能と考える。チケット利用者の予約は前日までとした方が良いと考える。
介護タクシー サービス望 (介護タクシー)	■ 基本データ ・乗務員数及び車両数：1 人・1 台で対応 ■ 利用者の傾向 ・特に変化は見られない。 ・高齢者と障がい者を、遠い場合は高知市内の医療機関まで輸送している。 ■ 今後について ・介護タクシーなので障がい者に見えない人を運ぶ時に困惑する場合がある。本人確認もできない。一方で通報されることもあり困る。
きりう介護 タクシー (介護タクシー)	■ 基本データ ・電話受付時間 8:00～18:00 ・乗務員数：2 人 ・稼働車両数：3 台あるが内 1 台は予備車両 ■ 利用者の傾向 ・利用者はほぼ高齢者か障がいのある人である。 ・3/4 が町内の移動、残る 1/4 は高知市内の大きな病院が平均的な行き先となっている。 ・買い物に利用される場合もある。 ・利用者が 9 時～10 時頃に集中してしまう。 ・利用者からは「もっと気軽におでかけしたい」「行き先が病院しかない」などと言われている。 ■ 今後について ・町の広報紙に掲載するなど、このような移動サービスがあることを周知して欲しい。 ・午後にも利用がばらけてもらえるといい。 ・福祉タクシーチケットが高齢者でも使えるようになったらいいと思う。

商業施設

マルナカ 佐川店	■ 基本データ ・ 営業時間 9:00～22:00 ■ 来店者の動向 ・ 来店者の店内滞在時間は 30 分～60 分程度。高齢になるほど長くなる傾向がある。 ・ 高齢者が増えており、逆に若年層は減っている。店内にイスを設置したり、虫眼鏡付きカートを配置したりしている。 ■ 来店者の移動手段 ・ 車での来店が主体。 ・ さかわぐるぐるバスでは、買い物の滞在時間と合わないと言われるが、来店手段として使ってくれている人はいる。 ・ さかわぐるぐるバスと連携した取り組みは可能。実施内容等協議したい。まずは停車位置を明確にしたい。 ・ タクシー利用の割引サービスを実現してあげて欲しい。
サンプラザ 佐川店	■ 基本データ ・ 営業時間 9:00～20:00（1 月 1 日以外営業） ■ 来店者の動向 ・ 帰りにタクシーを利用する高齢者が増加している。 ・ 地域の高齢者は午前中に来店して買い物を済ませる傾向にある。また、越知町や仁淀川町の消費者は仕事帰りに立ち寄っている。 ■ 来店者の移動手段 ・ 車での来店が主体。
サンシャイン 佐川店	■ 基本データ ・ 営業時間 9:00～20:00（1 月 1 日・2 日以外営業） ■ 来店者の動向 ・ 帰りにさかわぐるぐるバスを待つ人が店舗出入り口前にあった喫茶コーナーを使っていたが、コロナ禍のため喫茶コーナーをなくしたため快適に待てる場所が無くなっている。 ■ 来店者の移動手段 ・ 車での来店が主体。さかわぐるぐるバスや黒岩観光の路線バスでの来店も見られる。 ・ 店舗でプロジェクトチームを立ち上げ、地域との様々な連携を模索している。企画力のある人員が揃っている。 ・ 高齢者の買い物輸送などに取り組んでみたいと考えている。

病院施設

佐川町立 高北国民健康 保険病院	■ 基本データ ・受付時間 月～金 8:30～12:00、13:30～17:15 土 8:30 から 12:00 日曜祝日は休診 ■ 利用者について ・さかわぐるぐるバスは全ての路線が病院敷地内に乗り入れている。利用する人が相当数いる。 ・郊外線が週に 1 日の運行となっており、利用が厳しい人もいる。 ■ 公共交通との連携について ・主要な施設では、1 分程停止して利用の確認をして欲しい。 ・「バスがまもなく到着」といった、非常にシンプルな案内表示ができないものか。 ・会計等でバスで来ている人に対しては、常識の範囲内でバスに間に合うよう対応している。 ・黒岩と尾川の診療所と本院をつなぐ黒岩観光の路線バスと連携したい。 ・院内の会計付近にさかわぐるぐるバスと路線バスの時刻表をわかりやすく、大きく掲示することは可能。 ・バス停まで出られない人に対する支援が必要と考える。
---------------------------------	---

集落活動センター

集落活動 センター くろいわ	■ あったかふれあいセンター事業 (あったかふれあいセンターくろいわ) オープン時間 平日 9:00～16:00 (祝日は休み) ・いきいき百歳体操をしたりして、集まった人で楽しく過ごしている。 ・平均して 5～6 人が常時参加してくれている。 ・送迎にスタッフが 3 人ほど携わっている。 ■ 地域の移動手段確保について ・ここの送迎スタッフが周辺部の集落からセンターまで運び、ここからは黒岩観光の路線バスに乗り換えてもらう方法については、送迎スタッフの増員など課題がたくさんあるが、検討する価値はあると考える。進めてみたい。 ・タクシーチケットを高齢者も使えるようにしたらどうか。 ・月曜に徳弘ととくし丸、火曜にこだや、木曜にセブンイレブン、金曜にサンプラザがそれぞれ移動販売に来てくれている。 ■ 他の事業 ・研修会などの貸し館事業 ・地域の集まり ・敬老会や運動会、ウォーキングイベント、文化祭など ・以前はモーニングサービスやかき氷もやっていたが、コロナ禍以降は実施していない。
-------------------------------	--

集落活動センター（つづき）

とかの 集落活動 センター あおぞら	■ あったかふれあいセンター事業 （あったかふれあいセンターとかの） オープン時間 平日 9:00～16:00（祝日は休み） ・送迎に 3 台の車両がフル稼働している。最近では 3 台でも足りないと感じる時がある。 ■ 地域の移動手段確保について ・既にあったかふれあいセンター事業による送迎でここまで来て、さかわぐるぐるバスに乗り換える移動のかたちができあがっている。 ・徒歩でここまで来て、さかわぐるぐるバスに乗り継ぐケースもある。 ・今後もここを斗賀野地区のハブとして移動手段を構築していくには、さらに送迎用に人を雇用する必要があると考える。 ・軽四車両によるデマンド運行など、この地区ではニーズがあると考ええる。
集落活動 センター たいこ岩	■ あったかふれあいセンター事業 （あったかふれあいセンターひまわり） オープン時間 平日 9:00～16:00（祝日は休み） ・集い事業は主に月火金曜に開催し、利用者は多くて 10 人程度。 ・送迎用車両は 1 台。 ■ 地域の移動手段確保について ・さかわぐるぐるバスの西山線がたいこ岩を終点としているが、利用者はほぼいない状況である。 ・黒岩観光の路線バスが、峰線となる金曜日に運行時間が変わってしまうため、特に高齢の利用者が混乱している。また、その日は運賃が安くなるため、利用が集中して下の方では乗れない人がでている。 ■ 他の事業 ・生活支援として、買い物代行や買い物同行（希望するスーパーに同行）なども行っている。 ・草刈りなども行っているが、イベント的な事業はコロナ禍の影響で全て休止している。

集落活動センター（つづき）

集落活動センター 加茂の里	■ あったかふれあいセンター事業 (あったかふれあいセンター加茂の里) オープン時間 平日 9:00～16:00 (祝日は休み) ・利用者用の送迎は2人が2台を使って行っている。 ・10～15人程度が送迎を利用している。 ■ 地域の移動手段確保について ・子どもたちに公共交通を使った買い物体験イベントを行ったことがある。地区を対象としたバス乗り方教室などをやってもらいたい。 ・火曜日にサンプラザの移動販売が来てくれている。 ■ 他の事業 ・バイカオウレンを見るウォーキングイベントや敬老会など、季節毎に趣向を変えたり、地区で受け継がれている伝統を素材としたイベントを行っている。 ・月に1回、地区の人が集まれる居酒屋イベントを行ったり、7月には大文字焼きを見ながらのビアガーデンを行ったりしていたが、これらはコロナ禍の影響で休止している。 ・お惣菜を作って販売しており、好評である。できれば続けていきたい。
--------------------------	---

近隣自治体

越知町・仁淀川町	■ 公共交通の現状について ・越知町内のバスは、全て事業委託としている。 ・佐川からやってくる黒岩観光の黒岩線について、帰り便まで越知駅の待合スペースを活用してもらえんといひ。 ・越知町の桐見川奥の竜王公園バス停に、コミュニティの場にもなるようにバス停建屋を整備した。整備費用は200万円(県が1/2補助)であったが、地元には好評である。 ■ 公共交通網の今後について ・黒岩観光の路線バスを幹線と位置付けている自治体(佐川町、越知町、仁淀川町)で、運行ダイヤや付帯サービスについて、細やかに協議を行っていかなければならない。ブロック会をその協議の場として今より積極的に活用していくこととする。 ・毎年11月にブロック会を開催し、次年度の予算見込み等について情報共有し、サービスなどについても協議を行っていくこととする。 ・新しいサービスとして、バスロケーションシステムの導入なども検討していきたい。 ・観光シーズンに詳細な沿線の催し情報などを収集し、バス利用のきっかけにつながるような仕掛けを行っていこう。
-----------------	---

第3章：前提条件の整理

第1節：現状の整理

第2節：佐川町地域公共交通網形成計画の検証

第3節：上位計画及び関連計画の整理

第4節：課題として整理

第 1 節：現状の整理

1. 町の現況より

① 人口の減少と高齢化の進行

- ・町住民基本台帳より、令和 4 年 3 月末時点の人口が 12,334 人で、10 年前と比較して 1,662 人減少している。また、高齢化率は 10 年前が 32.7%であったものが令和 4 年 3 月末時点で 40.3%となっており、町全体で高齢化が進行している。
- ・独居を含め高齢者のみの世帯が合わせて 1,886 世帯（全世帯の約 4 割）となっており、近い将来への備えが必要である。

② 主要施設が町中心部に集積している

- ・量販店や病院施設、主要な公共施設などが町中心部に集積しており、生活の維持に必要な外出は町内でほぼ完結している。しかし周辺部に暮らす人々は、町中心部まで移動が不可欠である。特に佐川地区以外の 4 地区には量販店がない。
- ・佐川駅から佐川高校までの約 1.5 k m の区間に、量販店や病院などの様々な集客施設が立地しているが、施設間を徒歩で移動するのは特に高齢者には負担が大きい。

2. 移動手段確保の視点より

① 公共交通が使いづらい地区が存在している

- ・例として、黒岩地区の台住や場所ヶ内といった集落では、黒岩観光の路線バスから直線距離では遠く離れていないものの、高低差があるためバスが利用しづらくなっている。このような実際には公共交通が使いづらい場所が存在している。

② 乗合旅客輸送が使いづらい人への対応

- ・バスの利用が難しくなった人が、安価に利用できる移動手段が存在していない。
- ・さかわぐるぐるバスの郊外線は、路線ごとに曜日を限定して週に 1 日運行していることから、病院の診療科目などと曜日が合わず利用しづらい例が見られる。

③ 鉄道とバスの接続

- ・鉄道のダイヤ改正と、さかわぐるぐるバスを含むバスのダイヤ改正の時期が異なるため、一部の便では鉄道とバスの接続ができなくなっている。

④ 公共交通に関する情報発信

- ・町内の公共交通情報がワンストップで入手できる冊子やホームページが整備されていない。また、悪天候などによるバスの運休情報は、あらかじめ登録する町の LINE や防災無線などで発信されるが、来訪者にはわかりづらい。

⑤ さかわぐるぐるバスの運賃

- ・運賃が郊外線は 200 円、中心部ぐるぐる線は 100 円となっており、同一区間でも運賃が異なるため利用者にとってわかりづらく、不満も寄せられている。

⑥ さかわぐるぐるバスの路線再編

- ・毎年のように再編を行い、利便性を向上してきたが、加茂・荷稻線はこれ以上の再編（運行距離の延伸）が厳しいほど運行時間が長くなっている。

⑦ タクシー事業の継続

- ・町内のタクシー事業者は、乗務員の高齢化やコロナ禍による売上げ減少により先行きに不安を抱えている。

⑧ 保護者送迎による通学

- ・晴れの日には徒歩や自転車で通学している子どもたちの一部が、雨の日などには保護者の送迎に転換している。その結果、登校前の短い時間帯に自動車が学校や駅に集中している。

3. 住民や関係者の意識より

① 近い将来の移動手段確保に不安を感じる人が少なくない

- ・高齢になり車の運転が危うくなるなど、生活を維持するための移動手段確保に困窮する人や、近い将来そうなるのではないかと不安を感じている人が少なくない。

② 公共交通利用のきっかけが必要

- ・さかわぐるぐるバスは曜日を限定した運行であることや、路線バスは便数が少ないといった、車の利便性と比較した思い込みから、公共交通の利用を否定する意見が見られる。
- ・バスを利用したことがないことが理由となって、バス利用に踏み出せない人が見受けられる。

③ 特に高齢者は午前中に用事を済ませる傾向にある

- ・高齢者は午前中に通院や買い物を済ませ、午後は自宅で過ごす例が多い。
- ・特に午前中に高齢者の移動が集中することで、タクシーが利用しづらい状況となっている。一方でタクシー事業者の午後の稼働率は低くなっている。
- ・さかわぐるぐるバスの利用の多い路線では、1 便目もしくは 2 便目の上りと 3 便目の下りに利用が集中している。利用の多い日には停留所で待っていても乗ることができない事例が発生している。

④ 誤った情報による現状否定が見受けられる

- ・「さかわぐるぐるバスはいつも空で運行している」といった誤った情報が一人歩きする例が見受けられる。

⑤ 公共交通整備に対しては否定的でない

- ・誰もが利用できる公共交通の整備に対して否定的な意見は少ない。

第2節：佐川町地域公共交通網形成計画の検証

1. 「計画の目標」の達成状況

本計画の前期計画となる「佐川町地域公共交通網形成計画（現佐川町地域公共交通計画）」の計画期間における目標ごとの達成状況について検証する。

当初設定した目標ごとの達成状況を次のとおり整理する。

■：達成している ■：一部達成している ■：達成していない

(1) 基本方針1：誰もが利用しやすい公共交通網へ

目標（1）：まちづくりと連携した公共交通網の再整備

事業①：鉄道、地域間交通、町内交通等が連携した路線再編

⇒ 地域間交通に関して、黒岩観光が運行する路線バスの再編に黒岩観光や他の沿線自治体と協働で取り組んでいる。また、町内交通路線としてさかわぐるぐるバスの運行開始につなげ、公共交通ネットワークの構築につながっている。

事業②：地区の特性を踏まえた効率的な公共交通空白地区の解消

⇒ 既存の路線バスに加え、さかわぐるぐるバスの運行開始により、それまで存在していた公共交通空白地区の解消につながっている。しかし、バス停まで遠くなくても、高低差があるためバス停まで移動ができないといった事例が報告されている。

事業③：町中心部を循環する移動手段の配置

⇒ さかわぐるぐるバスの中心部循環線がその役割を担い、平行して郊外線も中心部の主要施設をつなぐ運行を行っている。

達成状況：達成している

さかわぐるぐるバスの運行開始に伴い、町内の公共交通網の大幅な改善につながっている。一方で、日々変化する社会状況の変化（人々の高齢化、集客施設の変化、コロナ禍）を踏まえ、状況に応じた再編や運行そのものの見直しにより、変化する移動ニーズに対応していくことが不可欠である。

目標（2）：福祉交通とも連携した公共交通網の整備

事業①：移動制約者の移動を支援する仕組みづくり

⇒ さかわぐるぐるバスの運行開始により、一定の成果にはつながっているものの、当初想定していたタクシーや介護タクシーを活用した福祉の取り組みには至っていない。

達成状況：達成していない

通常の公共交通網による取り組み以外の施策はほぼ手つかずとなっている。町内の介護タクシー事業が充実しつつある今後は、タクシーや介護タクシーとの連携による新しい移動サービスの検討が求められる。

目標（3）：利用者と地域の特性に合わせた車両導入	
事業①：小型バスの導入およびタクシー車両の活用	⇒ さかわぐるぐるバスの車両の他、黒岩観光の路線バス車両（町内運行路線分）も小型化して地域のニーズに合わせた運行ができています。
達成状況：達成している	県や町からの補助により、地域ニーズに合わせた車両導入ができています。今後も引き続き、車両の状況を見ながら適正な更新が求められる。
目標（4）：乗り換えや待ち時間を快適にする待ち合い所の整備	
事業①：人が集まる場所への待ち合い施設の整備	⇒ 当初の想定による町中心部への待合施設の整備は、既存の量販店がその役割を果たしてくれており、具体的な整備はできていない。また、新たに整備された集落活動センターのあったかふれあいセンター事業による送迎とバスを乗り継ぐ利用が見られるようになっている。
事業②：停留所の利用を快適にする整備	⇒ 量販店や病院施設が、公共交通利用者向けにベンチを設置するなど、自主的な環境整備に取り組んでくれている。また、一部の集落では地区の公共交通利用者向けにベンチを設置している例もある。
達成状況：一部達成している	待合施設や停留所の環境整備については、地区や集客施設任せになってしまった反省を踏まえ、今後の整備を再構築する必要がある。
目標（5）：様々な利用者が必要に応じて入手できる運行情報の整備	
事業①：冊子を活用した町民への情報提供	⇒ 「さかわぐるぐるバスポケット時刻表」を作成して必要な人に配布している。
事業②：停留所における交通関連情報の拡充	⇒ さかわぐるぐるバスの停留所及び黒岩観光の佐川駅と西佐川駅については、路線図と時刻表を合わせて整備できている。
事業③：WEBを活用した情報提供	⇒ さかわぐるぐるバスについては町のホームページにて情報発信を行っているが、時刻表はPDFへのリンクになっている。また、JRや黒岩観光運行情報も合わせた発信はできていない。
達成状況：一部達成している	さかわぐるぐるバスの情報発信はできているが、JRや黒岩観光も含めた町内の全ての公共交通情報のワンストップ化は実現していない。

(2) 基本方針 2 : いつまでも持続する公共交通網へ

目標 (1) : 町民の移動ニーズを的確に把握する取り組み	
事業① : 公共交通利用者を対象とした意見交換会の実施	⇒ 再編を行う際にさかわぐるぐるバス利用者を対象としたアンケート調査を実施した。また、利用者の状況をよく知る乗務員への聞き取りを行い、路線再編に反映している。
事業② : 地区単位による住民との意見交換会の実施	⇒ コロナ禍により地区に入れなかった時期を除き、毎年地区に入って意見交換を行い、その結果を路線再編等に反映できている。
達成状況 : 一部達成している	
公共交通利用者を対象とした意見交換の実施には至っていないものの、アンケート調査や乗務員への聞き取りなどを行って対応している。地区別意見交換は可能な限り実施できている、その結果を路線再編に反映している。また、公共交通利用をためらっている人には、直接公共交通利用の意義やメリットを伝えている。	
目標 (2) : 国や県の施策とリンクした取り組み	
事業① : 公共交通支援施策に関する情報収集および活用する体制の構築	⇒ さかわぐるぐるバスは、国の支援制度を活用して運行しており、その制度を維持するために町が毎年必要な手続きを担っている。
達成状況 : 達成している	
国の支援制度を活用してさかわぐるぐるバスの運行につなげている他、県の支援制度も活用して黒岩観光の路線バス（広域線）の維持につなげることもできている。	
目標 (3) : 町のインフラとして地域で支える公共交通網	
事業① : 地域で支える公共交通網	⇒ 地域の様々な主体が町内の公共交通網の維持に関わることを目指したものであるが、バス停留所のネーミングライツなど町が主体とした取り組みは実現できないままとなっている。
達成状況 : 達成していない	
一部の集落にて、住民が主体となってバス停にベンチを設置したり、あったかふれあいセンターが集落活動センターと連携して地域住民の移動をサポートしたりしてはいるものの、町が主導する取り組みとしては達成していない。	

目標（４）：町内の移動手段としてみんなで活用する意識づくり

事業①：広報紙を通じた意識づくり

⇒ さかわぐるぐるバスの本格運行開始当初は、毎月の利用状況を広報紙で周知していたが、近年は広報紙での情報発信は路線再編のお知らせなどにとどまっている。

事業②：町内における出前講座の実施

⇒ 町内の学校や高齢者の集まりを訪ね、公共交通の利用促進につなげる出前講座の実施はできていない。

事業③：公共の乗り物を身近に感じられるイベントの実施

⇒ 地域のイベントに公共交通利用促進を発信するブース出展を行ったが、コロナ禍の影響もあり継続した取り組みには至っていない。

達成状況：達成していない

コロナ禍の影響もあるが、全体的には実現できていないものが多い。改めて移動の目的となる施設や催しと連携して、公共交通利用のメリットを伝えていく必要がある。

（３）基本方針３：公共交通事業運営体制の再編

目標（１）：それぞれの乗り物の特徴を活かして役割分担できる運営体制の構築

事業①：バス事業者、複数のタクシー事業者、行政による運行体制の構築

⇒ さかわぐるぐるバスは、町が中心となり運行事業者との調整を経て運行やサービスの向上につなげている。黒岩観光の路線バスについても、県や越知町、仁淀川町との協議を通じて路線再編や支援メニューの構築に取り組むことができている。

達成状況：一部達成している

当初想定していた公共交通サービスの一元化にはつながっていないものの、利用者へのサービスや持続した運行を支えるための協議と運営はできていると考える。

目標（２）：利用者が安心・安全を感じられる公共交通網

事業①：安心・安全を感じてもらえるサービスの充実

⇒ 大きな事故も無く運行を継続しているが、当初想定していた乗務員研修や、利用者に対する公共交通利用のマナー向上の取り組み、各マニュアルの作成などには至っていない。

達成状況：達成していない

乗務員からは「利用者がバスの運行中に席を移動して困る」という声が寄せられている一方、利用者からは「一部の乗務員が挨拶してくれない」といった意見も寄せられている。また、緊急時用マニュアルも作成できていないことから、次の計画に引き継ぐべき事項と考える。

2. 前計画の成果に対する評価

前計画の「目標ごとの達成状況」を踏まえ、基本方針ごとに評価を行い次の計画に引き継ぐべき事項を整理する。

基本方針１：誰もが利用しやすい公共交通網へ	
全体評価	コミュニティバス“さかわぐるぐるバス”の運行により、年間1万人弱の移動が支えられている。また、黒岩観光の路線バスの再編や鉄道とのダイヤ接続などを通じて、本町の公共交通ネットワークが充実しつつある。一方で、高低差によりバスが利用しづらい人や移動制約者への新たな移動サービスの検討や、WEBを活用した情報発信などに課題が残っている。
次期計画に引き継ぐべき事項	・変化する移動ニーズに対応する公共交通ネットワーク ・移動制約者でも利用しやすい新しい移動サービスの構築 ・公共交通で使用する車両の更新 ・黒岩観光の路線バス停留所及び掲示物の高度化 ・WEBを通じた公共交通のワンストップ情報発信

基本方針２：いつまでも持続する公共交通網へ	
全体評価	公共交通に関する地区別意見交換などを通じて、移動ニーズを的確に把握し、毎年のように路線再編を行ってきた。また、住民に直接公共交通利用のメリットを伝えることで利用促進にもつながってきた。今後も地域活動の様々な主体や集客施設と連携して利用促進や利便性向上に取り組むことが求められている。
次期計画に引き継ぐべき事項	・住民や公共交通利用者との交流を通じた移動ニーズの把握 ・地道な情報発信による住民の公共交通に対する意識醸成 ・地域活動の主体との連携による利用促進 ・移動の目的となる集客施設との連携による利用促進と利便性向上

基本方針３：公共交通事業運営体制の再編	
全体評価	公共交通ネットワークの運営については、当初想定していた取り組みとは異なるものの、目指していた成果は達成している。今後も引き続き関係者との連携を深め、公共交通の活性化につなげていく。また、今後は災害など緊急時への備えが不可欠である。
次期計画に引き継ぐべき事項	・利用者に対する公共交通利用マナーの周知 ・町内のバス運行事業者とタクシー事業者、介護タクシー事業者との連携推進 ・緊急時を想定した公共交通運行マニュアルの作成

第3節：上位計画及び関連計画の整理

1. 上位計画及び関連する計画

本町の地域公共交通計画を策定するにあたり、上位計画及び関連する計画から関係する事項（公共交通及び移動手段確保に関連）を抽出し、留意事項として整理する。

表：上位計画及び関連する計画等

計画名称	計画の期間
① 第5次佐川町総合計画（2016－2025）	平成28年4月－令和8年3月
② 第2期佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020－2024）	令和2年4月－令和7年3月
③ 佐川町地域公共交通網形成計画	平成28年4月－令和5年3月
④ 佐川町国土強靱化地域計画	平成30年4月－令和5年3月
⑤ 第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画	令和3年4月－令和6年3月
⑥ 第2期 佐川町子ども・子育て支援事業計画	令和2年4月－令和7年3月
⑦ まきのさんの道の駅・佐川 整備	令和5年竣工予定
⑧ 佐川町新文化拠点整備	令和6年竣工予定

※ ⑦及び⑧は施設整備

2. 各計画における地域公共交通計画に留意すべき事項

本町の地域公共交通計画を策定するにあたり、上位計画及び関連する計画に相当するものを抽出し、その留意事項を計画策定に引き継ぐべく整理する。

① 第5次佐川町総合計画（2016－2025）

向こう10年間の佐川町の行政施策の指針としてとりまとめた計画。

「施策37 地域の実情に即した公共交通の確立と維持」として、次の3項目を設定している。

- ・地域公共交通計画の策定と推進
- ・新しい移動手段の導入の検討
- ・移動に関する地域内での支え合いの推進

② 第2期佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020－2024）

「基本目標4：小さな拠点を中心として地域の暮らしを守る」の具体的施策「③ 地域移動手段の確保と維持」として、次の事業及びKPIを設定している。

③ 地域移動手段の確保と維持

地域内外への移動手段としての“さかわぐるぐるバス”について、集落活動センター及びあったかふれあいセンターと上町等の町内の施設や行事と連携したイベント・キャンペーンを実施することで、バスの活用促進を図るとともに、町内各地域間の交流を拡げる。

- ・KPI：地域公共交通（さかわぐるぐるバス）の利用者数
（令和6年度）10,000人〔令和元年度実績見込み：8,700人〕

③ 佐川町地域公共交通網形成計画

本町の地域公共交通の在り方を明確に整理し、移動手段確保における基本計画としてとりまとめたもの。(佐川町地域公共交通計画はこれを引き継ぐ計画となる。)

この網形成計画から始まった取り組みから、「さかわぐるぐるバスの運行開始」や「黒岩観光の路線バス再編」などにつながっている。

留意事項は、前節にて「次期計画に引き継ぐべき事項」整理している。

④ 佐川町国土強靱化地域計画

様々な災害に備え、あらゆるリスクに対して強靱な佐川町をつくりあげていくことを目的として策定した計画であり、次の④項目の基本目標を設定している。

いかなる大規模自然災害等が発生しようとも

1. 町民の生命の保護が最大限図られる。
2. 本町及び地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される。
3. 町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化が図られる。
4. 本町の迅速な復旧・復興を可能にする。

また、事前に備えるべき目標として⑨項目が設定されており、その中の6番目に、「6. 大規模災害等の発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧が図られること」と、公共交通に関連する事項が明記されている。

具体的に次の事業が明記されている。

6-4-④ 公共交通の機能維持

災害時においても鉄道やバスの公共交通が維持されるよう、運行事業者におけるBCPの作成を促す。

・運行事業者のBCP作成促進

⑤ 第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画

本町の実状に合った地域包括ケアシステムを一層推進し、高齢者・認知症高齢者を介護する家族や障害者をはじめ、あらゆる世代の住民がともに支え合い、幸せに暮らせる地域共生社会の実現を目指して策定した。

この計画の「基本目標2：あんしん福祉サービスの充実」の「(2) 高齢者にやさしいまちづくりの推進」に「① 福祉のまちづくりの推進」として、地域公共交通整備が明記されている。

1. 地域公共交通整備の事業内容

町全体の利益にかなうよう、交通不便地域の交通手段の確保を目指した「さかわぐるぐるバス」(定時定路線型のコミュニティバス)の利便性の向上に努めるとともに、廃止路線代替バス運行経費に対する補助も引き続き行います。

また、高齢者、障害者等の移動(外出)支援の仕組みとして検討していきます。

⑥ 第2期 佐川町子ども・子育て支援事業計画

将来の佐川町を担ってくれる子どもたちを一丸となり育み、明るい未来のひらける幸せなまちづくりを目指し、これまで取り組んできた施策を引き継ぐとともに、さらに推進・発展させることを目指して策定した。

この計画の「6. 子育てを支援する生活環境」に「(3) 安全な道路交通環境の整備」と明記されており、「現状においても、地域全体で安全な道路交通環境の整備に取り組んでおり、今後はさらに協働の仕組みを安定的に維持発展させていくこと」が課題と整理されている。そして今後の方向性として、「地域住民と連携しながら、道路交通環境の整備に努めていく」と設定している。

⑦ まきのさんの道の駅・佐川 整備

加茂長竹地区に現在建設中の道の駅施設。

産直・物販・加工施設、食堂・レストラン施設、観光案内・体験等施設、おもちゃ美術館施設、トイレ・駐車場施設、事務所・倉庫等からなる道の駅であり、年間の入込客数の目標を40万人と設定している。

現在のところ、令和5年春頃のオープンを予定している。

⑧ 佐川町新文化拠点整備

佐川町新文化拠点は佐川町立図書館の施設更新に合わせ、蔵書数10万冊の図書館と、学び合いのサイクルを充実するための交流スペースを併設した施設として整備を進めている。

現在のところ、令和6年12月頃の開館を予定している。

図：佐川町新文化拠点の整備イメージ



第4節：課題として整理

1. 課題として整理

これまでに整理した調査結果や上位計画及び関連計画との整合などを踏まえ、問題点の解決のために取り組むべき事項を課題として整理する。

課題01 全ての町民と来訪者が町内での移動に困ることのない公共交通網の実現

- ・既存の公共交通網（主に乗合旅客輸送）が身体的な理由などで使いづらい人に対する新しい移動手段の提供。
- ・公共交通空白地区に暮らす、独自の移動手段を持たない住民を出現させないための公共交通網の見直し。
- ・低床車両の導入（更新を含む）によるユニバーサルデザインの推進。

課題02 さらに使いやすい公共交通網として利便性を高める

- ・鉄道とバス、バスとバスのダイヤ接続を進め、利用者の行動範囲を拡げる。
- ・鉄道とバスのダイヤ改正時期を合わせる。
- ・佐川地区中心部において、公共交通網による回遊性を高める。
- ・公共交通利用者が必要とする情報を、必要なタイミングで入手できる情報発信。
- ・町外からの来訪者にも分かりやすい情報揭示と情報発信。
- ・帰り便を快適に待つことができる待合スペースの確保。
- ・ICTを有効に活用した公共交通網の利便性向上。
- ・町内の主要集客施設と連携した公共交通網の利便性及び快適性の向上。
- ・路線バスの運行沿線自治体と協調した利便性向上と運行事業者への支援体制構築。

課題03 地域の移動手段として持続する公共交通網となるために

- ・路線バスとさかわぐるぐるバスの利用者ニーズに合わせた路線再編の実施。
- ・公共交通網を支える人々の負担軽減。
- ・バスやタクシーの乗務員確保への取り組み支援。

課題04 経済的にもメリットを感じられる公共交通の実現

- ・路線バスやさかわぐるぐるバスを経済的に利用できる運賃制度。
- ・乗り換えを負担に感じることのない定期券サービス。
- ・国や県などによる支援メニューの活用。

課題 05 町民が公共交通網をもっと身近に感じられる

- ・「ちょっと鉄道に乗ってみようか。バスにも乗ってみようか。」と感じさせる利用促進の取り組み。
- ・鉄道やバスの乗り方、時刻表の見方などの丁寧な周知。
- ・町内の公共交通網に関する情報を定期的に継続して発信。
- ・公共交通利用者や地区から出される要望や意見を精査し、可能なものについては実現していく。

課題 06 暮らしの中の移動を安心して委ねられる公共交通網を実現させる

- ・公共交通の利用が交通安全につながることを実感できる取り組み。
- ・公共交通を通学手段のひとつとして活用してもらえる広報活動。
- ・車の運転免許に関する正しい情報の発信。
- ・公共交通網と関連して安全確保につなげる道路環境整備の推進。
- ・災害など緊急時に対する交通事業者の備え。

第4章：佐川町地域公共交通計画

第1節：計画の基本事項

第2節：具体的な施策

第3節：計画の推進

第 1 節：計画の基本事項

1. 計画の区域

本計画が対象とする区域は佐川町全域とする。

なお、黒岩観光の路線バスを共有する越知町と仁淀川町については、公共交通網の情報共有を図るべき自治体として、計画の対象に含める。

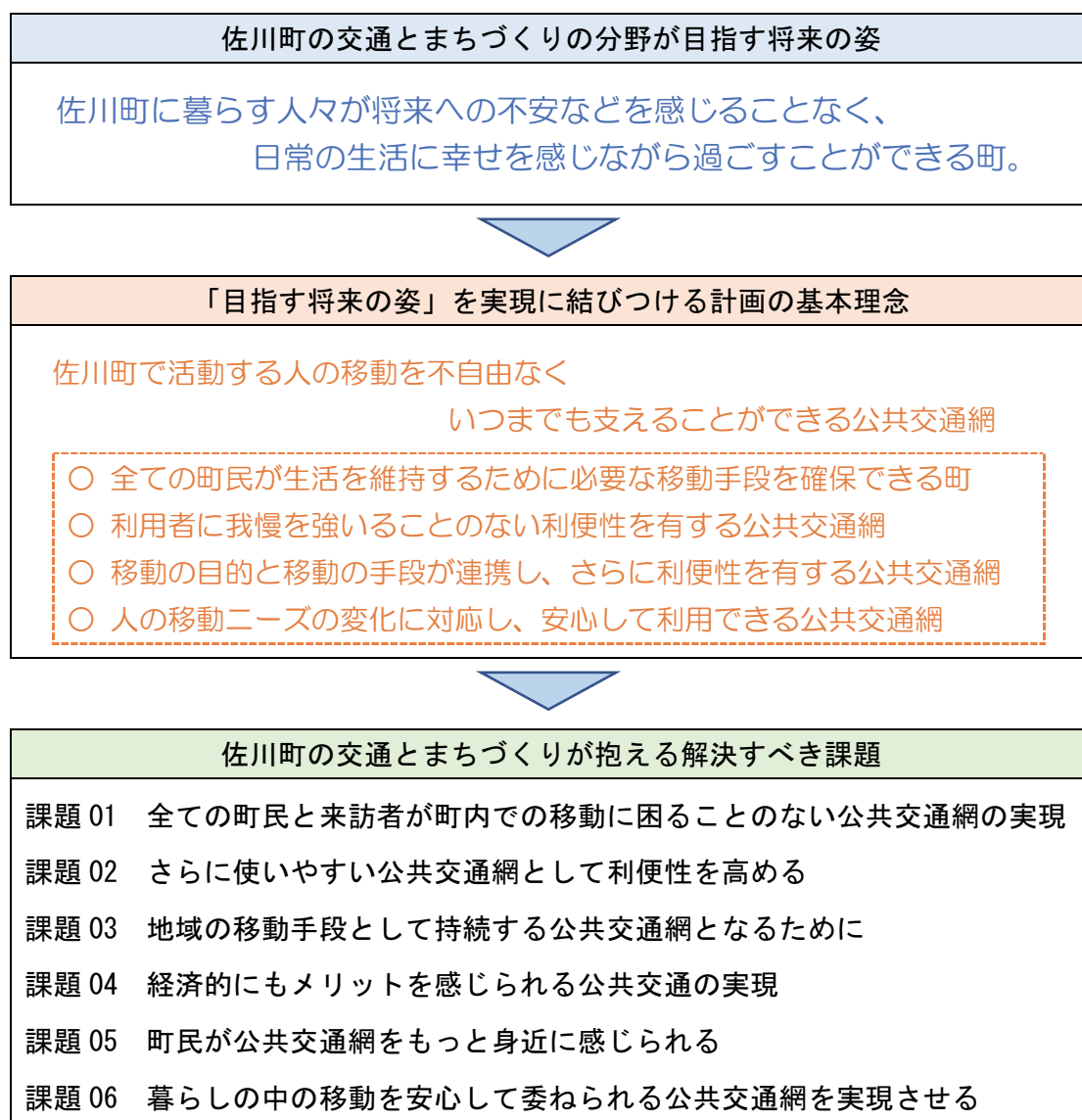
図：計画の区域（佐川町全域）



2. 計画の根幹の整理

本町が目指す未来像は佐川町総合計画の「チームさかわ まじめに おもしろく。」に集約されているが、その実現のために「公共交通とまちづくり」の分野が担うあるべき姿として、前期計画である「佐川町地域公共交通計画（当初は佐川町地域公共交通網形成計画）」の「町が目指す将来像」“佐川町に暮らす人々が将来への不安を感じることなく、日常の生活に幸せを感じながら過ごすことができる町。”を踏襲する。

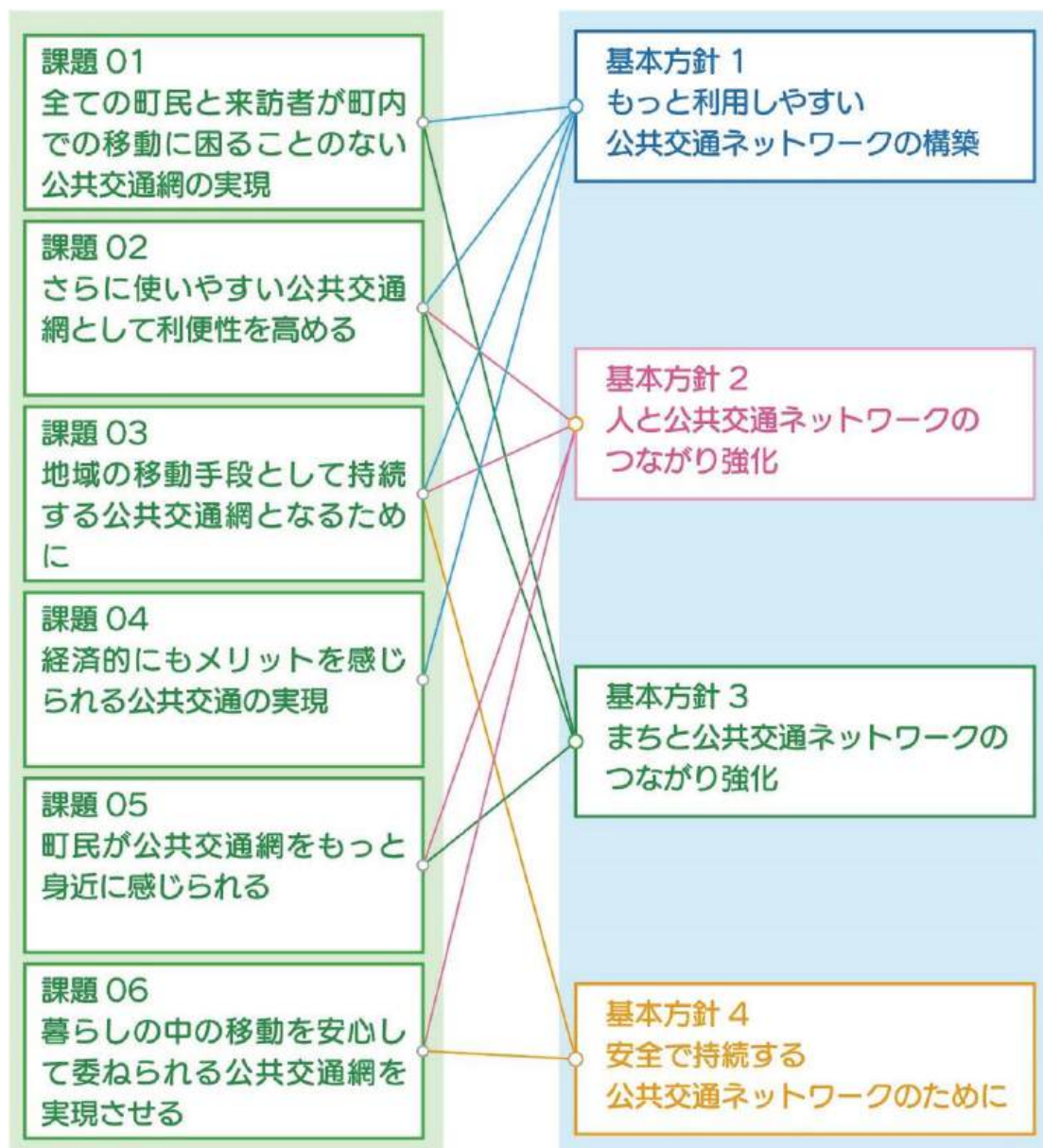
その「目指す将来像」を実現するために、公共交通ネットワークのあるべき姿を整理したものを「計画の基本理念」として位置付ける。



3. 計画の基本方針の設定

本町の交通まちづくり分野が抱える課題を解決するために、施策の基本方針を考える。

図：基本方針の考え方



基本方針１：もっと利用しやすい公共交通ネットワークの構築

公共交通網そのものの利便性や快適性を向上させるとともに、ソフト面も含めた既存の仕組みへの自問自答を通じて新たな移動手段を創りだし、佐川町の全ての住民と来訪者の活動を支える。

[取り組みの方向性]

- 公共交通網の利便性及び快適性向上
- 新しい移動サービスによる移動制約者への対応
- 経済的に利用できる公共交通網の実現
- 地域ニーズに合った車両の更新と整備

基本方針２：人と公共交通ネットワークのつながり強化

佐川町の公共交通網が自家用車と同様に評価され、行き先や外出の目的に応じて移動手段を選択できる住民が増えていく。そのために不可欠である公共交通に対する住民の意識の変化を目指して様々な取り組みを推進する。

[取り組みの方向性]

- 公共交通に関して住民からの意見や要望を聞く場づくり
- 公共交通網に関する情報発信
- 公共交通の体験を通じた利用のきっかけづくり

基本方針３：まちと公共交通ネットワークのつながり強化

移動の手段である公共交通網と移動の目的である集客施設の連携を通じて、佐川町がどんどん元気になっていく。そのために必要な様々な取り組みを推進する。

[取り組みの方向性]

- 移動の目的となる場所や施設との連携によるおでかけ支援
- 移動の目的となる場所や施設との連携による公共交通の利用しやすさ向上
- まちなかでの安全性確保

基本方針４：安全で持続する公共交通ネットワークのために

地域の交通安全に寄与し、緊急時への備えができ、何よりも人々のために運行が持続していくことで、住民から信頼される公共交通網として機能する。

[取り組みの方向性]

- 必要に応じた乗務員確保への支援
- 公共交通利用者の安全確保につなげる取り組み
- 災害などの緊急時への備え

4. これからの公共交通ネットワーク

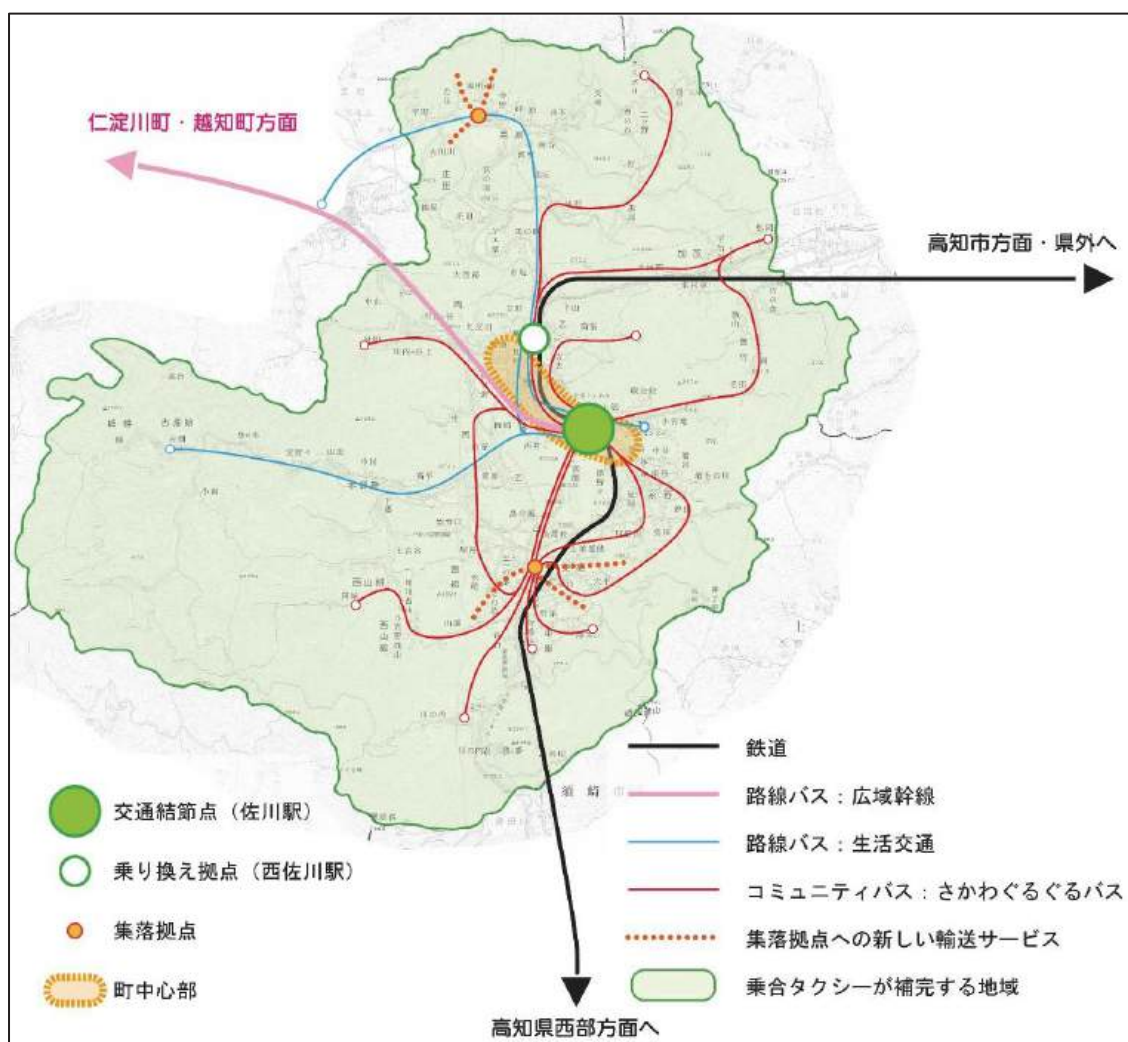
(1) 公共交通の果たすべき役割

先に設定した計画の基本理念「佐川町で活動する人の移動を不自由なく いつまでも支えることができる公共交通網」を実現させ、ハード面のみならず情報発信などのソフト面でも町内で活動する住民や来訪者の移動を支える。

(2) 公共交通ネットワークの在り方

既存の鉄道、路線バス、コミュニティバスに加え、これらを補完する新しい輸送サービスと共に公共交通のネットワークがより深化する。

図：佐川町の公共交通ネットワークイメージ



交通結節点	全てのモードが集まる佐川駅を交通結節点と位置づける
乗り換え拠点	路線バスの尾川線と黒岩線が相互乗り換えする場所と位置づける
集落拠点	新しい移動手段と既存の路線バスやさかわぐるぐるバスが接続し、乗り換えが可能な場所として位置づける

(3) 公共交通の役割

表：本町の公共交通の役割

分類	対象となるモード・路線	役割
幹線 (鉄道)	◎ 鉄道 ・土讃線（JR四国）	・高知市方面や県西部地域、さらに県外への移動を担う広域的な公共交通として、通勤や通学、通院といった生活に密着した移動から、出張や旅行など幅広い移動を支える。 ・町内の5駅間での移動にも活用される。
地域 幹線	◎ 路線バス ・広域線（黒岩観光）	・佐川駅を起点として、越知町や仁淀川町方面をつなぐバス路線。主に仁淀川町の川渡、狩山口、土佐大崎、越知町の越知駅と佐川駅をつなぐ路線であり、佐川駅にて鉄道と接続する。 ・仁淀川町や越知町から佐川高校や町内の集客施設への移動に利用される。 ・沿線の観光地への移動に活用される。
生活 交通	◎ 路線バス ・尾川線（黒岩観光） ・黒岩線（黒岩観光）	・尾川地区から町中心部をつなぐフィーダー路線として沿線住民の生活を支える。 ・越知町中心部と黒岩地区から町中心部をつなぐフィーダー路線として沿線住民の生活を支える。
	◎ コミュニティバス ・さかわぐるぐるバス	・郊外の集落と町中心部をつなぐコミュニティバス。 ・本町中心部を運行し、町中心部に集積する主要集客施設間の短距離移動サービスとして機能する。 ・佐川駅にて鉄道と黒岩観光の路線バスに接続し、フィーダー路線として機能する。
	◎ 乗合タクシー ・本計画に則り、新たに整備する	・既存の路線バスやコミュニティバスでの運行が難しい集落などから、本町中心部をつなぐフィーダー路線として、特に移動手段確保に困窮する移動制約者を支える。
	◎ 集落拠点への新しい輸送サービス ・本計画に則り、新たに整備する	・地形的な制約のある集落から、既存の路線バスやコミュニティバスに接続できるフィーダー路線として機能する。 ・地区内の移動に活用でき、住民の生活をサポートする。
	◎ タクシー ・町内のタクシー事業者	・鉄道やバスなどの活用が困難な人のために、ドア・ツー・ドアによる移動サービスを提供し、住民の生活を支える。
福祉 交通	◎ 介護タクシー ・介護タクシーサービス望 ・きりう介護タクシー	・介助者の同行や乗務員による介助を得られることで外出が可能となる、身体障害者や要介護者などを対象とする個別輸送サービス。

5. 計画の目標設定

本町が目指す将来像を実現するために、達成すべき事項を計画の目標として設定する。

基本方針 1 : もっと利用しやすい公共交通ネットワークの構築

目標 1 : 鉄道利用者数（定期券外）を増やす

■ 目標値の定義

町内の駅利用者数（土佐加茂駅、西佐川駅、佐川駅、襟野々駅、斗賀野駅）の定期券外利用者数の合計。[JR 四国が発表する年度別利用者数より集計する]

■ 目標値の考え方

本計画の事業推進により公共交通の利用が増加する。また、コロナ禍も収束に向かうと想定し、コロナ禍前の利用者数と同程度の利用者数として設定する。ただし子どもの数の減少が早急に改善するのは現実的でないことから、定期券利用者数をカウントには含まない。

現状値（令和 3 年度）：40,880 人 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：66,000 人

目標 2 : 町内を主に運行する路線バス利用者数を増やす

■ 目標値の定義

黒岩観光の路線バスの内、佐川町内を主に運行する黒岩線と尾川線の利用者数の合計 [毎年 4 月から翌年 3 月までの利用者数より集計する]

- ・尾川線利用者数 [現況値]：4,045 人（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）
- ・黒岩線利用者数 [現況値]：5,907 人（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

計：9,952 人

■ 目標値の考え方

コロナ禍の影響を受けて 2020 年 1 月以降の利用者数が低迷している。計画期間終了時の令和 10 年 3 月には、コロナ禍が収束するとともに、本計画の事業推進により利用者数が増加すると考える。ただし、沿線人口の減少は無視できないため、コロナ禍前の 2019（令和元）年度と同程度の利用者数として設定する。

現状値（令和 3 年度）：9,952 人 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：11,000 人

目標 3 : 広域線の路線バス利用者数を増やす

■ 目標値の定義

黒岩観光の路線バス広域線の利用者数

[毎年 4 月から翌年 3 月までの利用者数より集計する]

- ・広域線利用者数 [現況値]：29,351 人（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

■ 目標値の考え方

佐川町内の様々な取り組みを通じて、仁淀川町や越知町からも佐川町内を訪れる人が増加し、佐川町から越知町などへの移動も活発になると考える。コロナ禍も収束すると想定するが、沿線の人口減少が進んでいることから、コロナ禍前の水準（45,316 人 2019（令和元）年度）まで戻すことは容易でないと考える。

現状値（令和 3 年度）：29,351 人 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：35,000 人

目標 4 : さかわぐるぐるバス利用者数を増やす

■ 目標値の定義

さかわぐるぐるバスと新しい移動手段の年間利用者数

[毎年 4 月から翌年 3 月までの利用者数より集計する]

- ・年間利用者数 [現況値] : 9,253 人 (令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

■ 目標値の考え方

さかわぐるぐるバスはコロナ禍においても、大きく利用者数を減らすことなく運行を継続しており、生活に密着した必要不可欠な移動手段として活用されているものとする。さかわぐるぐるバスや路線バスの利用が難しくなった人のための新しい移動手段の運行開始と合わせて、利便性向上の取り組みを経て利用者を増加させる必要があると考える。

現状値 (令和 3 年度) : 9,253 人 ⇒ 目標値 (令和 9 年度) : 15,000 人

目標 5 : バスへの公的負担額が効果的に支出され、収支が改善する

■ 目標値の定義

バス (黒岩観光とさかわぐるぐるバス) の運行を支えるために支出された公的負担額 (会計年度) の利用者 1 人当たりの金額とその収支率を改善させる。

■ 目標値の考え方

公共交通の“適正な支出には適正な利用が伴うべきである”との考え方より、利用者 1 人当たりに係る公的負担額を算出し、現状値より改善させる

	黒岩観光	さかわぐるぐるバス
公的負担額	13,208 千円	22,317 千円
利用者数	9,952 人	9,253 人
利用者 1 人当たり公的負担額	1,327 円/人	2,411 円/人

□ 公的負担額 (黒岩観光)

現状値 (令和 3 年度) : 1,327 円/人 ⇒ 目標値 (令和 9 年度) : 1,200 円/人未満

□ 公的負担額 (さかわぐるぐるバス)

現状値 (令和 3 年度) : 2,411 円/人 ⇒ 目標値 (令和 9 年度) : 2,000 円/人未満

目標 6 : さかわぐるぐるバスの収支率が改善する

■ 目標値の定義

さかわぐるぐるバスの収支率 (運賃収入/運行委託費)

■ 目標値の考え方

さかわぐるぐるバスは収益を上げることを目的とした乗り物ではないものの、収支率の悪化を放置することは認められない。ただ、運賃の統一を考えていることもあり、飛躍的に利用者が増加したとしても収支率の改善につなげるのは難しいと考える。そこで、一定の利用がされていることを前提として、収支率の現状値を上回っていることを目標とする。

□ 収支率

現状値 (令和 3 年度) : 4.5% ⇒ 目標値 (令和 9 年度) : 4.5%を超える

基本方針 2：人と公共交通ネットワークのつながり強化

目標 7：公共交通に関して住民からの意見や要望を聞く場を毎年開催する

■ 目標値の定義

地区やグループを対象に、公共交通に関して意見や要望を聞くと同時に公共交通のことを知ってもらうための場を毎年開く。計画期間の初年度から毎年 10 ヶ所以上で開催する。

■ 目標値の考え方

住民との意見交換を定期的に行い、そこで得られた意見や要望を路線再編や新しいサービスに反映させ、公共交通と住民のつながりを強化していく。

現状値（令和 4 年度）：未着手 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：通算 50 ヶ所以上

目標 8：公共交通の体験を通じた利用のきっかけづくりの参加者数を増やす

■ 目標値の定義

公共交通の体験を通じた利用のきっかけづくりの場として、地区を訪問してのバス乗り方教室を開催し、その参加者数を増やしていく。初年度（令和 5 年度）に 30 人の参加を目標値とし、以降この数値を下回らないようにする。

■ 目標値の考え方

公共交通利用のきっかけを通じて、新しい公共交通利用者を育て、公共交通と住民のつながりを強化していく。

目標値（令和 5 年度）：30 人 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：通算 150 人以上

基本方針 3：まちと公共交通ネットワークのつながり強化

目標 9：多くの人が鉄道の利用経験を得る

■ 目標値の定義

住民アンケート調査より、過去 3 年以内に町内の駅にて鉄道を利用（乗車または降車）したことがある人の割合が増加する。

■ 目標値の考え方

公共交通を利用して高知市方面に移動する場合は鉄道の利用が不可欠となる。バスと鉄道の接続などが改善し、鉄道利用者数が増えると考ええる。

現状値（令和 4 年度）：47.4% ⇒ 目標値（令和 9 年度）：50.0%を超える

目標 10：多くの人が路線バスの利用経験を得る

■ 目標値の定義

住民アンケート調査より、過去 3 年以内に町内で路線バスを利用（乗車または降車）したことがある人の割合が増加する。

■ 目標値の考え方

路線バスの利便性を向上させるとともに、利用促進の取り組みも活性化させていくことで、路線バスの利用者数が増えると考ええる。

現状値（令和 4 年度）：8.5% ⇒ 目標値（令和 9 年度）：20.0%を超える

目標 11：主要集客施設最寄りバス停の乗降者数が増加する

■ 目標値の定義

停留所ごとの乗降記録を有するさかわぐるぐるバスの対象停留所の 1 日当たり乗降者数の合計にて評価する。算出の期間は毎年 4 月から翌年 3 月の 1 年間とする。

主要集客施設	バス停	乗車	降車
サンシャイン佐川店	サンシャイン佐川	6.24	5.31
マルナカ佐川店	マルナカ佐川店	1.21	1.54
サンプラザ佐川店	サンプラザ佐川店	2.65	1.96
佐川駅	佐川駅	3.15	2.16
高北病院	高北病院	2.00	4.02
計		30.24	

■ 目標値の考え方

さかわぐるぐるバスの利便性が向上することで、利用者が増加し、主な目的地となっている主要集客施設の乗車数及び降車数も増加するものとする。大幅な利便性向上を通じて、計画期間最終年度には大幅に増加するものとする。

現状値（令和 3 年度）：30.24 人/日 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：40 人/日以上

基本方針 4：安全で持続する公共交通ネットワークのために

目標 12：運転免許証の自主返納者数が現状値を維持する

■ 目標値の定義

自動車運転免許証の返納者数が現状値を維持する。

- ・運転免許返納者数〔現況値〕：108 人（2021（令和 3）年度）

■ 目標値の考え方

団塊の世代が後期高齢者になり、今後は車の運転に不安を持つ人が増加していくものとする。そこで、自動車運転免許証の返納に関する情報発信や公共交通網の利便性向上といった取り組みを通じて、免許証の返納者が増加していくものとする。（※無理に返納を進めるものではない）

現状値（令和 3 年度）：108 人 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：108 人を下回らない

目標 13：町内で発生する人身事故の件数が減少する

■ 目標値の定義

佐川町内で発生する人身事故発生件数（佐川警察署）について、現状値を超えずに減少する。

- ・佐川町内で発生する人身事故件数〔現況値〕：14 件（2021（令和 3）年度）

■ 目標値の考え方

公共交通の利便性向上を通じて、無理に車を運転する人が減少し、その結果として町内で発生する交通事故そのものが減少すると考える。

現状値（令和 3 年度）：14 件 ⇒ 目標値（令和 9 年度）：14 件を超えない

第2節：具体的な施策

1. 具体的施策とその実施事業

本計画の計画期間内に取り組む、具体的な施策とその実施事業について、基本方針ごとに整理する。

表：具体的な施策の一覧

基本方針1：もっと利用しやすい公共交通ネットワークの構築	
施策01：	バス路線再編を通じた利便性の高い公共交通ネットワークの形成
施策02：	乗合タクシーの整備による公共交通網の補完
施策03：	集落の拠点と連携した新しい移動サービスの構築
施策04：	まきのさんの道の駅・佐川とまちをつなぐ新しい移動手段の検討
施策05：	鉄道とバスの接続強化
施策06：	バス停留所待合環境の改善
施策07：	さかわぐるぐるバスの運賃制度見直し
施策08：	さかわぐるぐるバスお得チケットの導入検討
施策09：	バス車両の更新と使いやすさの向上
施策10：	福祉タクシーチケット制度の導入検討
基本方針2：人と公共交通ネットワークのつながり強化	
施策11：	地区住民を対象とした公共交通網に関する説明と意見交換
施策12：	公共交通情報をまとめた運行情報冊子の更新と内容拡充
施策13：	I T Sを活用した情報発信の高度化
施策14：	広報を通じた公共交通に関する正しい情報の周知
施策15：	公共交通を活用したおでかけイベントの開催
施策16：	バス乗り方教室の開催
基本方針3：まちと公共交通ネットワークのつながり強化	
施策17：	交通結節点機能の拡充
施策18：	バスロケーションシステムの導入検討
施策19：	高齢者のための買い物荷物輸送サービスの導入検討
施策20：	集客施設敷地内における安全確保策の検討
施策21：	集客施設と連携した公共交通網の利便性向上
施策22：	通学の在り方を見直す広報
基本方針4：安全で持続する公共交通ネットワークのために	
施策23：	バス及びタクシーの乗務員確保に対する支援
施策24：	駅敷地内における一般車両の通行ルールを検討
施策25：	交通量の多いバス停への安全確保策の検討
施策26：	自動車運転免許返納に関する正しい情報の周知
施策27：	大規模災害時発生への備え
施策28：	公共交通事業者のBCP作成

(1) 基本方針 1：もっと利用しやすい公共交通ネットワークの構築

施策 01：バス路線再編を通じた利便性の高い公共交通ネットワークの形成

[施策の概要]

既存のバス路線（黒岩観光）とさかわぐるぐるバスの路線再編を行い、公共交通ネットワークの利便性を向上させる。

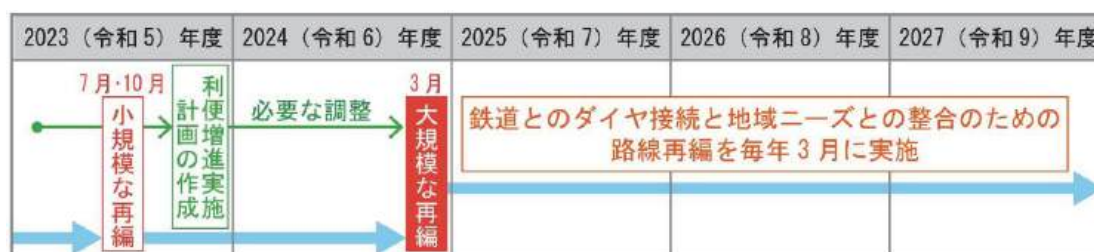
[施策のねらい]

変化した住民の移動ニーズに対応した公共交通網が実現する。

[実施事業]

- ① 路線バス（黒岩観光）の路線再編
- ② さかわぐるぐるバスの路線再編

[実施スケジュール]



[事業実施主体]

佐川町、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者

① 路線バス（黒岩観光）の路線再編

ほぼ町内を運行する尾川線と黒岩線について、路線再編を行う。広域線については、沿線自治体との協議を経て方針を整理する。

路線名称	路線再編方針
尾川線	- 金曜日に運行している古畑一峰の運行休止。運行を休止する区間は施策 02 の取り組みに引き継ぐ。 - 一部区間でのフリー乗降検討。
黒岩線	- 一部の便が運行している山本地区と楠原地区への乗り入れ運行の休止。運行を休止する区間は施策 02 の取り組みに引き継ぐ。 - 和田医院前から、くぼたこどもクリニック～サンプラザ佐川店に乗り入れる運行経路に変更。 - 一部区間でのフリー乗降を検討。

② さかわぐるぐるバスの路線再編

さかわぐるぐるバスの再編については、次のとおり運行経路の変更や路線の分割による廃止及び新規路線の設定などに取り組む。

一部の利用の多い路線については、週に2日運行を行うことも検討する。

路線名称	路線再編方針	導入する事業
中心部ぐるぐる線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
舟床・川ノ内線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
本村線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
薄木線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
加茂・荷稻線 (廃止)	・2つの路線（長竹線、荷稻線）に分割し、加茂・荷稻線は廃止。	—
斗賀野線	・運行経路の変更	地域公共交通確保維持事業
西山線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
四ツ白線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
狩場線	・運行経路の変更。	地域公共交通確保維持事業
長竹線 (新設)	・加茂・荷稻線を分割し、加茂方面－佐川中心部をつなぐ路線として新設。	地域公共交通確保維持事業
荷稻線 (新設)	・加茂・荷稻線を分割し、荷稻方面－佐川中心部をつなぐ路線として新設。	地域公共交通確保維持事業
川内ヶ谷線 (新設)	・川内ヶ谷方面と佐川中心部をつなぐ路線として新設。	地域公共交通確保維持事業
道の駅佐川線 (新設)	・「まきのさんの道の駅・佐川」と佐川中心部をつなぐ路線として新設。	地域公共交通確保維持事業

フィーダー路線として位置づける路線	
路線バス（黒岩観光）	尾川線、黒岩線
さかわぐるぐるバス	中心部ぐるぐる線、舟床・川ノ内線、本村線、薄木線、斗賀野線、西山線、四ツ白線、狩場線、長竹線、荷稻線、川内ヶ谷線、道の駅佐川線
乗合タクシー	詳細については計画年度内の実現を目指し調整をすすめる
地域公共交通確保維持事業を導入する理由	本町の公共交通ネットワークを構築し、維持していくにあたり、単独で負担すべき経費を軽減するとともに、事業評価における客観的視点からの事業検証とアドバイスを元に適正な見直しにつなげていくため。

施策 02：乗合タクシーの整備による公共交通網の補完

〔施策の概要〕

路線バスとさかわぐるぐるバスでは運行が難しい地区における新しい移動手段として、乗合タクシーを活用できる仕組みを整備する。

利用対象については、「独自の移動手段を持たない」「さかわぐるぐるバスの運行曜日と合わない」などの一定の要件を設定し、その要件を満たす住民のみが利用可能とする。

〔施策のねらい〕

路線バスやさかわぐるぐるバスによる移動サービスを、利用できなかった住民の移動手段が確保される。

〔実施事業〕

① 乗合タクシーによる新しい移動手段の整備

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・利用者の基準設定 ・実施に向けた調整		3月 サービス開始	必要に応じて随時見直し	

〔事業実施主体〕

佐川町、タクシー事業者、介護タクシー事業者

施策 03：集落の拠点と連携した新しい移動サービスの構築

〔施策の概要〕

あったかふれあいセンターの送迎サービスを活用し、集落活動センターを經由して、路線バスやさかわぐるぐるバスに乗り継ぐことができる仕組みを構築する。

〔施策のねらい〕

バス路線の近くであっても土地の高低差のためにバス利用が難しくなっていた人々も、顔見知りの送迎によりバス路線を利用しやすくなる。

〔実施事業〕

- ① あったかふれあいセンターによる新しい移動サービスの構築
- ② 集落活動センターへの、ハブ機能として必要な環境整備

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・ 人員の確保 ・ 実施に向けた調整		3月 サービス開始	必要に応じて随時見直し	

〔事業実施主体〕

佐川町、あったかふれあいセンター



写真：あったかふれあいセンターの送迎



写真：さかわぐるぐるバスと送迎車両

施策 04：まきのさんの道の駅・佐川とまちをつなぐ新しい移動手段の検討

〔施策の概要〕

新しく整備される道の駅と佐川中心部をつなぐ新しい路線を検討する。

当初は、さかわぐるぐるバス中心部循環線（月曜～金曜運行）の延伸と黒岩観光の貸切バス（土日祝日運行）による対応を行うが、各方面との調整を経て独自の路線として運行することを目指す。

〔施策のねらい〕

車を持たない（もしくは車を使わなくても）佐川町民が新しく整備される道の駅に行くことができるようになる。また、町外からの来訪者が車を道の駅に停めて上町地区などを訪問できるようになり、佐川中心部への車両流入抑制につながる。

〔実施事業〕

- ① 中心部ぐるぐる線の延伸による一時的な対応
- ② まきのさんの道の駅・佐川と中心部をつなぐ新しい移動手段の整備

〔実施スケジュール〕



〔事業実施主体〕

佐川町、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者



図：まきのさんの道の駅・佐川の外観イメージ

施策 05：鉄道とバスの接続強化

[施策の概要]

佐川駅にて、路線バスとさかわぐるぐるバス、鉄道が互いに接続できる運行ダイヤを実現させる。また、JRとの情報共有に取り組み、必要に応じてバスのダイヤ改正を鉄道と同じく毎年3月に実施する。

運行ダイヤの設定については、鉄道ーバスは5～20分、バスーバスは10分以内の接続時間を確保する。

[施策のねらい]

鉄道とバスの接続が確保され、利用者の行動範囲が拡大する。

[実施事業]

- ① 佐川駅における鉄道と路線バス、さかわぐるぐるバスの接続
- ② JR四国高知企画部と鉄道のダイヤ改正に関する情報共有

[実施スケジュール]

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
10月 小規模な再編	11月 接続の調整	11月 接続の調整	11月 接続の調整	11月 接続の調整
	3月 大規模な再編	3月 ダイヤ改正	3月 ダイヤ改正	3月 ダイヤ改正

[事業実施主体]

佐川町、四国旅客鉄道株式会社、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者

施策 06：バス停留所待合環境の改善

〔施策の概要〕

利用の多いバス停のうち、可能なところからベンチや建屋を設置し、バス停の待合環境を向上させる。

黒岩観光のバス停については、バス停標識の更新を進めるとともに、掲示情報を土地勘のない人でも理解しやすいように、路線図と時刻表をセットにして掲示する。

また、「施策 18：バスロケーションシステムの導入検討」に関連し、バス停名称を可能な限り固有名詞を使ったものに変更していく。

〔施策のねらい〕

バス利用者が快適にバスの到着を待てるようになる。

〔実施事業〕

- ① 利用の多いバス停へのベンチや建屋の設置
- ② バス停標識（掲示板）の更新と掲示情報の拡充
- ③ バス停名称の整理

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
	可能な停留所へのベンチ・建屋の随時設置			
黒岩観光の バス停更新 と名称変更		路線再編に合わせて更新		

〔事業実施主体〕

佐川町、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者



写真：サンプラザ佐川店のバス乗降場前



写真：高北病院のエントランス

施策 07：さかわぐるぐるバスの運賃制度見直し

[施策の概要]

さかわぐるぐるバスの運賃を、中心部ぐるぐる線、郊外線ともに 200 円（大人 1 回乗車）とする。これに伴い、小人運賃や各種割引運賃についても半額の 100 円とする。

[施策のねらい]

わかりやすさと利用者の不満解消につながる。

[実施事業]

① さかわぐるぐるバス郊外線と中心部ぐるぐる線の運賃共通化

[実施スケジュール]



[事業実施主体]

佐川町、さかわぐるぐるバス運行事業者

施策 08：さかわぐるぐるバスお得チケットの導入検討

〔施策の概要〕

さかわぐるぐるバスの全ての路線を一定期間利用し放題となる定期券サービスの導入を検討する。また、家族単位での使用も可能な 1 日乗車券サービスの検討も合わせてすすめる。

〔施策のねらい〕

佐川地区中心部において、郊外線と中心部ぐるぐる線との乗り換えに対する抵抗感が弱まり、人々の移動が活発になる。

〔実施事業〕

- ① さかわぐるぐるバスの定期券サービスの導入検討
- ② さかわぐるぐるバス 1 日乗車券の導入検討

〔実施スケジュール〕



〔事業実施主体〕

佐川町、さかわぐるぐるバス運行事業者

施策 09：バス車両の更新と使いやすさの向上

〔施策の概要〕

さかわぐるぐるバス及び黒岩観光の路線バスについて、車両更新時に利用者のニーズに合った車両の導入をすすめる。

また、利用者の荷物などを、置くことのできるスペースの確保整備について検討をすすめる。

〔施策のねらい〕

利用に見合った車両が導入される。また、利用者の荷物置き場が整備され、バスでも買い物に行きやすくなる。

〔実施事業〕

- ① 運行地区のニーズに合った車両への更新
- ② 既存の車両も含め、荷物置きスペース確保の整備検討

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
既存車両への 荷物置き場設置 →	必要に応じて車両更新（導入時に荷物置き場を設置） →			

〔事業実施主体〕

佐川町、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者



写真：中土佐町コミュニティバスの荷物置き場
車両のトランクルームにシルバーカーを置いている。

施策 10：福祉タクシーチケット制度の導入検討

〔施策の概要〕

一定の要件（年齢など）を満たした佐川町民が、福祉タクシーチケットを利用できるような新たな制度を検討する。

〔施策のねらい〕

ドア・ツー・ドアでの移動手段しか使えない人の移動支援策となる。

〔実施事業〕

① 高齢者福祉タクシーチケットの制度化検討

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
必要な調整及び広報		必要に応じて随時見直し		
	10月 サービス開始			

〔事業実施主体〕

佐川町

(2) 基本方針2：人と公共交通ネットワークのつながり強化

施策11：地区住民を対象とした公共交通網に関する説明と意見交換

[施策の概要]

公共交通利用に課題が見受けられる地区や、移動ニーズに変化が見られる地区などを把握し、その地区住民を対象とした意見交換会や説明会を実施する。

その場で住民から提示された意見や要望は、内容を検証した上で効果が見込まれるものについては再編案に盛り込む。また、採用に至らなかった要望については説明を行う。

[施策のねらい]

膝をつき合わせた意見交換により、地区ごとの詳細な意見や要望を得ることができる。また、直接公共交通利用の意義やメリットを伝えることができ、利用促進につながる。

[実施事業]

① 公共交通網に関する地区別意見交換会の開催

[実施スケジュール]

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
夏期 意見交換実施 → 再編案に反映	夏期 意見交換実施 → 再編案に反映	夏期 意見交換実施 → 再編案に反映	夏期 意見交換実施 → 再編案に反映	夏期 意見交換実施 → 再編案に反映

[事業実施主体]

佐川町、地区住民



写真：地区別意見交換の様子

施策12：公共交通情報をまとめた運行情報冊子の更新と内容拡充

〔施策の概要〕

佐川町の公共交通網の運行情報を一冊にわかりやすくまとめた公共交通ガイドブック（仮称）を作成し、公共交通利用者に配布するとともに、公共交通利用の拡大につなげるツールとして活用する。

これまではさかわぐるぐるバスの運行情報をとりまとめてきたが、今後は鉄道や路線バスも含めた全町版公共交通ガイドブック（仮称）として作成する。

〔施策のねらい〕

公共交通利用者が、外出前に利用するバスや乗り継ぎの確認などを自宅で行えるようになり、公共交通網の利便性が向上する。

〔実施事業〕

① 佐川町公共交通ガイドブック（仮称）の制作

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
再編時に 簡易版にて制作	制作 3月 再編時に配布	制作 3月 再編時に配布	制作 3月 再編時に配布	制作 3月 再編時に配布

〔事業実施主体〕

佐川町



イメージ：佐川町がこれまでに作成してきた時刻表冊子

施策 13：ＩＴＳを活用した情報発信の高度化

〔施策の概要〕

インターネットを活用して、町内の全ての公共交通運行情報を発信するとともに、運休や遅れが発生した場合の緊急連絡用のツールとしても活用する。

〔施策のねらい〕

公共交通利用者は、リアルタイムに必要な情報を受け取ることができる。また、若い世代の公共交通利用にもつながる。

〔実施事業〕

- ① ＩＴＳを活用した公共交通情報の発信
- ② 町内の全ての公共交通情報を一元化して発信
- ③ 町内の公共交通網の情報発信を管理する運営体制の構築

〔実施スケジュール〕



〔事業実施主体〕

佐川町、四国旅客鉄道株式会社、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者

施策 14：広報を通じた公共交通に関する正しい情報の周知

〔施策の概要〕

広報紙を通じて、町内の公共交通網の利用者数や新しい取り組みのお知らせなどを定期的に発信する。

〔施策のねらい〕

公共交通に関する誤った情報の一人歩き抑止につながる。

〔実施事業〕

① 広報紙を通じた定期的な公共交通網に関する情報発信

〔実施スケジュール〕

2023（令和 5）年度	2024（令和 6）年度	2025（令和 7）年度	2026（令和 8）年度	2027（令和 9）年度
可能な限り、毎月の広報紙にて情報発信				

〔事業実施主体〕

佐川町

施策 15：公共交通を活用したおでかけイベントの開催

〔施策の概要〕

地区住民の集いの場などと連携し、日常的に運行しているバスや鉄道などを活用したおでかけイベントを開催する。

〔施策のねらい〕

公共交通に乗り慣れてない人や、これから公共交通利用が必要と考えている人の利用体験につながり、新たな公共交通利用者の獲得につながる。

〔実施事業〕

① 公共交通を活用したおでかけイベントの開催

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
地域に企画を投げかけ、調整の整ったところにて随時開催				

〔事業実施主体〕

佐川町、地区住民



写真：中土佐町コミュニティバスを活用したおでかけイベントの様子

施策 16：バス乗り方教室の開催

〔施策の概要〕

実際に運行するバス車両を活用し、地区住民を対象としたバス乗り方教室を開催する。

〔施策のねらい〕

バスに乗り慣れてない人や、これからバス利用が必要と考えている人のバスを身近に感じる機会につながり、新たなバス利用者の獲得につながる。

〔実施事業〕

① バス乗り方教室の開催

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
地域に企画を投げかけ、調整の整ったところにて随時開催				

〔事業実施主体〕

佐川町、公共交通事業者、地区住民

写真：安田町でのバス乗り方教室の様子



写真：本山町でのバス乗り方教室の様子

(3) 基本方針 3：まちと公共交通ネットワークのつながり強化

施策 17：交通結節点機能の拡充

[施策の概要]

佐川駅を交通結節点に設定し、鉄道と路線バス・さかわぐるぐるバス、路線バスとさかわぐるぐるバスの乗り換えをしやすい環境整備と情報掲示などの拡充を行う。

[施策のねらい]

乗り換えのために必要な情報や、快適性が向上した待合が整備されており、利用者の満足度向上につながる。

[実施事業]

① 佐川駅への交通結節点機能の拡充

[実施スケジュール]

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・JRとの調整 ・黒岩観光との調整 ・実施に向けた調整	3月 サービス開始		維持管理	

[事業実施主体]

佐川町、四国旅客鉄道株式会社、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者



佐川駅構内 バス乗降場（黒岩観光）

施策 18：バスロケーションシステムの導入検討

〔施策の概要〕

バス利用者に運行中のバスの位置情報を常時提供するバスロケーションシステムを導入する。

また、集客施設や交通結節点へのデジタルサイネージの設置により、スマートフォンを持たない人でもバスの位置を確認できるようにする。

〔施策のねらい〕

バスが遅れているのか、既に行ってしまったのかを明らかにし、利用者が不安を持つことなくバスを利用できるようになる。また、バスの到着に合わせた余裕を持った行動が可能になる。

〔実施事業〕

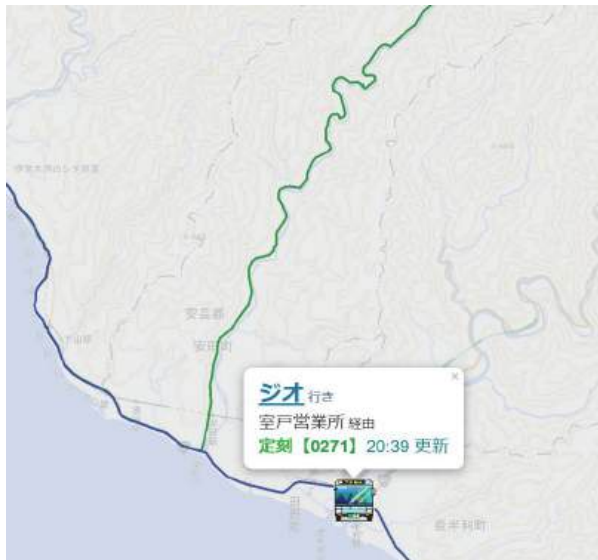
- ① バスロケーションシステムの導入
- ② 集客施設や交通結節点へのデジタルサイネージの設置

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・JR及び集客施設との調整 ・県との協議 ・必要な調整	3月 サービス開始		維持管理	

〔事業実施主体〕

佐川町、交通事業者、主要集客施設



バスロケーションシステムとは、GPSを活用したバスの位置情報が瞬時に確認できるシステムのこと。

現在高知県内で3つの事業者が導入しており、中でも高知東部交通（本社安芸市）は最新のシステムの試験運用を行っている。

スマートフォンやパソコンなどで見る事が可能。

施策 19：高齢者のための買い物荷物輸送サービスの導入検討

[施策の概要]

町内のスーパーマーケットにて買い物をした公共交通利用者が、購入品を家庭まで配送してもらえる新しいサービスの導入を検討する。実現に向けた具体的手法として、スーパーマーケットが共同で貨物軽自動車運送事業の届出を行うものと、さかわぐるぐるバスの夕方以降の便を貨客混載で行うものが想定される。

[施策のねらい]

買い物荷物輸送サービスの実現により、手荷物を気にせず公共交通を利用でき、公共交通利用が拡大する。

[実施事業]

① 買い物荷物輸送サービスの導入検討

[実施スケジュール]



[事業実施主体]

佐川町、集客施設、交通事業者

施策 20：集客施設敷地内における安全確保策の検討

〔施策の概要〕

一般車両が多く集まるスーパーマーケットなどの集客施設敷地駐車場での通行ルールを明確にするとともに、必要な整備を行い、安全確保に取り組む。

〔施策のねらい〕

スーパーマーケットなど集客施設の敷地内に乗り入れる、一般車両やさかわぐるぐるバスの安全確保につながる。

〔実施事業〕

- ① 集客施設敷地内の安全確保策の検討
- ② 安全確保策に準じた広報

〔実施スケジュール〕

2023（令和 5）年度	2024（令和 6）年度	2025（令和 7）年度	2026（令和 8）年度	2027（令和 9）年度
関係者との協議を通じて詳細計画をとりまとめ、実施につなげる				



〔事業実施主体〕

佐川町、集客施設

施策 21：集客施設と連携した公共交通網の利便性向上

〔施策の概要〕

量販店や病院施設などの集客施設と連携した様々なサービスや利用促進の取り組みを行う。施設内へのバスやタクシーの乗り入れと、その施設に合わせた運行情報の掲示、広報活動への協賛、バス待合スペースの環境づくりなどに取り組む。

〔施策のねらい〕

スーパーマーケットなどの量販店や病院施設との協働による利便性向上により、新たな公共交通利用者を獲得する。

〔実施事業〕

- ① 施設内への公共交通網運行情報の掲示
- ② 売上げに応じたバスお試しチケットの配布
- ③ 町の広報活動への参画
- ④ バス待合スペースの環境づくり

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・ 情報掲示については初年度より実施 ・ その他の取り組みについては調整をすすめ、体制が整った段階で実施 				

〔事業実施主体〕

佐川町、集客施設

施策 22：通学の在り方を見直す広報

〔施策の概要〕

通学手段として、既存の公共交通を使いやすくするとともに、保護者等への周知を通じて公共交通による通学をアピールし、保護者による送迎の負担減につなげる。

〔施策のねらい〕

朝の通学時間帯や夕方の帰宅時間帯において、駅や学校周辺での送迎車両の減少と交通安全確保、子どもたちの公共交通利用機会の創出につながる。

〔実施事業〕

- ① 通学手段として公共交通を利用しやすくなる運行ダイヤの改正
- ② バスで通学する児童・生徒の運賃無料化
- ③ 広報チラシの作成と学校を通じた配布

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
学校及び 教育委員会 との調整 		広報を随時実施		

〔事業実施主体〕

佐川町、教育委員会、PTA、交通事業者

(4) 基本方針 4：安全で持続する公共交通ネットワークのために

施策 23：バス及びタクシーの乗務員確保に対する支援

[施策の概要]

バス事業者やタクシー事業者が、旅客運送事業に継続して取り組めるよう、行政や関係者と連携した乗務員などの人員確保策に取り組む。

また、さかわぐるぐるバスと路線バス乗務員の負担軽減策として、バス乗降者数のカウントシステムを導入する。

[施策のねらい]

持続する公共交通網の実現につながる。

[実施事業]

- ① 県事業と連携した乗務員確保の取り組み
- ② バスへの乗降者数カウントシステム導入

[実施スケジュール]

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
・ 運行事業者との協議を経て、随時乗務員確保の取り組みを行う				
バス利用者 カウント システム導入				

[事業実施主体]

佐川町、有限会社黒岩観光、タクシー事業者



イメージ：女性ドライバーのお仕事サイト～ドラ女子 kochi～より

施策24：駅敷地内における一般車両の通行ルールの検討

〔施策の概要〕

西佐川駅と佐川駅の駅前広場において、一般車両やバス車両が安全に走行できる通行ルールを設定し、その周知に取り組む。

〔施策のねらい〕

西佐川駅、佐川駅の構内における安全が確保される。

〔実施事業〕

- ① 西佐川駅と佐川駅の駅前広場の通行ルールの設定
- ② 通行ルールの周知活動

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
				

〔事業実施主体〕

佐川町、四国旅客鉄道株式会社、有限会社黒岩観光、タクシー事業者、佐川警察署

施策 25：交通量の多いバス停への安全確保策の検討

〔施策の概要〕

交通量の多い国道 33 号に設置されているバス停利用者が、安全に道路を横断してバス利用できるよう、横断歩道の設置要望など安全確保策に取り組む。

〔施策のねらい〕

必ず道路を横断することになるバス利用者の安全確保につなげる。

〔実施事業〕

- ① 安全確保につなげる協議
- ② 横断歩道の設置など安全確保の取り組み

〔実施スケジュール〕

2023（令和 5）年度	2024（令和 6）年度	2025（令和 7）年度	2026（令和 8）年度	2027（令和 9）年度
佐川警察署との協議を通じて要望を行う				

〔事業実施主体〕

佐川町、佐川警察署



写真（仮）：長竹集会所前バス停（さかわぐるぐるバス）
バス停の付近に横断歩道は設置されていない。

施策 26：自動車運転免許証の自主返納に関する正しい情報の周知

〔施策の概要〕

自動車運転免許証の自主返納を検討している人に対して、返納に関する正しい情報を周知するとともに、返納後の移動手段確保策について、広報紙や地区での説明会を通じてわかりやすく説明する。

また、町内の公共交通の運行情報をまとめた冊子やバスのお試しチケットを配布し、次の移動手段として公共交通への転換を促す。

〔施策のねらい〕

「移動手段は車しかない！」という意識から、そのときの体調や外出に合わせた移動手段を選択できる意識を持つ高齢者が増加し、結果として自動車運転免許証の自主返納後も安心して生活を維持できる。

〔実施事業〕

- ① 自動車運転免許証の返納に関する広報チラシの作成と配布
- ② 地域における運転免許証自主返納に関する説明会の開催
- ③ 運転免許証の自主返納をした人に対する公共交通お試しセットの配布

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
広報チラシ制作 	・ 広報を随時実施 ・ 運転免許証を自主返納した人への公共交通お試しセットの配布			

〔事業実施主体〕

佐川町、佐川警察署

施策 27：大規模災害時発生への備え

〔施策の概要〕

路線バスやさかわぐるぐるバスの運行時に、大規模災害が発生した場合の対応策をまとめるとともに、乗務員及び運行管理者に対する訓練を実施する。

〔施策のねらい〕

地震や大雨などの災害時でも、乗務員と運行事業者の落ち着いた対処が可能となり、利用者の安全確保につながる。

〔実施事業〕

- ① バス乗務員の緊急時における対応と行動をあらかじめまとめる
- ② 乗務員及び運行管理者に対する周知と訓練

〔実施スケジュール〕

2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
関係者とともに緊急時における対応と行動指針をとりまとめる		乗務員と運行管理者による周知と訓練		

〔事業実施主体〕

佐川町、佐川警察署、有限会社黒岩観光、さかわぐるぐるバス運行事業者

施策 28：公共交通事業者のBCP作成

〔施策の概要〕

近い将来発生が予想されている大規模災害（地震）後に、いち早く鉄道やバスを復旧し、町内の公共交通ネットワークを維持していくため、運行事業者によるBCPを作成する。

〔施策のねらい〕

大規模災害からのいち早い復旧により、地域のライフラインとして公共交通が機能する。

〔実施事業〕

- ① 交通事業者単位によるBCPの作成
- ② 復旧を想定した図上訓練の定期実施

〔実施スケジュール〕

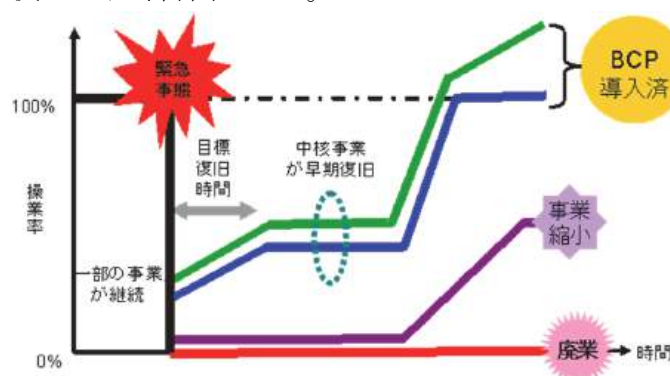
2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度
交通事業者がBCPを作成 町はBCP作成を支援 				

〔事業実施主体〕

交通事業者、佐川町、高知県土木事務所

BCP（事業継続計画）とは

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。



中小企業庁BCP策定運用指針より

第3節：計画の推進

1. 計画の期間

(1) 計画の期間

本計画は2023（令和5）年4月から2028（令和10）年3月までの5年間を計画期間とし、その間に先に記載した施策を推進する。

(2) 計画の期間内における検証

計画の期間中は、PDCAサイクルによる検証と改善に取り組み、計画を推進する。

初年度6月の佐川町地域公共交通会議にて、本計画に係る取り組み方針を確認し、その後毎年、同会議においてそれまで一年間の取り組みを検証する。

計画最終年度となる令和9年度末には、5年間の総合的な検証を行い、本計画の更新について協議を行う。

図：計画の期間

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
1年目 [令和5年度]	確認	実施事業の推進		
2年目 [令和6年度]		検証	実施事業の推進	
			検証結果に基づき、改善の取り組みを追加	
3年目 [令和7年度]		検証	実施事業の推進	
			検証結果に基づき、改善の取り組みを追加	
4年目 [令和8年度]		検証	実施事業の推進	
			検証結果に基づき、改善の取り組みを追加	
5年目 [令和9年度]		検証	実施事業の推進	総合検証
			検証結果に基づき、改善の取り組みを追加	

(3) 佐川町地域公共交通会議における事業進捗の検証

本計画の事業進捗の検証は佐川町地域公共交通会議において行う。

会議開催	開催時期	主な協議内容
第1回	6月頃	- 事業進捗に関する報告と検証 - 検証結果に基づく改善の取り組みについて協議
第2回	1月頃	- 次年度の予算措置を伴う取り組みに関する協議 - 事業進捗の中間報告

(4) 地域公共交通特定事業（地域公共交通利便増進事業）の導入について

本町の公共交通ネットワークの利便性を高め持続させていくために、本計画の施策及び事業を推進するにあたり、地域公共交通利便増進事業を導入する。具体的に地域公共交通利便増進事業と関連させるものについて次に整理する。

□ 町内を運行する路線の再編と新たな移動手段の構築による利便性向上を目指して

佐川町内を運行する黒岩観光の路線バス、さかわぐるぐるバスに加え、本計画を基に新たに運行させる“乗合タクシー”と“集落活動センターを起点とする新しい移動手段”を再編及び新設し、これらを佐川駅での鉄道との接続も含めて公共交通ネットワークとして機能させる。

[関連する施策]

- 施策 01：バス路線再編を通じた利便性の高い公共交通ネットワークの形成
- 施策 02：乗合タクシーの整備による公共交通網の補完
- 施策 03：集落の拠点と連携した新しい移動サービスの構築
- 施策 04：まきのさんの道の駅・佐川とまちをつなぐ新しい移動手段の検討

□ 町内の公共交通ネットワークの運賃体系見直しによる利便性向上を目指して

さかわぐるぐるバスの運賃体系を見直し、利用しやすい運賃とする。また、さかわぐるぐるバスの定期券サービス等を検討する。

[関連する施策]

- 施策 07：さかわぐるぐるバスの運賃制度見直し
- 施策 08：さかわぐるぐるバスお得チケットの導入検討

□ 町内を運行する全ての公共交通のダイヤ接続による利便性向上を目指して

黒岩観光の路線バスとさかわぐるぐるバスの運行ダイヤを見直し、佐川駅における鉄道とのダイヤ接続を確保する。

[関連する施策]

- 施策 01：バス路線再編を通じた利便性の高い公共交通ネットワークの形成

2. 計画の管理体制

(1) 計画推進の実施主体

本計画の推進に参画する主体は次のとおりである。各主体はその特性に応じた役割を担う。

参画主体	本計画における役割
佐川町 地域公共交通会議	・ 事業の進捗管理 ・ 目標の達成状況に係る検証と評価 ・ 事業の推進に関する企画及び改善策のとりまとめ ・ 構成員は関連する施策への取り組みを推進
佐川町	・ 地域公共交通会議の事務局 ・ 地域の移動ニーズの把握、整理 ・ 本計画の施策を主体的に実施 ・ 関係機関との調整 ・ 必要に応じた財政支出、支援 ・ 国、県、近隣自治体との必要に応じた調整
運行事業者 ・ JR四国 ・ 黒岩観光 ・ 近藤ハイヤー ・ しまさきハイヤー ・ 明神ハイヤー	・ 本計画に係る施策の推進及び協力 ・ 安全で快適な運行サービスの提供、維持 ・ 地域公共交通会議への関連事項の報告、提案
福祉輸送事業者 ・ 介護タクシーサービス望 ・ きりう介護タクシー	・ 本計画に係る事業の推進及び協力 ・ 安全で快適な運行サービスの提供、維持
地域住民	・ 利用者の視点、地区及び住民からの視点による意見、要望の積極的な提示 ・ 公共交通網の構築、維持の取り組みに対する理解 ・ 計画に沿った意見交換、イベントなどへの参加 ・ 積極的な公共交通網の利用

計画策定に関する資料編

佐川町地域公共交通計画策定までの経緯

佐川町地域公共交通会議 委員名簿

佐川町地域公共交通会議設置要綱

佐川町地域公共交通計画策定までの経緯

日時	会議等	主な協議事項
令和4年 6月16日	第1回 地域公共交通会議	①さかわぐるぐるバスに関する報告 ②さかわぐるぐるバスの再編について ③佐川町生活交通確保維持改善計画について ④佐川町地域公共交通計画の策定について －計画策定の目的と策定の進め方 －計画策定に係る各種調査の概要 －計画策定スケジュール
11月18日	第2回 地域公共交通会議	①これまでのさかわぐるぐるバス利用状況 ②佐川町地域公共交通計画策定に関する調査結果の報告 －地域の現況について －上位計画等の整理 －地区別意見交換について －住民ニーズアンケート調査結果について －学生を通じたアンケート調査結果について ③佐川町地域公共交通計画のとりまとめ方針
令和5年 1月30日	第3回 地域公共交通会議	①乗務員アンケート調査の結果 ②佐川町地域公共交通計画素案（現況の整理） ③佐川町地域公共交通計画素案（計画の内容）
2月28日 ～3月7日	パブリックコメント の実施	佐川町地域公共交通計画（案）に関するパブリックコメントを行った
3月15日	第4回 地域公共交通会議	①佐川町地域公共交通計画パブリックコメントの結果 ②佐川町地域公共交通計画の策定について ③さかわぐるぐるバス路線再編について

佐川町地域公共交通会議 委員名簿

分野	所属	役職	氏名
佐川町	佐川町役場	町長	片岡 雄司
	佐川町役場	佐川教育長	濱田 陽治
交通事業者	有限会社黒岩観光	代表取締役	川崎 まり
	有限会社近藤ハイヤー	代表取締役	近藤 友誓
	島崎商事株式会社	代表取締役	嶋崎 勝昭
	佐川明神観光合資会社	無限責任社員	明神 志津子
	介護タクシーサービス 望	代表者	須内 知章
	四国旅客鉄道株式会社 高知企画部	高知企画部長	田岡 弘久
住民及び 利用者の 代表	佐川町自治会長会佐川地区	会長	西森 勝仁
	佐川町自治会長会斗賀野地区	会長	田村 公孝
	佐川町自治会長会尾川地区	会長	河添 周二
	佐川町自治会長会会長 同会黒岩地区	会長	谷脇 正純
	佐川町自治会長会加茂地区	会長	吉村 信隆
	佐川町男女共同参画推進委員会	会長	岡崎 笑顔
	佐川町よさこいクラブ連合会	会長	坂本 貞雄
	佐川町身体障害者協議会	会長	秋澤 利一
	佐川町PTA連合会	会長	松浦 隆起
	佐川高等学校PTA	会長	横田 ちえみ
商工関係者	佐川町商工会	会長	大原 淑道
病院関係者	医療法人社団若鮎北島病院	経理課長	秋月 清海
	佐川町立高北国民健康保険病院 事務局	事務局次長	吉永 龍也
四国運輸局	四国運輸局高知運輸支局	首席運輸企画専門官	宮野 広至
	四国運輸局高知運輸支局	首席運輸企画専門官	山本 圭
高知県	高知県中山間振興・交通部 交通運輸政策課	課長	伊良部 直
道路管理者	高知県中央西土木事務所 越知事務所	所長	公文 博章
高知県警察	佐川警察署	署長	半田 憲賢

佐川町地域公共交通会議設置要綱

平成 27 年 3 月 25 日

告示第 14 号

(設置)

第 1 条 道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の促進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、佐川町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を置く。

(協議事項)

第 2 条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (2) 町運営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

(委員)

第 3 条 交通会議の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 町長及び町長が指名する職員
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (3) 一般貸切（乗用）旅客自動車運送業者
- (4) 住民又は利用者の代表
- (5) 四国運輸局高知運輸支局長又はその指名する者
- (6) 高知県中山間地域対策課長又はその指名する者
- (7) 高知県交通運輸政策課長又はその指名する者
- (8) 高知県中央西土木事務所越知事務所長又はその指名する者
- (9) 高知県警察本部佐川警察署長又はその指名する者
- (10) その他町長が必要と認める者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再委嘱又は再任は妨げない。

(会長)

第 5 条 交通会議の会長は、町長が務める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議は、会長が招集する。

2 交通会議の議事は、話し合いにより委員の総意をもって決するものとする。ただし、話し合いにより難しいときは、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

3 交通会議は、原則として公開とする。

(協議結果の取扱い)

第7条 関係者は、交通会議において協議が調った事項について、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第8条 交通会議の庶務は、まちづくり推進課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が交通会議に諮り定める。

附 則

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月18日告示第27号）

この告示は、令和4年4月1日から施行する。

佐川町地域公共交通計画

令和5年3月

(令和6年6月改訂)

□ 発行：佐川町

□ 編集：佐川町まちづくり推進課

□ 高知県高岡郡佐川町甲 1650 番地 2 電話：0889-22-7700

高知県
佐川町